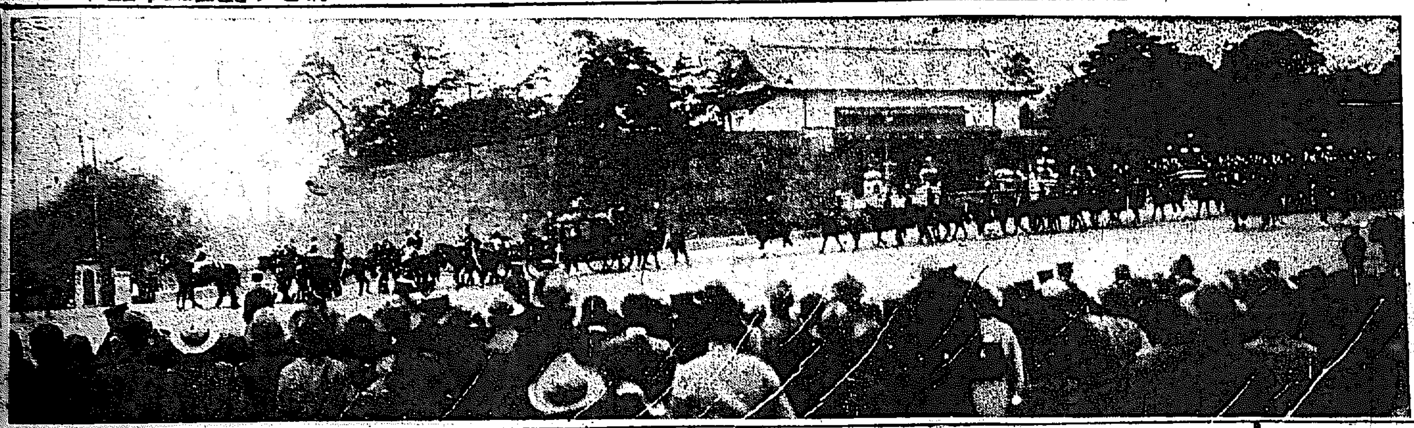
京城日報 夕刊 十一月六日（火）

御大禮の都京都へ
けふぞ晴れの御幸
兩陛下御同列で御發輦



晴れの鹵簿行進 かくやあらんと思はる、（二日の本格的豫行演習）

昭和三年十一月六日、この日こそ實にわが允文允武天皇陛下が、御即位の大典を擧げさすべく、神器を奉じ、皇后陛下と御同列にて御大禮の都京都に行幸啓相成る日である。本年一月十七日御大禮期日の御奉告あり、その由を國民一般に御布告あつてより世は御大禮期に入つたが、眞の御大禮本儀は、けふこの御發輦から始まるのである。八千萬赤子はいかにこの晴れの御發輦を待ち奉つたことであるか。

この日早旦御準備に忙しくおはす頃ほひ、黎明の空ほの〴〵と明け初め、金色の光明東の方よりあか〳〵と照り初めた時に、まことに榮光と平和とは天地の間に滿ち充ち、さらぬもけふの目出度き佳き日を祝ぐ八千萬國民は、御代萬歳、聖壽萬々歳、竹の園生の彌榮えに榮えまさんことを祝禱せざるを得なかつたのである。實にこの聖代に生を享け、いまこの曠古の御盛典を迎へ奉るの光榮に浴するは、われ等八千萬國民の幸福でなくてはならぬ。

御留守居の照宮樣を 御案じ遊ばさる

【東京電報】晴れの御儀に今朝宮城を御發し遊ばされ、御揃ひにて京都へ行幸啓あらせられた天皇皇后兩陛下はその御間お一人にて御留守遊ばす照宮樣の御身を御案じ遊ばされ、昨五日午後は兩陛下御揃ひにて宮樣を御中に御愛撫の時を過ごさせられ、特に皇后陛下には御養育掛の山﨑女官を召されて親く御留守中二十日間の御心遣ひの御言葉を賜はつたと拜承する

二重橋鐵橋外 まで御奉送

【東京電報】聖上皇后兩陛下宮城御出發に先立ち照宮殿下は午前五時お目醒め遊ばされ、六時兩陛下に御別れの御挨拶を言上になつた上午前六時四十五分伊地知女官の御介添で二重橋鐵橋外の未成年殿下御奉送所に成らせられ、各宮殿方と御一所に御奉送あらせられた

賢所移御の御儀式
まだ明けやらぬに
大内山にねぐらする諸鳥もなほ靜かにめさめず

【東京電報】この日早旦宮城出御に先立ち宮中賢所溫明殿において御祭典を行はせたまふ。殿西の廂の子に御玉串假置の案をそなへ、奏樂舍には和琴および樂師の椅子を設け、幄舍には參列員の椅子を設け、賢所正門の外には東西に大眞榊をたて、五色の絹をかけ、東には鏡玉、西には劍をおく、殿の南階には御神饌を架し賢所の出御に先立ちて御羽車を御奉舍内に置く。殿前の庭には天幕二張を設けその三幕を參列員の幄舍に充てらる

午前四時 御殿を鎮め、四時三十分九條掌典長、本多掌典次長以下各掌典はいづれも衣冠の式服にて賢所大前に齊床す。樂師九名又これに續く、續いて參列員の大禮使高等官、大禮服を着して參進し幄舍に入り着席す。定まるを待ち、掌典職員は神樂歌を奏すれば入東、掌典は御扉を開き、本多掌典次長以下掌典は神饌を供し奉る、をはりて掌典長は祝詞を奏する時に五時四十分。

神代の儘の莊嚴さ

諸員敬禮 この間 次いで天皇陛下御代拜侍從永積寅彥氏は衣冠束帶を着し掌典の前導にて御玉串を奉奠、拜しをはりて退下。かくて早朝神の神樂歌を奏する間に本多掌典次長以下は御扉を鎖し、午前五時といふにこの莊嚴なる式典をはらせたまふた。東の方まだ明けやらず、大內山にねぐらする諸鳥はなほ靜かにめざめもせで、靜肅さながらに神代のまゝに拜された。

賢所 御羽車に移御

賢所大前祭が濟むと、九條掌典長、本多掌典次長は掌典および內掌典を率ひて殿內に參入移御の準備をへる。午前六時半東天少しく白みかけた頃ほひ、御羽車を奉昇して階隊の雲神をのぼれば掌典長は掌典を率ひ御羽車の間に六時四十分賢所を御發して御羽車に移し奉つた。をはりて供奉すべき本多掌典次長は掌典竝に近衞將校以下と共に賢所門外に整列し

門內供奉 の式部官、掌典、掌典補は陛下に侍す。次ぎに掌典補御羽車を奉昇して門に出でたれば、千草色の布衣單、鋼色の冠むりに綏をかけたる八瀨の童子十六名これを受けて御羽車を奉昇し、白き笏を手にする掌典の指揮により靜々と警蹕を唱へつゝ、本多掌典次長以下の祭官供奉して掘天府を右に、南照榊を左にして三級門より徐々宮城正門近くに進ませたまふ。

陛下出御
賢所御羽車に直立不動の御姿勢で御敬禮を遊ばす
鹵簿の編成成る

これより先天皇陛下には早朝御起牀、御洗面、御朝餐の御儀を行ばせたまふ間、特に[illegible]させたまふ。又皇太后陛下には特に御懇なる御思召の御言葉を御使を以て[illegible]。時至りて御召替の御陸軍の大禮服を御着用あらせ奉る、[illegible]

十重二十重の人垣
聲なくして容を整ふ
錦旗燦として四圍を壓し 金鳳まさに翔らんとす
◇—繪卷物其儘の御行列

この日未明より二重橋正門の此方より宮城前廣場一帶ビルディングの前に達する行幸道路の兩側路は佇立の御拜觀者を拜せんとして、まだほの暗き黎明の頃より拜觀の民衆ひしめきあひ、軍隊、學生、在郷軍人團、愛國婦人會、赤十字社員等の團體、十重二十重に人垣を作る。盡忠盡誠の赤子まことに無慮數十萬と數へらる。午前七時鹵簿來るの君が代の喇叭が整列軍隊の最右翼に起こる。民衆は誰の注意を受くるまでもなく一齊に帽子を脫つて容を整ふ。やがて先頭の警視廳騎馬[illegible]部、井上の二騎、左右に別れて二重橋をわたり、

宮城正門 から靜かに 嚴を現す、これに相次いで燦たる長槍を帶びて騎馬—朝風に打ちまたがれる牛島警務部長を中に同じ裝ひせる警部二騎前行し、近衛騎兵八騎おごそかに左右を打たす。次ぎに肋骨ある濃紺色の上衣、緋色の前立いかめしき近衛騎兵二十二騎の帽を並べて紅白の槍旗をひるがへして進む金鵄の大禮服に威儀を正した儀裝馬車の伊藤式部長官續いて一木宮相が列に加はる。朝陽いまだ二重橋を掩覆するかの樣に思はれる早天を、一旦二重橋を通過された鹵簿は正門二重橋に現るその

隱現の美 はしさ。その後より千草色の布衣單、鋼鐵の冠に綏かけたる八瀨の童子十六人してかつぎ參らせた賢所御羽車を拜する、朱塗鳳凰の飾も光さ御總は白絹の中に綾なせる浮き織物樣、光りさはやかに照して拜するもの眼眩むばかりである。御羽車の左右には紅帽を戴きたる近衛の騎兵八騎御駐に交せし威儀の大小動旗持ちて威風凜々、その前後には立花、八束、笏、小袿、騎馬、千種の掌典、小出、三條西の各掌典が侍する[illegible]の袍、緑の袍を朝風にひるがへして騎に乘る。[illegible]

みやびさ うるはしさ 本多掌典次長は栗毛の駿馬に跨り御羽車の御後に扈從す、[illegible]路り御羽車の御後に扈從す、[illegible]ふものがある。御羽車を奉昇する八瀬童子の足取り歩調一爾一爾、恰も畏機の如く[illegible]

これなん 至る所近衛下士の捧ぐる錦旗である。錦旗を透して東の空より射る太陽の征矢の光り受けて、錦旗の錦繡燦びやかに打たせ、錦に羽帽を戴き、丈五尺に余る近衛の騎兵二十五騎の嚴なるを正しく御させしめて進む事は咫尺の間に過ぎつた。六頭の駿駒、二十[illegible]

鳳輦の轍 をのこして[illegible]

龍顏一層 御爽はしく拜され、御帽の上に翳したまへる白き羽毛の御前立が朝風に靡けくそよぐ、御胸のあたりには大勳位菊花章、頸飾、功一級金鵄勳章その他大小の勳章が燦爛として輝き、御英姿まことに御勇ましくもまた御氣高く拜し奉る。ついで皇后陛下にはローブ、デ、クールの御色鮮だちて御氣高なる大禮服に、[illegible]清楚な御装束にて、河井皇后宮太夫、竹屋女官長、黒田、岡本の各皇后宮事務官、各女官をしたがへられて天皇陛下に續かせたまふ。かくて[illegible]より徐行してたまふた陛下は

直立不動 の御姿勢をとらせたまふて御敬禮を行はせたまへば、[illegible]

して綺羅星の如く居並ぶ諸員等も一齊に最敬禮をなす。やがて午前七時となるや天皇陛下にはあらかじめ主馬寮より差廻したる六頭立て特別儀裝の鳳輦に乘御あらせられた。御陪乘の榮を得たるは珍田侍從長。次いで皇后陛下には竹屋女官長御陪乘にて四頭立ての御料儀裝馬車に乘御されれば、秩父宮同妃兩殿下をはじめたてまつり王族代の伏見宮博恭王同妃兩殿下以下供奉の一木宮相、伊藤式部長官等またそれ〴〵定めの供奉車について、こゝに鹵簿は全きとゝのひのうちに御發輦を待つた。」

載仁親王 殿下は供奉の[illegible]陪乘申し上げ、[illegible]しく拜された。かくて騎馬武官長、今村、矢野なる奈良侍從武官長、侍從武官に續いて西園寺主馬頭は愛馬にまたがり、岸本東京衛戍司令官がお列に加り、大禮使總裁閑院宮殿下は供奉の國裝馬車にて、御後ろには大勲位菊花大綬章を佩ばれて御風姿凜々しき御新婚の秩父宮同妃殿下が御同乘で親王御總代として、又王御總代の伏見宮博恭王殿下、同妃殿下は御同乘、何れも[illegible]はローブ、ド、クールの御洋裝にて晴れの鹵簿に加はらせた。次いで牧野內大臣、それに光榮ある田中首相、倉富樞密院議長、近衛大禮使長官は各騎乘の供奉車にて、關屋宮內次官、渡邊式部次長、鳩山大禮使次官は同乘の一輛、河井侍從次長、黒田皇后宮事務官、松井內大臣秘書官、八田、松永、木下宮內秘書官、大木式部官、大禮使高等官は四輛の供奉車に分乘し、警視總監

崇嚴無比 の大鹵簿は粛々として燦然錦旗に飾られた東京驛前の廣場を入りまして同七時三十五分東京驛に着かせたまふた。美はしき秋の旭が照らけき空氣を透してこの繪卷物の樣な鹵簿を照し、金銀の輝きと紅、青、白の錦旗の大宮人のまとへる衣裝の色彩と綾なして、東京驛頭に止まりました鹵簿はまことに絢爛の限りをつくしたものであつた。

殷々たる皇禮砲
天に轟く萬歳の聲
午前正八時御召列車は徐々に東京驛を發せらる

この日賢所御羽車は[illegible]の鹵簿を御迎せんために、午前五時頃より東京驛に集まり來た[illegible]ので、あつた。何れも綺羅を飾れる正裝で、[illegible]

典二名儼然と着床して[illegible]を待ち奉り、布衣單の八瀨童子十六名、玄關より左右の馬車廻しに脆坐して賢所奉安の準備を整へて居る。

かくて各皇族殿下、入江皇太后宮太夫以下御使祗候して御參列、竹の間の御待合所に入らせらる、宮城御發の御時刻ともなれば[illegible]

警蹕の聲 が何れより聞こえざる[illegible]

陛下には 再び久保田東京鐵道局長の御先導にてプラットフォームに、玉歩を移させたまひ[illegible]

宮廷列車 の前より三ッ目なる賢所御奉安車に遷しまゐらせたまふ。[illegible]

各皇族同妃殿下、東郷大勲位、井上、上原元帥、山本、高橋、若槻元前首相、小川鐵相以下各國務大臣、山梨朝鮮總督、德川、元田兩院議長、陸海軍大將、平沼樞密院副議長、功一級以上親任官、勲一等以上の夫人、勅任官同待遇、錦鶏間祗候、有爵者、從四位勲三等功三級以上の有位者勲者五百余名何れも大禮服又は正裝に威儀を正して整列して奉迎申上く この間を御羽車は

御羽車は左に中央廣場を廻り、御車寄せに着御[illegible]

この間にプラットフォーム渡御の賢所御羽車は[illegible]

左に御會釋をたまひつゝまづ賢所奉安車にて御一禮の後、二つ置きて御召の御料車金色に輝き菊花の御紋章燦爛たる御召車に入らせたまふ。時に午前八時。御召列車は[illegible]この嚴肅無比の奏樂と共にお召列車の進みまするにつれて、[illegible]百一發の皇禮砲を[illegible]萬歳の聲が天地に轟いた[illegible]

御疲勞の模樣もなく
名古屋に御着輦
御道筋を埋め奉つた拜觀者
御機嫌美しく拜す

【名古屋電報】名古屋市にてもこのよき日陛下の御召列車は御着の際に賢所を拜しつゝ陛下御玉體の珠の外異はしきを拜せんと、市內は勿論、近郊近在より拜觀の群衆の如く鹵簿通御の沿道に朝まだき頃より押し掛け、御道筋の兩側に[illegible]場所を占めて鹵簿の着御を待ち奉つた。尚名古屋停車場では驛の混雜と萬一の事故を慮かり、御着三時間前より一般乘客の昇降を禁止、拜觀者、千種の各驛に移し準め名古屋驛內を整頓する事とした

やがて儀仗兵[illegible]

劍光帽影 威あたりを拂つて[illegible]

儀裝馬車 を備め[illegible]

近衞將校 つゞき[illegible]

御道筋の [illegible]

御滿足に おはせしと[illegible]

あすの天氣（7）

豫報	氣	溫
曇雨模樣	六日正午 二一·三（攝）	五日最低 [illegible]

高氣壓は北海道から東邦を經て朝鮮に擴がり支那大陸及滿洲は氣壓が低い南部は曇り中部は晴れ北部は雨が降つてゐる明日は曇つて小雨の模樣がある

人

◇飯島本社支配人 [illegible]
◇森谷新一氏（京城電氣專務）[illegible]
◇[illegible]氏（毎日申報編輯局長）[illegible]
◇森本金藏氏（[illegible]）同上
◇大山倍平氏（金融組合理事）五日夜入城同上
◇竹內精氏（淺野セメント社員）同上
◇小田甲苗氏（ライオン歯磨[illegible]）五日夜入城[illegible]へ
◇福井彦一氏（[illegible]）同上
◇木村重晴氏（咸興帝國[illegible]支部長）六日朝入城不知火へ

紙めがね

支那に排日ありて、日本に排支なきはいかん。アメリカに排日ありて、日本に……よし、わかつた。
◇
民政黨總裁の出にも無闇、出る奴も出る奴、出られる奴も出られる奴。
◇
床次政友會總裁は花のやうな迷惑のやうな話。
◇
飛隊幹部再選、滿蒙飛行も再選

けふ晴れのみ幸に 夜をこめて民草の奉送

飛びかふ白鳩に瑞祥みちて 軍樂の中を鹵簿御出門

【東京電話】聖上陛下京都を出でます日、一天心行くまで澄み渡り晴光萬歳を距す内に鹵を聯げて待ち上げたその日は遂に來た、喜びに身も心も踊る帝都三百萬市民が

奉祝 の熱誠は前夜五日の夜をこめて都の隅々までみなぎり溢れ、大東京は擧げて歡喜のるつぼに鎔け去つたが、待ちに待つた御出門の唄のあたりに上ります晴れの御門出を拜さうと敬ふ市民の群はその前日夕刻六時といふに宮城、東京驛間定めの奉拜場所を指して潮の如くに集まつた、丸ビル、海上ビル、和田倉門外に三十萬と限られた一般奉送者は午後十時早くも收容力を失つた、溢るばかりの夜氣の中に石の舗道にすわり通しであと十時間を待つ熱誠の群れである、大部分は市役所と興親團の配布した蓆一枚に腰をあてて坐り、中には手回しよく小座蒲團、毛布類をもち込んでくる〳〵とまどろんでゐるものもある、老婆老爺若者、紺な中學生、女學生、或は嬰々だが一樣に一代の喜びを共にせんとする美はしき

情景 である、丸の内への通行は豫定と三時間繰上げて午後十一時五十分一齊に閉く號砲された、太鼓を引いて辻々を守る警官に「その既目です」と斷られてすご〳〵引かへしせめて外濠附近でお召車を奉送せんとする赤子の群は暁まで堵えずその數二十五萬を數えた、東京驛前にそゝり立つ大奉祝塔の電飾まばゆく萬歳燈にゆれ

遙拜萬歳聲靜寂の大文字が靜かに浮かび、御紋章の枝にかけられた線、黎の電飾は例へようもなく美はしい、警視の警官、憲兵の提灯行きから中に奉送團體は悉く位置に着き一般奉送の群は蟻を立てる余地もなく立ならんだ恰もこの時午前四時、暁の色、仄かなる東近衛、第一師團の儀仗兵二萬勇ましく繰込む、堵列の兵士を始め政府の獻兵隊も

堵列 を繞つて奉送者はひとしく聲を涸らし息を絶め御車を待ち上げる、冲天に利鎌とかゝつた二十三夜の月落ちると見る間に、見よ東の空遠に曙光仄かに明けそめ、莊嚴たる暁、は遂に天地に訪れた晨の空にちりばめた星一つ一つ消え松翠上に輝き渡り御門の屋根をかすかに飛びかふ白鳩の影も明かに望まれ、瑞祥充ち溢れた六日朝は來た萬民歡呼にどよめくうちにいよ〳〵鹵簿御出門の時迫り堵列の兵は御簾いかめしく

奉拜者は一齊に脱帽敬禮をはづし身をとゝのへる、一分二分太古の如き靜寂ないきつまる緊張がつゞくと見る間に鹵簿御出門をつげる先樂の軍樂高らかに天地に鳴り渡つた

事故殆んどなし 細心の御警備で

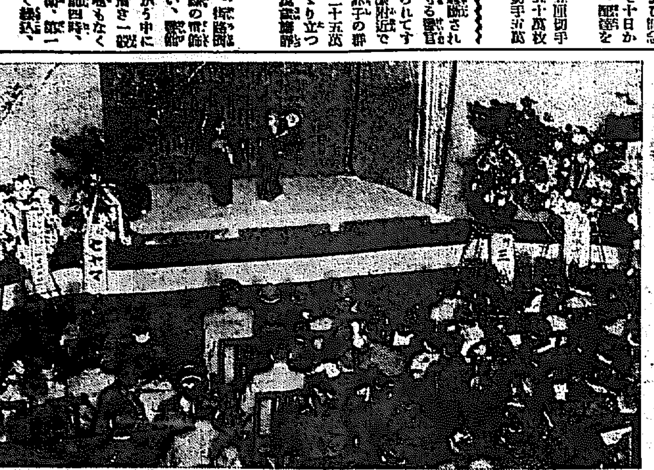
【東京電話】六日朝京都行幸啓鹵簿の御出發および綾列中御沿道警備にわたつて警視廳および憲兵隊の御警衛は細心の注意をもつて行はれ、一般市民も頗る敬虔を示した結果、その間の事故極めて少く二重橋、東京驛間を中心とする沿道の中で僅二十四名の卒倒者を出したのみでその他は宮城内の小過一件といふ好成績を擧げた

やさしい女性の眞心 金子とタバコを贈る

京城府廳内務課に五日匿名婦代名で現金卅圓と敷島たばこの吸がら(敷島の箱に一ぱい)を送つてきたが、それは御大禮奉祝の心から貧民に府より頒布してくれとの依頼であり、府ではこの一女性のやさしい申出を受けて目下處分を考究中

記念エハガキ十萬枚 十日から賣り出す

御大典記念のため朝鮮各郵便局所で發賣する郵便繪葉書および記念切手の配布數は左の如くで十日から賣出す事として各局所へ配達をへた
▲繪葉書十萬枚▲一錢五厘切手八十萬枚▲三錢切手百五十萬枚▲六錢切手五萬枚▲十錢切手五萬枚



舞踊と音樂の夕

五日未曾有の盛況で盛會にその第一夜をおへた樂界新統一記念本社後援の奧山雲二郎洋千一家の流行曲新舞踊の夕は府内で嶄新の華しい舞臺だけに觀客を惹つけた（寫眞は太鼓四ッ竹とを持てる男）

假裝行列や屋臺など大典奉祝の催し物

引つきりなしの計畫申込に 本町署員が大童

京城の奉祝氣分もいよ〳〵本舞臺に入つた。本町通をあゆむと盛んに屋臺、假裝のいとも面白い

扮裝が 見られ人形屋は鉢巻き大わらべとなつてゐる。朝早くどこからともなく三味、はやし、太鼓の音が聞かれ、その當時の賑ひを偲ばれする樣な假作りの屋臺が人目をひいてとほる喉五日をきつかけに京城の奉祝氣分はいよ〳〵湧き立つて來た六日正午までに本町署に願ひ出でた御大典奉祝催し物は五十三件、五日の一日間に四十三件の申込があつた。なほ續々申込む有樣でしめ切日までには百件余にのぼる見込で六日朝の本町署は各商店、會社、町内洞内からの申込殺到し係員は忙殺されてゐる。

五百人 からなる本町四丁目の屋臺行列を筆頭に六日正午までに本町署に願ひ出た催し物の祭裝人は五千人の多數を示し、本町、新町兩券番の四百人からなる藝妓連を第一に屋臺ものは三十七組、若草町の神代扮裝、京城ホテルの桃太郎鬼ケ島退治、明治町の娘道成寺、帽子組合の國旗行列、文武官行列、假裝行列の申込も多くさすがに十日の京城の賑ひも思はれ係員一同大童となつて申込者に應接してゐる。五日正午より六日正午までに本町署に申込んだ奉祝催し物を擧ぐれば左の如くである

▲樂天地 屋臺、薩摩馬行列▲古市町 屋臺▲櫻井町二丁目 博多二輪加▲本町五丁目 小供神輿▲富田洋服店 和洋服衣裳屋臺▲坂本洋服店 伊勢名物山車▲大和町一丁目 屋臺▲黄金町三丁目 屋臺▲花園町 屋臺▲黄金町五丁目 提燈行列▲京樂館 屋臺▲若草町 屋臺▲本町新市場 鳳凰屋臺▲東亞倶樂部 時代假裝行列▲南大門通一丁目 寮級屋臺提灯行列▲柳亭燕路 屋臺▲朝鮮物防組 神山車屋臺▲山邑酒造支店 狸々屋臺▲黄金町四丁目 提灯行列▲本券番 新屋臺▲本町三丁目青年會 舟型屋臺▲本町組合 國旗行列、文武官行列▲初音町 丁子屋台 時代扮裝行列▲照京樓 屋台▲本町山車屋台▲南山町一丁目 鳳凰山車▲本町二丁目 屋台▲吉野町二丁目 屋台▲新町券番 屋台▲本町四丁目 提灯行列▲京城ホテル 桃太郎鬼島退治

囚れの身に喜びの報せ

全國の刑務所でも萬歳を唱和

【東京電話】全國刑務所内には今三萬五千人の囚徒が收容されてゐるがこれ等も陛下の赤子として御即位禮、大嘗祭および大饗第一日の當日は特に業を休ませ、當日は特に食事を吟味して珍味をもり紅白の餅を一重ねづゝ給されることになつてゐる。そしてこの日午前中は囚徒一同大教誨堂に集まつて地方知名の士を招いて御大典に關する講話を聴くはずで、目下各刑務所ともその人選中である。次いで午後三時には職員と共に國民に和して萬歳を三唱するは勿論服裝儀品およびこれに關する司法大臣の訓令は職員を以ておそくもその日、日沒までには北端の地のはての刑務所にまで行渡るはずであるから、各刑務所では職員の號遣あり天涯囚徒一同を集めて所長から聖恩を訓示する事となつてゐる、現在の囚徒はたいてい減刑の御恩典の二分の一を減ぜられるからその刹那の彼等の喜悦は又想像に余りがある

小鳥展覽會

暴落に暴落を續けたる飼鳥界も近時漸く安定を見るに至り久しく休會を續けてゐた京城鳥の會では新に小鳥類の參加を得て來る十一月十一日午前九時より午後五時まで本町二丁目丸一呉服店階上に御大典奉祝小鳥展覽會を開催し優良鳥には審査の上賞状を授與しなほ併せて即賣を行ふ由で一般の出品觀覽を歡迎してゐる

秘密結社の五名を檢束

西大門署では引續き活動す

六日未明西大門署高等係では學生等の主任以下大活動を起こし管内某所より延禧專門學校學生徒十數名外五名を檢束した。これは御大典を控への警備檢束でなく秘密結社を組織してゐたもの、如く、前日學校不穏の計劃を名に語つて秘密結社を組織してゐたもの、如く、前日學校不穩のかどで檢束した十五名中にも五六名の一味がまぢつてゐるらしく同署では引續き活動中

駈落ちの途中を捕はる

六日午前六時頃西大門署員が列車内で挙動不審の若き二人の男女が徘徊するのを同署員が取調べると、この女は京畿道高陽郡崇仁面内谷里五八方洪某(二)といひ連の男は同人の雇人で方某の娘と駈落中手に手を取つて京城に駈落ちの途中であることが判明した、目下同署で保護中

德壽丸と衝突して 昇寶丸眞つ二つ

乘員七名は救助された 魚獲品は悉く流失

【釜山特電】關釜連絡船徳壽丸が五日午後十時過ぎ釜山を出帆して釜山港の防波堤をすぎて進路を對馬沖へ向け迂廻せんとする刹那、釜山府方面港を出帆して釜山牧の島へ歸港せんと疾走して來た昇寶丸十八トンと衝突したゝめに昇寶丸は右舷後部から兩斷され同船乘組の船長本山彌八外七名の乘込船員は離船した船體にすがつて波間に漂ふのを徳壽丸より救助の非常警笛をならして急をつげたので鐵道のランチその他水上署の警備艇が出動して救助に向ひ、幸ひ乘組船員は救助されたが、船體は破損したまゝ曳航して來た損害は魚その他の漁獲品約七百圓を全部流がし總體損害を合せて六千圓位の見當である

阪谷會長ら役員再選さる

【東京電話】太平洋横斷飛行不能をみた帝國飛行協會の陣容たて直しの責を負ふて長岡外史氏が名を推しをはかるべく召集された評議員會は五日午後四時から丸の内日本工業倶樂部に開會、阪谷、荒川、谷田、長岡、橋本、谷知の諸氏をはじめ評議員三十五名出席(さきに辭表を提出した二、三理事は何れも辭任のため出席)阪谷芳郎男は會長席につき、直ちに理事の改選投票に入つたが蓋を開けてみると阪谷、長岡兩氏をはじめ全部前任理事が再選の珍現象をみた新任理事は直ちに理事會を開き投票選擧を行つた結果會長は前通り阪谷芳郎氏を推し副會長一名を増し長岡外史氏その他につき谷田[illegible]理事は谷知、萬井[illegible]氏を推選することに一致推薦し、更に評議員一名を増員し[illegible]として辭表を提出した理事一同はそのまゝ留任と決まり最後に役員の一、二に變動を來たしたのみで午後四時半閉會した

市十郎をみる 京劇の初日

◇御目見得、松島山だんまり、新劇の衣裳揃ひで賑やかに開幕、團吉の修理之助爽しく、市五郎の武者修行はかれた器、市十郎の夜叉五郎はさすがに大きい、殊に宮前の立木に見かけの所作なんか、一寸見られぬうまさがある。全體の掛りもすきがない

◇小磯ヶ原、此狂言は團吉だけで成駒屋ですらまだ出しておらず初鮮でもこれが始めだと云ふ未知數の團吉、團吉のお蓉が非常に評判を呼んでゐたが、まつた運びが芝居として申分なく、しかも幾分現代的の人情味をおびてゐるのが觀客の興味を惹く、殊に團吉のこなれた藝風、こちらふはまり役たることを首肯せしめる、仙魚膳之助もいいがせりふが少し耳ざはりだ、市十郎の妻お静を思ひ迫る義父の心情がゆたかに溢れてゐる、更に角これは團吉のだし物だけに、彼が一番光つてゐる、どことなく我童をほうふつする

◇一の谷嫩軍記陣屋の段。多賀を要しない市十郎の十八番である。彼の先代が九代目の門人であつたゞけ、彼の熊谷もその流れを汲んでゐるばかりでなく、せりふの如き六代目に似たところがある苦心が見えてゐるやうだ。喉も強く、大きい、仙魚のさがみ、玉十郎の藤の局もいゝが、受け取つた敦盛實は小次郎の首を見[illegible]の石屋彌陀六事、實は宗清の六法なんかうまいもので見てゐて氣持ちがいゝ。團吉の義經は美しい。

◇娘道成寺。明々、娘振山のにぎやかな場面、團吉の花子。うまい踊だ(兆生)

京劇二の替り(七日から)▲狭間合戰『石川五右衛門』三幕、石川五右衛門(市十郎)木下藤吉郎(仙魚)實夢(團吉)▲忠臣蔵金の短册『二場、大星由良之助(市十郎)大星力彌(團吉)▲『源平勇引の樋口兼光』齋藤別當實盛(市十郎)瀬尾十郎(玉十郎)小萬(仙魚)▲新作踊り三番叟▲猩猩

特製カレーライス 御料理一式 コーヒー一杯 五十錢 二階金剛山

大正館(七日から)▲御子柴初子主演『彼女と猫』五巻▲現代劇『昭和の女』入江たか子主演▲時代劇『九紋龍』一九市川右太衛門主演

JODK プログラム

浪界の巨頭 燕平師來る

東都浪界の第一人者早川燕平師が七日より一週間連續でDKに放送する。師は東都浪界の巨頭で滅多に地方出ぬ江戸のファンに余りにもされてゐる程の人氣で、節廻しの妙は人をして聞かせずに置かぬうま味がある。勿論師匠は初の御目見得でDKの聽衆で御大禮記念放送の豊樂城を充たしたので他で公開は絶對にせぬ由である。出し物は師十八番中の十八番揃ひで手に入つたものさぞ渦形師ファンを喜ばせる事だらう放送日程は左の如くである
▲七日 堀川夜討▲八日 つゞれの錦▲九日 勸進帳▲十日 名馬の譽▲十一日 裏南部坂▲十二日 六七元結▲十三日 女大學

十一月七日 水曜日

午前一〇、〇〇 氣象概況、各地天氣豫報
同一一、〇〇 料理獻立、日用品値段
同一一、一〇―一一、二〇 名古屋市場の商況
午後〇、三〇 趣味講演「日常生活と舞踊」(二) 元帝劇音樂部長 永田龍雄
同一、五〇―三、五〇 京都御[illegible]
午後三、四五 ニュース
同六、〇〇 初等英語講座 笠谷保太郎
同六、三〇 映畫物語ウイングズ 金永煥
歌詞合唱と京城雅歌合唱 JS聲樂團伴奏 張 香閣 崔 團 鶴
同七、四〇 ニュース
同七、五五 御大典記念講演 御即位禮及大嘗祭(上) 朝鮮神宮々司 高松四郎
御即位禮及大嘗祭を行はせらるゝに先立ちその以前にお祭や御式が色々あるこれを御大典前儀と稱ふその御大典前儀の中の主なる點とそれから御即位の當日第一に行はせらるゝ賢所御前の儀までを話しませう
同八、一五 御大典記念講談 大岡政談 後藤半四郎(第五席)
大極殿に居る… 東京 裏々寶珠… 大岡文左衛門は下谷の山崎町裏長屋に住みその日暮しにも困り居るを見て、かねての恩に金を五十兩と娘を貸り二十兩借りたの詫にと返す、精哦ことまやかな物語りが聞く、文左衛門は受取らなかつたが長八は五十兩をおいて歸る、余儀なく其金を納めて使ふ。
三曲合奏『夜々の星』 箏 三味 尺八 稻垣 太田 兼 貞志 稻垣
歌詞『玉鬘ふたゝび三度思ひ事、思ふがまゝに背きつけて見すれど海女のかづきして、苅るてふ底のみるめにも、ふれるをいたみ締みにし幣にさへだに騒かしの、軒の鴬に消へやすき露』

若返った藤村氏 加藤しづ子さんと結婚

【東京電話】夫人を失つて十六年間、四人の愛兒を膝下に淋しい生活を續けて來た島崎藤村氏は今回再婚式を擧げた東京府豐島郡駒込の加藤しづ子さんと結婚式を擧げた、この女性は藤村氏の著書を愛讀し、かくれたる氏の内助者として藤村氏の小説の[illegible]藤村氏の雜誌の作家で[illegible]た加藤しづ子(?)といひ藤村氏の妻[illegible]子であつた、結婚式は去る三日とである。

國語辭典豫約 盛況裡に〆切

東京富山房で目下豫約募集中の『大日本國語辭典』全五册は、その部數を見るだけになつたとの事であるが、本社はその好評上予約締切前に申込み續々殺到し盛況で、もはや提供部數二萬部も極めて僅少の殘部に再版増刷等の見込みがないので希望者はこの際を逸せず早速申込まれたいとのこと。しめ切は十一月十日御大典前限りで、特價一部五十五圓、月拂の割に十五圓[illegible]

張、秋山組優勝す 洪、淺野組敗る

庭球戰は四回戰後を五日午後四時から本社コートで舉行、結局鐵道の張秋山組と、遞信の洪、淺野組の決勝戰で、張、秋山組の優勝に歸した庭球戰で優勝した張、秋山組

▲第四回戰 不戰四勝者 鐵谷、中川組 秋山組
金、登 四―一 指口、秋子
金、吉村 四―一 松、白
勝、孫 四―二 長沼、金
松山、江口 四―三 金、古屋
洪、淺野 四―〇 吉井、岡田
湯淺、鄭 四―〇 朴、金
▲第五回戰
張、秋山、四―二 松田、江口
鐵谷、中川 四―一 金、吉村
洪、淺野 四―三 勝、孫
湯淺、鄭 四―二 金、登
▲準決勝
張、秋山 四―〇 鐵谷、中川
洪、淺野 四―三 湯淺、鄭
▲決勝戰
鐵道(張 秋山) 四―〇 遞信(洪 淺野)

(洪淺野)	0 13 4 2 3 1	2	
(張秋山)	4 11 0 4 5 4	4	

崩壊する基教文明 七日夜公會堂で講演會

過去十數世紀の長きにわたりて全地を支配してゐたキリスト教文明は、今や驚くべき急速度をもつてわれ等の眼前に崩壊しつゝあり、これ果して何を語るものぞ?來りて神の摂理の示す唯一眞理にその理由を聽け」かうした叫びが七日午後七時四十五分から京城公會堂であげられる。講演者はキリスト教徒たる明石順三氏、並に萬國聖書研究會、燈臺社邦語部主事一郎氏現代のいはゆるキリスト教に對して痛罵を加へ、殊に熱心なる信者といへども傾聽に値する點である。しかも彼等は教會堂における儀式の如きは聖書に示してないと聴心に現代の儀式化を非難してゐる人々である。主催者は萬國聖書研究會、勿論清者は献金は絶對無用。一般の來聽を歡迎してゐる

二十日夜龍山町附近永田町星ヶ丘茶寮で催した近親者が列したのみでつゝましく行はれたので氏の親友等もこの結婚を知らなかつた程である(寫眞は藤村氏)

キリスト教文明の崩壊

主催 萬國聖書研究會　明石順三氏講演

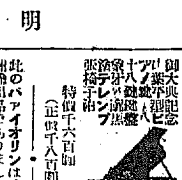
時＝七日夜 七時四十五分
所＝於公會堂 京城長谷川町

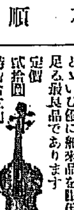
過去十幾世紀の長きに亘りて全地を支配し居たりし基督教文明は今や驚くべき急速度を以て我等の眼前に崩壊しつゝあり、之れ果して何を語るものぞ?來りて神の摂理の示す唯一眞理に其の理由を聽け

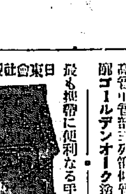
入場無料
献金絶對無用

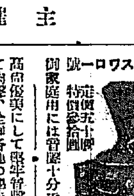
御大典記念に 奉仕破格廉賣

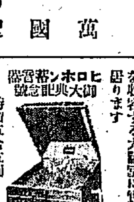
御即位の大典は近まりました、私等はこの盛儀を永久に記念し昭和の維新を倍々光輝あらしめ國家の繁榮を無窮に祈願する爲め絶大の努力を盡し以て八千萬國民とこの慶びを倶にいたしたいと存じます是に依つて弊店は各大會社製造にかかる樂器類中最も堅牢にして優美而かも高尚なる製品を選擇して絶對他の追從を許さない特別破格の廉價を以て普ねく皆樣の御家庭に提供致し御祇族一同を平和歡樂の境に御誘ひ申したいと存じます何卒この機會の存する處を御諒解の上一刻も躊躇することなく速に御注文あらんことを希望いたします

御大典記念ピアノ 大ピアノ十八鍵盤付 ブランデン型 二人掛椅子付 特價千六百圓(正價千八百圓)


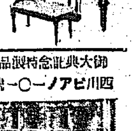
此のバイオリンは鈴木工場の歐洲輸出品でありましてさすがに外國の逸品といひ音色の高尚なることといひ優に舶來品を壓倒するに足る最良品であります 定價二拾圓 特價拾五圓


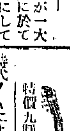
御大典記念山葉オルガン 數十年の經驗を有する同社が一大犠牲を拂ひ材料に於て意匠に於て最善を盡し製作したるものにして其の音色の雅麗なること外部の美麗なることが實際の御氣に召し得る御注文が多數御座います 特價 椅子 付 二百 千 圓
山葉オルガン 鍵盤六十一鍵、ストップ九個 高音中音部三列 低音部二列 付 正價は二百三十圓であります


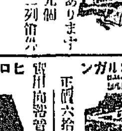
日東蓄音器會社製 ワスロー一號 最も携帯に便利なる手提 定價九十圓 特價參拾圓 御家庭用には音響十分であります ニッケル製 金具ニッケル製


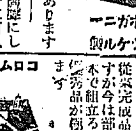
ヒロホン蓄音器 御大典記念號 高尚優美にして堅牢音響高雅にして内部、全國各地の學校千五百人を收容する大講堂に實驗證明して居ります 特價五拾五圓 正價七拾五圓


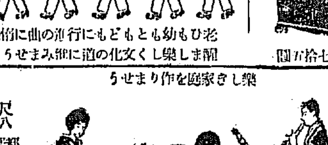
千萬の男を奮すもるこの樂隊!! 御町會に足並揃へて行もるこの樂器!! 老も幼もともに行進曲に合はせて樂し文化の道に進ませう 一人にたつた零圓の節約から五十人揃つてこの少年樂隊器付けられます 御大典奉祝行列を打ち始めに記念は永遠に。少年用 大太鼓小太鼓簡易クラリオネット八人組 特價五拾圓 正式五人組大太鼓小太鼓コールネット、トリトンクラリオネット 特價百六拾圓

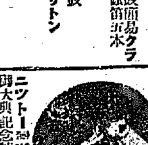
御大典記念特製品 西川ピアノ一〇一號 鍵盤八十五鍵 ドイツセル鍵盤 外部黒塗特價五百五拾圓内容の完備外觀の新型が從來のピアノと趣きを異にして居ります。この品に限り特に高價に購入品が御座いませんが期待に限り早目の御注文を御願ひ致します


古くなつても音響の變らない鈴木 正價九圓 特價九圓 マンドリン


新製山葉オルガン 時代々々によつて樂器の型も變化致します夫々その時代の趣味や嗜好を表はしております此のオルガンは昭和時代の好みに應じた新型であります 正價六拾圓 特價四十九圓 四 列 一 錢 新色 オーク 二十一鍵


コロムビア手提 ヒロホン一〇一號 從來完成品で輸入したのでありますが今は部分品を輸入して日本で組立るのでありまして本は數に於て優秀品が極めて安價に御手に入ります 特價參拾圓 正價九拾圓


樂しき家庭を作りませう 御家族揃ひで和洋合奏は格安であります
箏 生田流 山田流 都山流 琴古流 尺八 一圓五十錢以上百五十圓まで 各國管絃樂外品揃 ピアノ オルガン ハーモニカ マンドリン バイオリン 花鳥品


ニツトー 安山村櫻子吹込 御大典記念特作レコード 明治大正流行歌全集五枚一組四圓 ビクター ワシ印 コロムビア ツバメ印 レコードに限る 何れも電氣吹込み


期間＝十一月一日より十一月卅日まで
京城本町二丁目 山口樂器店 電話本局三三五二番 振替京城五一二一五番

妖鬼流血録

【68】

長谷川伸作
木村哲二
伊藤幾久造畫

直偶二人おせん（九）

嗤いうちに起きて仕度をした笹野とにかく小ざつぱりとした身装をして、王子稲荷の近くまで来た。笹野の心の中には、勝詰使節のやうな緊張があつた。

いや、もつと複雑の氣もちがひそんでゐた。その昔、志津賜と庄右衛門が笹野を中心として恋の争闘をした時分、その頃のまだうら若かつた時分を想ひ出してゐた。

二人の男が自分を中心として恋の競爭をしてゐると知つた時、底意氣の笹野の胸の血はさはがしく湧いたものだつた。そして、笹野の心は、どちらかといふと志津賜により多く傾いたものだつたが、父親の心は庄右衛門に向いたがために庄右衛門に嫁したのだが、それだけに、志津賜を懐しく思ふ心は、眼落の娘として生れ、武家の妻として暮してゐる思いく笹野の匠にも幾分働いてゐるのだ。

晩秋の冷い風がさツと吹いて淋い古木から黄色の葉がパラ／＼と落ち散つた。笹野の心はたまらなく寂しくなつた。

王子稲荷の近くとばかり聞いて来た笹野には、志津賜の住まゐはなか／＼に知れ難かつた。笹野はうろ／＼と探し歩いた。

その時、馴染の松吉が、久しぶりで志津賜をたづねる氣で、やつて来た。

と見ると、尾羽打ち枯らしてはゐるが、いふにいはれぬ品格の備はつた、しかも旗本に見る美しい女が、うろ／＼してゐるのに出會つて、松吉は歩みを止めて、そつと見入つた。これが、笹野で、大切な用件を帶びて志津賜を訪ねるところだなどとは知るはずもない松吉は、

「美しい女だなア……」と思つてつく／＼見てゐる。

笹野は、日各道の、幾多に雨を訊く人とてもないところで困つてゐるところだから、松吉の姿を見ると措たりかしこで。」

「ちとお訊ね申しまする……」と眼差をふくんだ優しい物いひ。

「へえ、へえ……」松吉、聲をかけられただけでたまらなく嬉しいのだ。

「この邊に、兵部志津賜殿と仰せられるお武家がお住居はどちらでござりませう」

訊かれ松吉吃驚した。

「へえ、兵部さんでござんすかいその方は私の親分みたいなもンで……私もそこへ行くところで……お供をいたしやせう、是非…………」と松吉變なことをいふ。

「それは恐れ入ります。では、御案内をねがひまする……」しとやかにいつて笹野、見ないふりをしてそつと松吉の姿に眼をそゝぐ。

長崎志津賜、いやしくも武家だ。そこへ訪ねてゆく人としては松吉の姿があンまり飄り過ぎてゐる。

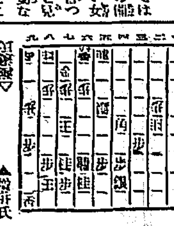
松吉、肚の中で「美しい女だなア……」をくり返して、好い氣持で案内をする。

將棋新手合（六）

於東京市日本橋區蠣殻町一ノ四　將棋所

落香　▲五段　渡邊東一（東京）　△三段　酒井武雄（東京）

（圖は前號指了の局面）



渡邊氏▽　▲酒井氏

持駒　△渡邊氏　角金金銀歩　▲酒井氏　金銀歩歩歩

△七九銀▲同玉△六八飛▲同玉△七六桂▲五九玉△六八金▲四九玉△一六角▲三八銀△五八金打▲三九玉△四八金▲同玉△三八角成▲二八玉△三七銀▲二七玉△二六角▲一六玉△一七桂迄にて渡邊氏の勝

急告

宮製の人参エキス『蔘精』御買上の節は、赤い丸菊入桐の御紋章 總督府專賣局封緘に御注意を乞ふ

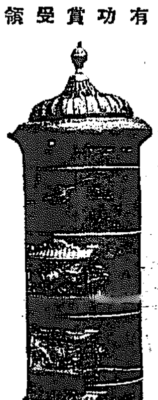
京城　貴生堂

宮崎式ペーチカの御用意を!!

採暖裝置は何んと云つても永い經歴の有る宮崎組に限ります

帝國發明協會有功賞受領

年々改良を加へて居ります實物御覽下さい



型錄進呈

特許宮崎式ペーチカ　新案暖爐ペーチカ　各種煖房裝置　衛生水道工事

ペーチカ元祖

龍山驛前　宮崎組本店　電話龍山八四二番　振替京城五四〇九番

京城南大門内大平通入口西側　宮崎式ペーチカ特約販賣店　電話本局二八八九番

月やく　下レ藥

子供は少く産んで其代り良く育てなさい

産兒制限

東京藤村博士研究所

御上京の節は東京赤坂乃木坂倶樂部へ御投宿下さい一切御便宜を計ります

東京赤坂區青山南町　乃木坂倶樂部

發明品販賣店募集

一般家庭必需品で時ほど賣れる季節品 月收百圓以上 努力次第

名古屋市中區 丸八商會

購買入札

一、購買物件『ポルトランドセメント』七五二瓲九五

詳細ハ十一月七日以降ノ朝鮮總督府官報ニ就キ知ルヘシ

朝鮮總督府内務局京城土木出張所

株券紛失公告

一、朝鮮製絲株式會社株券　第四十一號　株券一枚

右株券遺失ノ旨届出有之今後三十日間ニ發見セサル時ハ無効トス

昭和三年十一月六日

朝鮮製絲株式會社

純良改良木炭

純朝鮮みやげ

京城　白商會

頭痛にノーシン

銃砲は横濱の

金丸に限る

（定價良廉）

横濱市中區南仲通一丁目七番地

銃砲金丸銃砲店

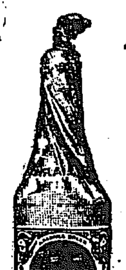
（主店　西村源藏）

美味　滋養　葡萄酒

赤玉ポートワイン

人あり　誰だつて求むるは健康！である　けれど　人は常に物臭い路は簡易にして捷きを……と希ふそうだ　それならば　先づ第一に推すべき滋養飲料！　それこそは結句　赤玉であろうよ

然り赤玉！　彼が甘美の一杯は薬餌で薬餌の苦味がない謝す朝餐の　更に午餐の　更に更に晩餐の　一杯！　然り而して更に驚くべきは　いつの間にか肥つた强壯無比！　おゝこの体軀よ



血を増し肉をこやす美味滋養葡萄酒

官用傳として卓上一本として一瓶！十五錢

本品は佛國ボルドウ地方特産葡萄ブラックハンブルグ種を搾取醸造せる純粹の葡萄酒なり十五醫學博士推奨の如く健胃補血强壯興奮の效顯る顯著にして、各病院藥局の御用品として必須の藥用葡萄酒なり

綿

布團綿　中入綿　蒲團　卸小賣

京城本町四丁目　岩見製綿所　電話本局一六〇一番

支店　京城本町二丁目　電話本局六三三番

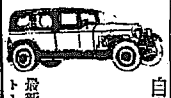
●成功の祕訣

智は頭腦を愛するにあり◆智能に依らずんば成功の道なし◆頭のボンヤリした時◆頭のクシヤクシヤする時

●頭の重い時無理に事務に拘るは最の極なり◆そんな時こそ醫學博士森田賓幸先生推奨の頭痛停効藥◆帽子印の

ノーシン

を一ぷくのんで二三分間休憩し忽ち頭腦の爽快となるを待つて再び活躍されんことを熱誠以て勸告す



自動車の御用は

電話本局一七三九番

昭和自動車部へ

最新式高級車にして乘心地良く輕便迅速懇切をモツトーとする町一タクシーハイヤーを御利用下さい

京城永樂町電車停留所前

可愛いお子には

金線ミルク

飲んで肥りて力持ち

發賣元　三井物産株式會社

全鮮到る處の藥店に販賣す

專賣特許第七三〇五五號
新案特許第九一三五五號

笹田式撰穀機

▲籾！玄米！石拔に▼

二大特長を有するは本機をおいて他に其の比類無し

型錄進呈

理想!!研究!!苦心の結果愈々完全無缺の本機に御下命を！

新穀輸出の御準備に是非本機を!!

釜山府榮町二丁目

撰穀機　農具一切　製造販賣元

笹田商會　電話二一四二番

忠南江景における 米穀大會舌戰記（十九）

……雄辯家銘々傳

淺谷長輔氏の巻

第四號案、玄米檢査ノ施行ヲ其筋ニ要望スル件（大邱提出）で、大邱の穀物組合長鶴崎三郎氏の提案説明が濟んだ。その後議も異論を求める聲なく三分間ほどのどかな議場が平和な大會氣分をそゝつてゐた。頃合を見計らつて淺谷議長は『他に方法がないと思ふ』と議場に諮つた。『研究を重ねるといふ意味で一まづ可決したいと思ふ』と例のヌーボー式議事ぶりを發揮した。なほ研究を重ねるといふ意味で一まづ可決』、議長の『コンナ變挺子な『可決』なるものがあるのであらうか。『一まづ可決』は『一まづ留保』の間違ひではあるまいか。それにしては別に反對の聲を聞かないやうではあるが……と記者は自分の耳を疑つてもみた。或は、彼淺谷議長が、實はこの案に反對の意見を抱いてゐるのであるまいか、と、自問自答してみた。

ムツツリの若傷

更に又、鶴崎組合長の九州なまりを多分にもつた人なつこい、實に温和な口の利きやう、それでゐてシカも自信の強い一句一句に魅せられてしまつたのであらうか。それとも又、問題が餘りに重大なので何人もこの問題に對しその手段を早く是非の斷を下すことが出來ないのではあるまいか、……と、この場の空氣を推し測りかねてゐる時、議長の裁斷に應じて『賛成』『賛成』の聲があち此方から湧いて來た。四號案は、記者のから心配した疑問の數々に頓着なく今や正に可決されやうとしてゐたのである。

『釜山、異議あり』と發言を求める聲が一隅から響いた。見れば、色淺黑く、年の頃三十四五と思はれるキリつとした若者が立つてゐた。そして語をついだ。

『この問題は非常に重大なので、一先づ保留とするのが適當であると思ふ』と、言葉は頗る簡單であるが、その態度、すこしも臆ふ様のないさわやかな態度、シカも自信を持つた口つきは正に『可決』されやうとした本案をして形勢を逆轉するに十分の力と熱を持つてゐた。これが釜山穀物代表淺谷長輔氏の本大會に於る第一聲であつた。

彼の一言萬波を呼ぶ

米穀界において斯道の大家を網羅したこの總大會、したがつて若武者淺谷氏から見れば誠に居並ぶものは先輩諸氏である。然るにこれら先輩がすでに保留を中止してゐる時、これを差しおいて若輩たる彼が發言、シカも保留を求めることは相當の勇氣を要する。しかし問題は頗る重大なのに拘らず大した研究も議論も重ねられず無造作に可決されやうとしてゐるのである。こゝにおいて敢然淺谷氏はとつ造ひつ發言を斷行したであらう。が、ことの成り行きは默するに忍びず遂に起つてしまつたのである。かうした眞摯な心理はスッタと立つた彼の態度な物腰、眞摯な態度が十分に語つてゐた。かくて、計らずも投ぜられた一彈は、實に巨彈となつて萬波をまき起こしてしまつた。續いて淺谷氏について、三井本府技師の反對意見陳述―前日述べたと―なり、議長の釜山に對する意見聴取となり、それからそれへと問題は時ならぬ賑ひを呈して行つた。

今一層淺谷氏の辯を續けることにしやう（以次下）

荷主と運送業者の協議會開催の模樣

運送合同の圓滑な進展を計り 鐵道局が仲介する

運送合同問題は國際通運、國際運輸合同の運送業者の技術上の委員十六名を擧げて運合の實行問題の調査に着手したが、一方荷主側は何れかといへば、運合の技術上の委員會であつて局外的交渉を持つべき性質のものではない、從つて鐵道當局においても局外的方面から荷主との折衝機關として運合側および荷主側より夫々それぞれ委員を出して協議會を設け目下その方法に付き研究中である。從つて一兩日中には鐵道局の仲介のもとに荷主と運送業者との協議機關を見るかも知れぬ形勢とあるが、その協議會を運合側の委員會の上に置いて決議機關たらしめるか若くは單なる諮問機關たらしめるか又は最後の實行委員に荷主側を加へるか等の問題は未定である、しかし協議會の問題に關しては荷主側は餘り乘氣になつてゐないらしく、寧ろ場合によつては荷主側で別個の機關を設立し、運合派に對抗せんとする趣が動いてゐると見られるだけ協議會成立までにはなほ相當の紆余曲折があらうと見られてゐる要するに荷主側は最近運合側が突如運送の監定をなしたことに不滿をいだき、そこに一種の疑惑さへ持つてゐるのでこの點を當局が如何に裁くかが注目されてゐる

運合側から言質を得たい

荷主側の意嚮

荷主側では七日午後四時から京城商業會議所内で運合問題に對する協議會を開くはずであるが、右につき南米穀商組合代表の總務氏は左の如く語つた

吾々荷主としては運合其のものには勿論反對ではないが強制的にやる機運が熟せないのに強制的にやると言ふことに對し一種の疑念を持たざるを得ない、鐵道當局は最近まで嚴正中立を聲明してゐながら急轉して實行準備委員の選定を引受けてゐるし、又々これは中野通社長の態度が中途から變はつたのと關聯してそこに何ものかがある様に思はれる當局としては寧ろ運合及荷主雨派の主張が完全に融合した後斷定を爲すべきで、今回の如きは早まり過ぎた態度でないかと思ふ、併し明日の荷主側協議會では荷主側の直接關係すべき利害關係を研究し、其の結果に對して運合側から確かな言質を得ることになるであらう。而して此の點が十分保證されれば別に文句はない譯である、荷主及運合派の協議會を設け此の協議會を諮問機關又は決議機關となし、鐵道荷主運合三方面より最後の實行委員を擧げて決定すると言ふ點も一應顧慮すべき意見であるが、荷主側としてはそこまで積極的に行くべきかどうかまだ考へてゐない樣である。まして合同會社の株を荷主側として持つと言ふ様なことも十分研究すべき問題である。

鮮銀の移出手形利下

既に實施してゐる

低利方針の一端か

鮮銀では當業者に對する移出歩合の引下に努めてゐるが、米資金の出廻りで資金需要期に入つた昨今鮮銀に於ては歩合を通知せず資金を申込んだ向きに對し二厘方の引下げを實施してゐる。即ち移出手形の一流物は一錢八厘までとし、既に一厘方引下げその他も一二厘方引下げる方針であると、しかし個人取引との關係は僅に二厘に過ぎないのと一流手筋は地場の普通銀行のまた入る様な時期の商賣に今日の鮮銀引下げの影響は餘り

されてゐないが今回の引下げ實施に就いては商工會議所の五厘引下げ要望を少しづゝでも入れたい

といふ底意だ、鮮銀の低金利方針がその片鱗を現して來たものだとも觀測されてゐる。

銀行奉祝休業

鮮内各銀行は内地同様御大典奉祝のため十日十四日十六日の三日間休業することとなつた取引市場も同様三日間休業の筈である

金剛鐵增收

電力も良好

金剛山電鐵會社の昭和三年上半期決算はこの程終了したが、その成績は營業收入十六萬七千五百二十七圓、支出十二萬六千九百一圓、差引益金四萬六百二十六圓で、前年同期に比し約一千圓の增益である

金解禁を抽象的に聲明

【東京電話】五日の大藏省議において金解禁問題は極めて抽象的に聲明することに決定した

煙草會社業績

前年より增收 豫算より減收

朝鮮煙草元賣捌會社の第二期（四月より九月まで）における販賣タバコ賣上高は一千五百九十萬八千圓で、前期に比し三十七萬四千圓（二分四厘）の增加であるが、豫定賣上高に比しては百四十二萬一千餘圓、支出二十二萬五千餘圓、差引二十五萬六千圓で、減收としての配力は收入四十八萬一千餘圓、益金二十五萬六千圓で、前年同期に比し五萬餘圓の增收である

激增した小作爭議

併し實質は大したことなし

昭和二年中における鮮内の小作爭議は二百七十五件、その關係人員は三千九百七十三名で、國稅二千五百町歩で、最も多い道は忠淸南道百五十八件、全羅北道四十一件、全羅北道二十三件等である、過去三ヶ年の發生件數は

左の如し

大正十三年 一六四件 十四年 二〇四 十五年 一九八 昭和二年 二七五

であるが、これは總督府當局の發表に依つて見ると、即ち昨年は近年における記錄破りであるが、之は近年における小作爭議と見なかつたもので以前は小作爭議と見なかつたものも昨年から小作爭議として報告することになつたゝめかく多數に達したものださうである、從つて昨年急に小作爭議が激增したといふやうなことはないと當局は觀測してゐる。なほ朝鮮における小作爭議の原因は主として小作權の移動問題で、小作料の問題を主たる原因としてゐる内地の現狀に比し非常に趣をことにしてゐる。しかし朝鮮における小作爭議の過程も小作權の移動から小作料の問題にまで進むことは必然なので將來朝鮮の小作爭議は增加の一路をたどるのではないかと觀測されてゐる

十月局鐵業績

增收加

十月中に於ける鐵道業績は、收入合計三百二十二萬七千九百七圓で前年に比し四十一萬餘圓の增加を見た、之れが内譯は乘客百六十七萬三千五百五十九圓、貨物收入百四十四萬九千四百六十七圓、倉庫收入三千六百八十八圓、旅館收入十萬一千百九十三圓、一日一哩平均收入六十五圓九十三錢である

北鮮郵便自動車延長

朝鮮郵便自動車は現在新義州から鏡城方面の郵便物を上洲地方に逓送してゐるが、途中道路の改修と共に來る二十日頃から鏡城までの自動車郵便の遞送を開始することとなつたためこれが郵便物は一日以上の迅速となるが、かくて咸興、滿浦間は一日のみが未開通のこととなつた譯である

商況

大阪市中外棉唱へ

		前日比較
ストリクト	十一月 [illegible]	不變
ミドリング	同 [illegible]	不變
ブローチ	同 [illegible]	不變
ベンゴール	同 [illegible]	不變

鮮魚軟弱

京城の魚市場出場は昨五日より一圓低落である、水揚高三千七百四十八圓十錢賣買二千〇六十貫（單位十貫建）

タイ七〇▲チヌタイ四〇▲サハ五〇▲小タイ六五▲モエビ一〇〇▲小シビ三〇▲ヒラス一〇〇▲サハ七▲アヂ六▲カキ一三▲コノシロ一八▲アナゴ一六▲ヒラメ三六▲タコ三〇▲イカ二三▲アマビ六〇▲ニベ一七▲カレイ三

海外經濟電報

倫敦銀塊	二六片四分三	
紐育銀塊	五八仙[illegible]	
英米爲替	四弗八四仙	
對米爲替	四六弗一六分九	
米棉	四十五錢[illegible]	
印棉	二十[illegible]	
スチール株	一六二弗八分一	
アナゴンダ株	八九弗八分五	

鮮銀勘況（五日） 單位千圓 比前日增減

發行高	一[illegible]	增	一[illegible]
正貨準備	[illegible]		
保證準備	[illegible]	減	[illegible]

海苔旋り

海苔は天候關係によつて本年の收穫量が二割五分見當の減收を見越され、これがため氣配り相場を示してゐた。而して相場は内地物（十帖）二圓五十錢▲朝鮮物（同）二圓一十二圓五十錢―二圓八十錢であつた

茶强含み

葉茶は年々需要增加を示してゐる折柄、本年一番茶は成績不良を告げてゐたが、二番、三番、四番、茶は取扱良好で品質と騰念されてあるにも拘らず良好氣配も强含み模樣であつた。相場は煎茶（十斤建）八圓十五圓▲番茶、ホージ茶（同）六圓七圓五十錢、玉露（同）下三十圓―中四十五圓―上七十五圓であつた

落穂

一時間題を醸した國立元甲靈觀二期迄は前期より好成績▲といふたからとて喜び心なで下してはいけない。豫想より減收とある▲豫定の成績が社運なのか發行がによつたのかは考へやうだ▲しかしそりながらぽつ〳〵やるか▲タバコ會社といへば同會社の專務井上清氏の倒家も見つけた▲いよ〳〵交渉して見ると百三十圓の家賃に五千圓の敷金でギャフンは嚠をその儘▲間題の運合問題、御主も株を引受るが如何は熟思を要す、と當株式の御託宣▲正に其の通り、所がその理由にいはく▲運合會社がもうかるかどうかだ▲もうかりさうでないからださうだ▲もうかりさうでない運合會社に御主の利益を膠づける事故あるといふのがこの頃の間題中の問題である▲運合會社とは金然社會的仕をする會社とは落ち辛も心得てみなかつた

株式（六日）

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三鐵	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金剛	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大同	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電話	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期出來高 [illegible] 長期 [illegible] 當日 [illegible]

大株短期

銘柄	短期	賣方	買方
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場

	寄引	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄		銘柄	
鐘紡	[illegible]	鮮銀	[illegible]
同新	[illegible]	新	[illegible]
東拓	[illegible]	銀	[illegible]
同新	[illegible]	新	[illegible]
富士紡	[illegible]	取	[illegible]
日石	[illegible]		
瓦毛	[illegible]		

安東株式

	前寄	前引	後寄	大引
日本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

期米（六日）

▲仁川

限月	前場當限	中限	先限
（一）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（二）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（三）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（四）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（五）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（六）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（七）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（八）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（九）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（十）	[illegible]	[illegible]	[illegible]

後場	當限	中限	先限
（一）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（二）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（三）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（四）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（五）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（六）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（七）	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎東京

	前場（先）	後場（先）
（一）	[illegible]	[illegible]
（二）	[illegible]	[illegible]
（三）	[illegible]	[illegible]
（四）	[illegible]	[illegible]
（五）	[illegible]	[illegible]
（六）	[illegible]	[illegible]
（七）	[illegible]	[illegible]

	當限	中限	先限
賣入値段	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取組高（石）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	累計 [illegible]	[illegible]

◎大阪

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
（一）	[illegible]	[illegible]
（二）	[illegible]	[illegible]
（三）	[illegible]	[illegible]
（四）	[illegible]	[illegible]
（五）	[illegible]	[illegible]
（六）	[illegible]	[illegible]
（七）	[illegible]	[illegible]
（八）	[illegible]	
（九）	[illegible]	
（十）	[illegible]	

大阪三品米取組高

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible] 石
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible] 石
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible] 石

◎兵庫

	前場	後場
先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

◎下關 先限寄付 [illegible] 止め [illegible]

◎桑名 先限寄付 [illegible] 止め [illegible]

鮮内延べ（六日前場）

◎釜山（角ケ丸良）

	寄付	大引	高値	安値
十一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎大邱（現物丸良都）

	寄付	大引	高値	安値
十一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎群山（現物丸七三等）

	寄付	大引	高値	安値
十一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎大阪棉花

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

◎二十五センチメートル

◎大阪棉絲

	前場寄付	同引	後場寄付	同引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎横濱生絲

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

◎現物建値 [illegible]

◎爾中社

	前日	本日
當限 後寄	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖 前後場

	寄付	大引
當限 前	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]
先限 前	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]

京城手形交換高（六日）

枚數	[illegible]	七七九枚
金額	[illegible]	[illegible]

市中標準値

丸キ四等米	一一五圓四〇
新米卸値（百キロ）	一一〇圓五〇
仁川一等白米	一二七圓九〇

株式

買力は鈍り 頭重き狀態

前場 昨五日後場下押しの勢ひで今朝は内地の味なき寄付を移して依然冴えず現物は相當出でた。かくて昨後場に比し京取も閉鎖先、今朝は内地の味なき寄付を移して依然冴えず現物は相當出でた。かくて昨後場に比し大新は同十錢安と東新十錢安で前場を終つた

膠着狀態で 依然味がない

後場 前場頭重き模樣で、後場も内地の不冴えを入れて依然氣乘薄く結局伸惱みのまゝ後場を終つた。かくて昨後場止に比し大新三十錢安東新同事であつた

金解禁の成行が 今後を支配するか

九月以來御大典相場も自ら終始してゐたが遂に出現なくその間却つて金融緩慢期行詰の寵聲に禍されて相場は反落した、以來人氣の冷却となるや買過ぎの反動によつて東新は四、五圓方戻したが何分自然取る可き材料なく相場は一進一退の小高下を繰返し動搖的の姿を呈した、併し今後相場の思惑とも見られるのは尚高見越の成行如何である、が現狀からも考察して高値を迎るすべきものとも思はれず矢張り主觀的には金解禁の成行が當面の問題と即ち解禁問題一般に相當の影響はしてゐるものゝその結果にしても一時的でも可成りの打撃は受けるであらうし此の間題は遅早に斷行されるは事實にして早時期の問題とされてゐるが、政府としては來年上期末とされてゐるが、昨今の如く籌畫の回復が急になつて見るとそれより早目に實行されぬとも限らぬ、かくの如くなので今後の相場は矢張り金解禁に支配されるものとする向が多い樣であつた

軟派の空賣は注視を要す

過般來金解禁の鑑頭によつて軟派は総攻撃の底始となり硬派は遂に崩れた、其後政府當局の崩耳論に加へて人氣の冷靜となるや相場も見は過日解禁に對して悲觀した硬派が前途を樂觀し弗々買向つてゐた、一方軟派は手持株に取引の增のや依々先安を見越して空賣りするもの多い、從つて現狀の仕手關係は軟派の思惑的空賣りに對し硬派の採算と言ふ形勢である、かくの如くなので人氣の弱い割りに下落せず東新は百七十一圓臺を彷徨してゐるが、併し今後軟派が

代引變化鈔し

今朝は前日と變りなき商狀を呈してゐるので代引尻にも大した變化なく只京取は一千三百九十枚と二十枚を大新は八百八十枚と十枚を僅東新は二千二百十枚と三十枚を各々減少したのみであつた

伸惱みの爲 商内は閑散

相場は依然味なく何れかと言へばまだ下押しの氣配が見えるので買手は控へ賣方は多く見送つてゐる状態であつた。かくの如くなので今朝も大した手口も見當らず只大新、東新のマバラ賣に對し買方は松山の目立つのみ、かくて昨後場の出來高は二〇枚に對し今朝は京取四〇大新一〇東新一六〇合計三四〇枚であつた、このうち三〇枚以上の手口左の如し

今日の手口

成 大新 賣方成渡五〇洗股四〇▲買方松山一四〇

東新 賣方田中道六〇大林五〇新田四〇▲買方松山一〇〇成渡三〇

本玉

六日前場における百枚以上の建玉左の如し

京取 賣方新田三〇京幽三八〇古川二〇〇白井一七〇▲買方金秀六五〇成渡四九〇松山四〇〇正崎三七〇田中友二五〇洗股二四〇新田一〇〇

大新 賣方小口▲買方松山一七〇古川一三〇京幽一一〇▲買方松七九〇正崎五四〇田中過二六〇白樂一六〇

新 賣方京幽八二〇新田二九〇白井二〇〇▲買方松山一、三九〇正崎一、一七〇田沼七四〇白築五四〇金融三六〇洗股一六〇市川一一〇

つよきよわき

株式 御大典の御祝ひ氣分が漸次濃厚となつて來ので相場も深く祝の意味に於て上にも下にも行かず休戰狀態を繼續してゐる。しかしちれだけ期待された相場だから御大典終了後一時的でも跳返すかもしれないと見る向きもあつた▲ざりながらこれに餘り期待することどかへつて失敗を起こすかもしれぬ。何れにしても今後主動力になるのは金解禁の成り行き如何

期米 今日からいよ〳〵御大典の本祭にはいつたので市中は一層祭祀氣分が濃ふて來たが相場の方は一向賑ひそうにない▲見越す所正米は貿物薄と賣方の見送りでこの分ご建も三進も出ない、といふ形▲又仕手の態度は内地米作二回豫想が發表されてから後乘出しても遅くないといふ自重主義である▲これでは相場も浮れないのが當然で未だヨソ〳〵行くに限るらしい

期米

氣乘り薄く 焦付き狀態

前場 昨後場手詰商狀を演じたるも、今朝は現地の伸惱みと相俟つて又復弗々が二十五圓四十六錢と下たどりを演じアトは双方の見送りで氣乘薄に四十一錢から四十七、八錢所に焦付き近來になき閑散を呈して前場を終つた

双方の見送で 冴えない場面

後場 前場焦付き狀態の模樣で後場も減收豫想の懸念に依然見送られ先限二十五圓四十四錢と一錢安に寄付き、二節は四十一錢に叩かれたるも三節以降六節までは小高下を繰返し味なき場面を呈した

茲四五日は 油斷は出來ぬ

愈に發表せし鮮米二回豫想が相當に鬪争の反響もなかつたので近く發表される内地米作二回豫想も大した影響はあるまいと云ふ觀察をして居る者もあるが、何分にも目先材料としては此の數字如何に關することなきのだから無材料の折柄兎に角これが話題の中心となつてゐる。即ち強氣側では秋日和が良好に過ぎし事から推して第一回豫想と大差あるまいと云ふ説が有力であるのに反し弱氣側では一回豫想後に虫害を受けた箇所が相當あるのと大體に於て一回豫想が一般の觀測より多く發表された嫌がある、従つて少くとも五百十一萬石位は減收するだらうと力說する、可成り面白い勝負が演出されてゐるから何の勝負が何れか當るかは茲四、五日の賭けごとであると同時に減收説が當の多數にあるとしたら相場にも時に現れて來る時だから油斷は出來ないと云れてゐる

採算筋としても 手が出ない

新材料の出るまで 當分往來相場か

新穀の出來秋は毎年産地で買付ける米を定期に賣繋いで其間の値鞘取りを目的とする鮮内が流行するものである、本年は例年に比し出廻りが遅れて居るのと定期が正米より割安を叩いて居る爲め流石の採算筋も手の出し様かなく此邊傍觀せざるを得ない狀態であつた

前月米相場は全く二十五圓四、五十錢所に焦付いてしまつた、是れを仕手の態度から見ても別に目立つた行動に出る向なく只小口筋が改地の小高下に連れて賣買を繰すに過ぎない又正米弘側から云ふても目立つて出廻つて來る玄米や糙は殆ど貿約濟みの品で取引上何等の過不足もない、此の關子では相場は動くに動かれないのが當然で今や仕手の注目を惹いてゐる内地米作第二回豫想が一般の豫想より幾つた數字が現れるかそれとも他に何か新なる材料が現れない限り未だ當分は此邊の往來相場を繰返すの外あるまいと見られた

株 京取市場仲買

京城明治町二ノ八七

京城證券株式會社

社長 南 源 兵 衛

式 現株公債債券

京城正米

產地の大荷主通は高値待ちに値頃は容易に賣廻せず殊の極上は七錢七八厘見へ頑張るので地場の穀揃業者又産地高に引揚られ高張る併し賣筋は目先如何を懸念して何れも當用買の外買控へ風情なれど賣物薄だけに相場も飽りしてゐた④三等二十五圓七十錢四等二十五圓四十錢揚玄米上等二十四圓中米二十三圓五十錢下米二十三圓精米組合特等白百キロ二十一圓二十錢一等白米二十四圓五十錢殺上物七錢七厘中物七錢四厘下物七錢

大豆

内地は御大典氣分と先安へ氣に必需の外買はず地場の實需筋又滿洲大豆の續落を眺めて買氣引立たず相場は弱含みの態であつた龍山十五圓八十錢長湍十五圓

京城物組合建値

八十錢龍鐵十五圓八十錢金浦十五圓四十錢

▲ミートン玄米十八圓八十錢ミトン白米二十二圓二十錢下白米廿一圓廿錢其他雜穀建值は▲粟 鐵尉新物十二圓五十錢滿州新物十二圓三十錢滿城十一圓三十錢平壤十一圓十錢高陽十一圓十錢▲綠豆 朝鮮物十九圓七十錢▲大麥 朝鮮物十八圓五十錢滿州物十二圓七十錢▲大麥 朝鮮物十九圓九十錢▲小麥沙里院物十六圓二十錢朝鮮物二十五圓七十錢▲高粱八圓八十錢▲胡麻滿洲物二十五圓四十錢▲蕎麥十三圓四十錢▲小豆 龍山物十二圓五十錢▲黍二十錢▲糯米滿浦三十錢▲碎米▲一等碎白米二十錢▲中碎白米▲十八圓五十錢下碎白十五圓五十錢

仁川正米

⑧田三等二十五圓六十錢四等二十五圓三十錢⑤四等二十四圓五十錢⑤古四等二十三圓二十錢玄上物七錢三厘在來種七錢一厘一等白二十八圓二十七錢九十錢精米組合一等白二十八圓十錢の唱たるも産地商人は現在の相場では賣惜み中には手入れするものも弗々現はれる狀態であつた

大豆

龍山通鐵十六圓長湍數十五圓六十錢水原十五圓四十錢水原平澤十五圓十錢なるも内地不賣と產地の高過りで閑散を呈した

仁川穀物出入（六日）

着	米（叺）	五八七五
	（袋）（俵）	二〇三五
		四二五九
	豆（叺）	三三四九
發	米（叺）	一〇三九五
	同（叺）	一二〇〇七
	豆（叺）	三九七五
	大（叺）	四五五七

仁川府海岸町三丁目

仁川米豆取引所取引員

○桑野健治商店

電話長三九番六三九番

大豆全部出來不申

正米

安取粟取引

安東取引所五日の滿洲粟相場は左の通り

（前場）

	末日限月	日限月	日限月	末十一日限月
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
出來高	車	車	車	一車

（後場）

	末日限月	日限月	日限月	末十一日限月
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一[illegible]
出來高	車	車	車	一車

後藤半四郎

鐵人侠勇實錄（39）

桃川如燕口演 野口紅涯畫

長八は顔色を變へて、長『何で大膽さまが牢になど入れられた』『それはかういふわけなんだ。お前さんが置いて來たお金を見て大膽樣は大層ご立腹なされ、悪んだお金だから受取るわけがないといつて馬喰町中お前さんを探したが十六年前に名前を隠へてゐるからそれを鐵藤市之丞といつて探してあるいたところでわかるわけがない況して今度世間をたゝんで、一時わたしもこゝに引移つてゐるし、これではなほ更知れるわけがないぢやないか。大膽さまもお弱ねあそんで、それでは一時このお金を御通しようと貰受けをしたところが、その筋ではお金がなくなつてゐたのださうです。それで大膽さまがそのお金を盗んで貰出しに來たものであらうといふ疑ひを受けて、加役の同心がつかまへて調べられたところが、たしかに

んだとは氣がつかない、そこで仲間の人達は知らぬ存ぜぬといひ張つて引取つて來たさうですが、十日程前にこゝへやつて來て詳しいことを話して行きました』長『さうか、イヤこんな事にならうとは知らず、昔の恩義を報ずるため鐵を親に洗めてこしらへた三十兩、その金ゆゑに大膽さまが災難にかゝるとは、世の中は全く暗のやうだよし、おれがこれから山崎町へ行つて樣子を聞いてみてお前の行つたことに間違ひがなかつたら町奉行に訴へ出る。さうして大膽さまをお助け申さなければならない。ところでご新造はどうしてゐるか』長『その後山崎町のいろは長屋に普請が出來たといふから、そこにお在なさることだらうと思ふが』長『さうか、デハすぐに行つて見やう、ナニさうしてはゐら

れねえ。おれの出たあとへ親分や親分衆が訪ねて來たら蔵用で下谷まで行つたといつておいてくれ』郎『まアお前さん少し休んでから行つたらよからうに……』長『馬鹿なことをいへ、おれゆゑに難儀をしておゐでなさる大膽さま、一刻も早くお助け申すやうにしなければならねえ。ザヘ行つて來るぞ』旅の疲れも忘れて長八、急いで下谷の山崎町に出て來ましたが、當今の下谷とは大分違つてゐる。昔はこの山崎町から松本町、松島町などはあまりよい所ではなかつた。前にも申上げた如くこの山崎町のいろは長屋には世に捨られた人々ばかり住んでゐる、それが去年の火事で燒けて新しく普請が出來上がつたばかり、普請といふと大層だが木ッ葉の上うな家ばかりだ、その路次の入口は店藏に鍛冶と二戸前ある通町といふ商家普通の住居、どういふものかこうした町内にも立派な藏の二戸や三戸はきつとある。處々人の鍛い所だからこういふ藏の家は繁昌する、その代り質に持つて來る代物にろくな物はない。箒や下駄、朝飯を食べてまだ飯の入つてゐるお鍋などを持つてくる者がある

大丸洋服店 本電270

〽ない、かと お調べになつたさうです。今年の秋口にこの町のお前さんが目刺しの事件で加役の殿さまが、ひどく不仕合せでまだ去年の火事に遭つてまだ會所で調べられて居る身の上でうけ先を探ねますと、十八日に山崎町から火事が出て、その時ご新造が上野の數小路で、南のお町奉行大岡さまにご直訴をしたについて、加役屋敷から改めて吟味さまはお町奉行に移されたさうですよ』長『フーム、それでおれの行方をさがしてゐるのだな、しかしおまへはどうしてそんなにくはしい事を知つてゐる』郎『一丁目の秤平さんがやつて來まして、この事件でお町奉行に呼び出された、鍵屋の番頭といふ御屋はみな六年前に名をかへてゐるから、お前さんも鐵藤といふのがおまへさん

京城日報　朝刊　本紙朝夕共十二頁

人物偶録

德富猪一郎先生新文集　蘇峰叢書　第六册（新刊）　定價五拾錢　送料金六錢

内容一覽

◆大隈侯◆大隈侯を弔送す◆海東老公◆海東老公を葬る◆桂公提撕後第十三年◆山公遺烈を讃む…山縣老公の側面觀◆杉浦重剛翁◆伊藤隆彥吉君を弔す◆快男兒横田千之助◆實業家の氣品…和田豐治君を弔す◆德川賴倫侯を弔ふ◆京都同志社の一先生◆救世軍と山室君◆大谷伯爵夫人を弔す◆古の日本婦人の典型◆周雁の露…其一　矢島楫、廣山の雨和尚…其二　金澤獎、李一堂、明石柏陰…其三　海舟翁、桂公、寺内伯…其四　重野、竹添兩翁及び其他…其五　紅葉、樂山、鴎外…其六　巖谷先生、秋の舍主人…其七　島田沼南、中江兆民…其八　原田直次郎君…其九　安藤翁と家翁…其十　江藤新作君…其十一　古澤介堂…其十二　長岡遼海子爵…其十三　石井十次君◆故洪水先生夫人◆春畝の大柱忌◆京都帝國大學構内の柏樹◆矢島楫子◆矢島先生◆德富萬熊君の靈に說く◆陳嘉一瞬…德富萬熊永眠後一個月◆附　湯淺作次郎君を悼む

人物月旦は、蘇峰先生獨擅中の獨擅場である。本書收むる所丗有餘篇、政治家もあれば、學者もある。文藝家もあれば、宗教家もある。實業家もあれば、婦人もある。別けて先生と血緣ある方々が少くない。これは先生が親愛する人の爲めに、折角手向けられたる紙碑である。就中『故洪水先生夫人』の如き、『德富萬熊君の靈に說く』の如き、先生の眞情流露して、筆下涕泗、誦くの感あり。是れ實に孝子にして熱交たる先生にして、始めて此の筆文ある所以。大方の愛讀を待つ。

出版目録　呈贈

第一册　皇室と國民　第四册　好書品題
第二册　名山遊記　第五册　書齋感興
第三册　國民と政治　第七册　關東探勝記（近刊）

各册定價金五拾錢　各册送料金六錢

東京市京橋區日吉町　振替東京二三〇〇番　民友社

増訂改版　電氣磁氣測定法並測定器具

工學士　清水與七郎氏著　菊判布裝　上卷金六圓八拾錢　下卷金七圓五拾　送料各三十錢

下卷出來　完成

本書の第一版は著者が遞信省在職中多年の研究の結果を公にせるもので斯學に關する世界的權威書として廣く實地家並に研究家に與語とされた名著である。然るに公刊以來斯學の進歩は實に顯著なもので殊に最近の激變たる高周波工學の發達は測定法上にも亦一新生面を拓いた。著者は此進歩せる現狀に鑑み之を網羅し遂に改訂版の刊行を見る事となつた。此改訂版中特に注目に値する二三を擧ぐれば交流電位差計の發達交流限精密測定法。高周波回路に於ける諸量の測定法。誘導並に容量測定法の進歩。抵抗計の進歩。殊に近時嚴密の測定を要する特殊測器類其他各種測定法の進歩改良に伴ひ巧なる圖版千百餘圖紙數千二百數十頁に及び實に世界的の大著である。蓋に上巻の姉妹版を出せしが今や下卷全く成る。電氣技術者の指針として座右に備ふべきは勿論電氣主任技術者檢定受驗者の精讀せざるべからざる無二の寶典である

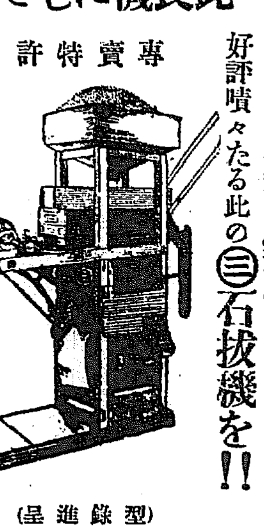
出版元　東京市麹町區中六番町五四　振替東京百七番　電話九段千拾番　合名會社　裳華房

甘言を避けて事實を取れ

滿鮮二千臺を突破する好評嘖々たる此の㊂石拔機を!!

此良機にして此光榮あり

專賣特許



（進歩型錄）

カドタ、ヨシダ、石油發動機代理店

陸海軍御用達　㊂滿留產商會　釜山府大倉町二丁目　電話長一七九番

龍山練兵町二三　京城出張所　電話龍山長一〇五三番

他見男さんユーモア全集

◆我が八千萬同胞よ◆

漫畫漫文の『他見男さん』大ユーモアを體し現代式生活を脱して大宇宙を飛躍するの人となれ。

宇宙から見たら地球は小さいものだ。その地球に住んでゐる人間は殆んど存在が認められない程小さい。一體大きな入れ物の中に小さな體を持ちながら生活難だ就職難だなぞこぼすなんて。萬物の靈長たる人間は何を沈んでゐるか。何をクヨ〳〵してゐるか。何故生を聲喜しないか。

「ユーモア」を持て。ユーモアなき人に成功なく、人生がない、我々はユーモアを謳ふ。そして他見男さんを謳ふ。あの巧みなユーモア大文章は從來幾十萬の人々の心を明るくし、無限に教訓を與へて小さかりし日本を大きくした。人世に生くる者の甲斐を教へた。働く者に喜びを齎した。實に大正の文壇を縱横無盡に風靡せしめた偉力には何人も驚愕おかなかつた。あの諷刺に滿ちた文章は一躍從來低級視された滑稽文を高雅と上品に導き、世の中に眞にユーモアの意義を齎らせるもの實に此の他見男さんである。

讀者諸君!!一度此大ユーモア全集に接せんか忽ち數十の漫畫と漫文の靈に魅せられ五尺の體軀に神通力をあらはし廣い宇宙を自由自在に飛び廻るの大勇氣を起すべし。乞ふ即刻申込まれ、此の神靈に接せられんことを。

全巻總目録　（壹組二册）（一册五十錢の割合で一函に入れて一組としてあります）

1 大學出の兵隊さん
2 學士様なら娘をやろか
3 お泉お坊の女
4 ルンペン街の一夜
5 女學校出の北條さん
6 高い山から谷そこ見れば
7 美しき君よ今夜は何處で踊るのか
8 君と別れて松原行けば
9 逢ひたい見たいは山々なれど
10 あてのあります物語
11 銀座の夜の若き群れ
12 西坊の先生頭
13 愛する君よ
14 誰が恋しくてなりませぬ
15 三國一の花嫁
16 他見男さんの活動物語
17 初旅の西と生
18 娘ものの云うた好きと
19 若い者よ恋が來たら
20 彼女の顏が賴しゅてならぬ
21 娘よく來た見たかった他見男さん物語

二册入一函一組で壹圓

豫約募集

十二月五日進呈　内容見本　〆切

申込全國書店

實物出來

豫約規定

頒布方法　全部拾壹組（四十二册）豫約會員のみに頒布
刊行期日　每月一組宛刊行
體裁　新形四六判洋裝金文字入函入美本◎紙數平均壹組七百頁内外
入會申込　御入會の際申込金壹圓御拂込下さい。（最終の會費に充當）最初の月の會費は別に御拂込みを願升。申込金は中途解約の方へは返戻せず。
會費及送料　每月拂一組（二册）金壹圓（送料市內六錢、內地十二錢、朝鮮、臺灣、樺太、満洲十四錢、外國廿四錢）全部拾一組（四十二册）一時拂金拾八圓（送料市內壹圓二十六錢、內地貳圓五十貳錢、朝鮮、臺灣、樺太、満洲武圓九拾四錢、外國五圓四錢）
拂込方法　申込金を要せず。◎注意　一時拂は申込金同時拂込、一時拂は發行所直接に限る
配本方法　全國各書店又は發行所へ御申込の事　發送に取れて毎月五日過に配本す

發行所　東京市神田區表神保町十　玉井清文堂　電話神田二三三三番・振替東京三一八番

實用日英會話

東京商科大學講師　ルース著　袖珍型洋布裝　紙數四百頁

實用日獨會話

神戸商業學校講師　ハリール著　袖珍型洋布裝　紙數五百五十頁

實用日佛會話

第一高等學校教師　ブスケ著　袖珍型洋布裝　紙數五百八十頁

右各册　正價壹圓五拾錢　送料十六錢

英文學者　ヴァインズ・堀英四郎共著　正價壹圓　送料八錢

FAMILIAR ENGLISH SPEECH

イーストレーキ著

英和俗語會話

英國の知識階級で今日使用されてゐる會話を有らゆる場合に從つて撰擇し其の原文と譯文を對照してそれが實際に話される通りのままを證し…

鈴木於兎平著

實用日露會話

足立忠八郎著

實用日華會話

發行所　東京市神田今川小路　振替東京八四二四番　金刺書店

超最新型1928年式　ウヰコ石油發動機

（代理店募集）

◎本機ハ堅牢ト使用容易而シテ價格ノ安價ガ生命デアリマス

搗米、製材、其他一般農工、動力用ニ適ス

【カタログ進呈】

大阪市西區新町橋西詰北入　水田高夫商店發動機部　電話新町二四一九番　振替大阪八二二九八番

タオル

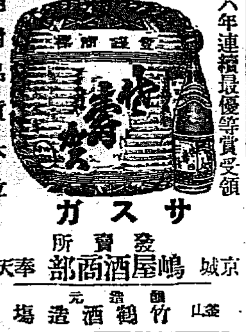
御誂印入タオル　沓下類　メリヤス卸商

釜山長手通　村上タオル工場　電話一〇二　振替釜山

於第八回慶南醸造品評會　名譽賞銀牌受領

六年連續最優等賞受領

絕對品質本位



サスガ

京城　嶋屋酒商部　奉天　發賣所

釜山　竹鶴酒造場　醸造元

萬人大熱狂!!

講談雜誌

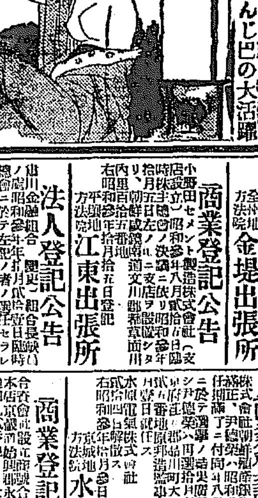
賣れる〳〵又々再版、大增刷!

妖婦、偉人、モボ、モガ、まんじ巴の大活躍

高橋お傳　蛇姪鏡

畑耕一氏傑作

思ひ懸けなく惡魔滿次の手込めにあつたお傳は、痴夫を抱へながらもの凄き日夜を送つて居る…突如!



魔劍辻斬り權八

血に飢た惡刀村正の凄き切味!……淡路呼潮

◎血煙高田馬場

安兵衛大仇討、伯爵師匠寶のの息をもつかせぬ名長講!　大島伯鶴

◎烈士村上喜劍

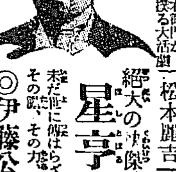
淺士外傳中で、これ程痛快な然も悲壯な物語は少ない!　轟丹三郎

◎山村座大喧嘩

粗忽者の不敗數右衛門が、芝居役者をブン撲る大活劇!　松本麗吉

◎名小說其他

◎愛慾十字軍　水木京太
◎名優河合武雄　小生夢坊
◎東海道膝栗毛　宮尾しげを
◎銀座新行進曲　北村壽夫
◎御木本成功譚　蛇窟山人



星亨言行錄

絕大の決傑、鐵血の平民未だ世に傳はらざる其放膽なる逸話數々その死、その死は死せず…

◎伊藤公とお梅さん
これは又大政治家の珍奇無類な艶話

◎男女三角關係譚

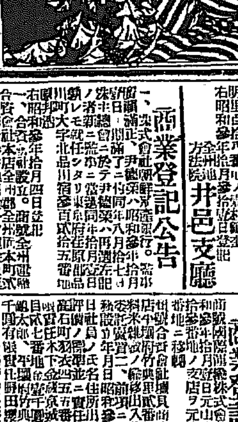
恐しくも陰惨な世にも怪しの男女三角關係と其に絡る性の犯罪の赤裸々の相の記錄を見よ!　中村古峽

◎戀の日の弘法大師

戀の惱なら百夜の通ひも何にとて厭はれ樣か、一途に思ひ詰めた娘お花の悲戀と聖僧の受難!　井上誠也

◎實說白子屋お熊

いよ〳〵本舞臺!山下茶屋のお熊と忠八の出來合と…三郎お常の怪しからぬ出來心の展開は…　中内蝶二



哀婉極みなき情史　お夏清十郎

「俺の戀の心には主人も家來もない。」たゞ誠の情がある許りぞえ」美しいお夏の眼尻から露をも落す涙が流れた……

侠商　大倉喜八郎に

大阿内羅山氏が特に寄せられた新作講談!

當世變態戀の百面相

痛絕、怪奇、然も妖艶無類、赤裸々なモダン戀の行進曲十余篇を公開

◎大阪裏通りに展開された戀
◎ろくろ首との奇拔な戀愛
◎突如!泉水の中へ眞逆樣
◎モダン銀座戀愛行進曲
◎恐ろしや女を瞞した罪の報ひ
◎男女二人にそうめん一つ??
◎舞臺を拔け出す女形の戀……
◎咄!卓子の下に隱れる足は……
◎なぜか夫婦生活に倦が來て……
◎噓か眞か暴行記事の眞實……

アッと誰も驚く素晴しい十二月號の內容!!

安い!三十錢（送料二錢）　東京小石川　博文館　振替東京二四〇番

商業登記公告　鎭南浦支廳

[illegible]

商業登記公告　金堤出張所

[illegible]

商業登記公告　江東出張所

[illegible]

法人登記公告　永柔出張所

[illegible]

商業登記公告　議政府出張所

[illegible]

法人登記公告　鐵原支廳

[illegible]

商業登記公告　遂安出張所

[illegible]

法人登記公告　春川支廳

[illegible]

法人登記公告　井邑支廳

[illegible]

商業登記公告　全州地方法院

[illegible]

商業登記公告　平澤出張所

[illegible]

商業登記公告　水原支廳

[illegible]

商業登記公告　永登浦出張所

[illegible]

商業登記公告　平壤地方法院

[illegible]

商業登記公告　平壤地方法院

[illegible]

錦旗にそよぐ秋風に 夢の如き鹵簿の進御
君が代の奏樂裡に馬蹄の響
光榮の日の名古屋市

【名古屋電話】冬まだ明けきらぬころから、名古屋驛前廣小路沿道には陛下を奉拜せんとする赤子の群がひしめいた金もうけに抜け目のない中京商人は御沿道の空地といふ空地至るところに座席を設け貸與組織で座席を賣るなど、さすがに名古屋と思はれる、そして一人十五錢、二十錢の座席で前日中に賣切れたといふから驚く。市では御沿道奉拜者のため紙一萬四千五百枚を敷、すべて坐つて拜むことにし奉拜列は小學生その他幼年者次が老人、婦人の順で最後列が壯年者とするなど、なかく用意が拂はれてゐる、午後三時十分名古屋驛に御召車の指導列車が到着したころから奉拜席はにはかに緊張を示した、やがて三時三十分御召車は無事名古屋御着、野砲第三聯隊の皇禮砲と奉迎民の君が代の奏樂裡に鹵簿は靜かに進みはじめ、馬蹄の響錦旗にそよぐ秋風のはためき夢みるごとき鹵簿の御進に名古屋市民はひたすらに奉拜した

拜觀の異國人を 感激せしめた鹵簿
◇……寒夜を厭はぬ國民の赤誠

【東京六日發】京都御發輦の日、各國大公使館の内外國人らの正裝した花が咲いたやうな美しき一團が沿道に整列し奉拜申上げてゐたのは一段と人目をひいた、外務省の肝いりで外人拜觀者三百十二名は同日午前五時半までに三條大橋東詰消防部裏の假設拜觀所一間幅の小高い場所で毛氈敷の上で二十餘名の御鹵簿をうけ、らくくと拜觀の榮に浴してゐた、鹵簿奉拜の後アメリカンスタールのキーイン氏は語る

私は三年前、私の大好きだつた日本へ來た、そして日本のことをすでに知つてゐる友だちから聞かされてゐた 天皇陛下の美しい鹵簿を奉拜する日をまつてゐたが、今その望みを達して天にも上る喜びです、日本の方々が規則正しく忍耐強く前夜から寒さもいとはず待つてゐられたことはほんとうに私は敬意を表してゐる、そして鹵簿の美しいこと御沿道の飾られてゐることは夢のやうです

御大典の御警衛 烏丸通の御警衛實地演習

日本の市（九）
—市を通じて見たる内鮮關係—
善生永助

明治以降の市

殊に東京においても日本各地における市場取引は相當盛んであつたが明治維新以降、各種商品の販賣者が著しく、鐵道、航路、郵便、電信、電話等の交通も進歩し、各地に大小の市街あまねく分布し、經濟上に密接な關係の取引の發展を來すやうになり、國民經濟の向上と相まつて、商品の販路を定期市場によりて行ふことは漸く減少した。然しながら朝鮮、滿洲等の特殊市場は[illegible]なるものとなりまた取引商品の取引市場が大いに發達したのさある如く今日においても地方によりては特殊の市場の存在するものがあるが、朝鮮において現在千三百余の市場が發達し、特殊の商品が大部分これによりて行はるゝに對比せば、實に今昔の感に堪えない。

日本に於ける市の分布が、能く各地に行きわたつて居たことは今日尙ほ市に關係ある地名の多いことによつても窺ふことが出來る。市に關係ある地名の中にも、地名を取つて市名にしたものと、市日を取つて地名にしたものとあり、飛鳥市、餌香市、小脇市の如きは前者にして、四日市、八日市、廿日市などは後者であるが、尙ほ此外に、上市、下市、古市、今市など時代及び位置を示したものもある。各地に於ける地名中市に關係ありと見ゆるものを拾つて見ると、大和の東府（昔の古市）辰市、市、十市、太田市、上市郷、柘榴市、阿斗桑市、高市、丹波市、市川、古市場、上市、下市、山城の市町、有市、市宮社、市、河内の餌香市、古市郷、古市、三日市、和泉の市場、攝津の古市郷、雜賀市、近江の古市郷、市邊、市原、八日市、伊勢の印市、四日市、尾張の年魚市（愛知の古名）越前の下市、加賀の野々市、（古昔に布市に作る）越中の上市、三日市、市田、越後の六日市、三日市、佐渡の五日市、甲斐の市川、小市、市郷、市之枝、市瀬、三河の大市郷、上總の市、信濃の市田、小市、市田、甲斐の市部、市川、甲斐の市郷、七日市場四日市、武藏の市場、八日市、五日市、古市場、市ケ谷、四日市、原市、今市、安房の市原郷、市原、上市場、下總の下市場、市川上郷の七日市、古市原市、赤岡市場、今毛田村市場、市野井、下野の今市、市野澤、常陸の下市、上市、市川、高市郷、丹波の古市、丹後の市場村、但馬の桑市郷、播磨の市之郷、大市郷、備中の大市郷、上市、因幡の古市郷、石見の市とも稱く、出雲の市今、六日市、の市山、跡市、今市、六日市、備後の深津市、新市（江戸の市）市村、新市（高野山村）三次五日市、安藝の廿日市、白市、四日市、五日市、廿日市、周防の西の津の市、長門の西市、伊豫の上市、土佐の十市、淡路の市村、豐後の濱市（郡郷市）今市、野津市、四日市、筑後の市塚、肥後の市之原、市出郷、薩摩の市來、磐城の市萱、岩代の市野、陸奥の四日市場、今市、市川、濱市、市野、の五日市、茂市、羽前の市野々、市神、市姫、羽後の一日市、七日市、陸奧の鍜市、市野澤、中市、市川など始め、各地に市に關係ある地名の存するを見るが、尙ほこの外、一戸、二戸、三戸、五戸、七戸、八戸、九戸などの戸は日の變化したものらしく、三日町、五日町、六日町、七日町、八日町、十日町などと同じく大抵昔の市日を地名にしたものゝやうである。また近江の愛知郡の如きも、古名依智に作り市の義を現はして居る

市の祭神

市に神を祭ることについては支那においても行はれて居るが、日本にありては『本朝通紀』に「推古天皇九年春三月、太子始市、使商賈知錢貨、奇此時、賀茂子神庶商賈願祗神、使貴以與実出焉矣神、自是始焉」とあり、聖德太子により市がはじめられ、この時神にてお越します、住吉の神は表から惠美須が祭られたことになつており、『理齋隨筆』にも同樣な記事が載せてある。『類聚名物考』には『京都江戸などの府内には市神なるが、田舍には必ず牛時の事をなすに、市日を立て、每月に六度、あるは三度などと定めてなす事つねの習ひなり、その所には、必ず市神といふを崇め祀ひてまつります社なり、その御神は所によつて各同じからず、まづは所の商神とて、いつきまつるなり、しかるに古へ神代に、市杵島姫おはしませば、その本紀にあるによりて、この神をはいた奉るべきなり、今も住吉の神を市の神としてあがむるも、そのゆゑなりといへる事もあれども、それは譬なり、市杵島姫は、天照大神の御子[illegible]表筒男、中筒男、底筒男命にして、伊弉諾の尊の御子なり、されども伴信友の『比古婆衣』に、この御神とせるも中古以後にいひ出でしにや、今もかの所に蛭子の市などいふこと侍るをや』とあり『住吉祀考』には『按ふに、今關東の諸町に、市姫とて市神社など祭るは、この神を祭るべきなり、市杵島姫もまた同じ』とある。然しながら『俊頼髓脳』とは『いちひめのかみ、市を守りたまふ神也といへり、大山祇の女大市姫也といひ、一説に市杵島姫命を祭る也といふ、山城記に宗像大神を祭るといへば、從諸神を是とす』とあり、これによると、市姫を祭りて市場の守護神とするの習慣は、延暦十四年、藤原冬嗣が東市に宗像大神を勸請したるに創まるといふのである。

張氏代表 京都に向ふ

【奉天六日發】御大典に參列の張學良代表の袁金鎧、王夏柏一行は獻上品白狐の皮二十枚支那帽子二百花瓶四個花瓶四個を携へて本日午後二時四十分發安奉線で奉天發京都に向つた

京畿道 記念造林
六百余町歩

京畿道では御大典記念事業として府郡學校寺刹に造林せしめることとなりすでに決定せるところ二百三十余ケ所六百余町歩植付苗木百二十余萬本で苗木は落葉松、朝鮮五葉松、はんのきにて、すでに植付も七、八分通り終つたのでいよく植付を開始する事となつた、なほ一般道民も栗、胡桃、朝鮮五葉松等を各家の廻りに植付ることゝなり郡面森林組合でこれを斡旋する

政友會より 賀表捧呈
常議員會で決す

【東京電話】政友會は六日常議員會を開き御即位禮に際し賀表を捧呈するに決定したが右賀表は西岡幹事長持參し京都に赴き捧呈のはず

地方賜餐の 御召狀發せらる
京城の會場は勤政殿

京城における地方賜餐は三千六百六十二名に對し宮内大臣一木喜德郎氏の名を以てそれ〴〵御召狀を發せられたが、當日十六日は午前十時半から受付を開始し零時半頃宴を終ることになつてゐる

この賜餐の御馳走は松と菊で飾り大麻をかけた桐函入りの折詰に鯛、白むし、山澤昆布、カマボコ松の實等でその他に約冷酒一合入りの土器瓶子及び土器杯が附いてゐる

會場は勤政殿前の大廣場で勤政殿は休憩所になつてゐる、なほ當日は政務總監の發聲で陛下の萬歳を三唱するはず

英艦釜山入港

英國東洋艦隊パーウイック號は御大典奉祝のため本邦領海内に廻航することになつてゐたが同艦は十一月十日から十四日まで釜山に碇泊し各御儀執行の際は皇禮砲を發射することになつてゐると

慶會樓で祝賀宴
招待總員五千五百名

總督府祝賀會には御臨席に御召に預かつた者の外天長節祝賀會に招待される範圍の者に招待狀を發せられたので總員五千五百名の多きに達し當日は慶會樓で十六日午後零時から受付を開始し一時から開宴の檢閲りをはじめキーサンの手踊りなど各種余興があり直に宴會に入り先づ洋食の盛皿が出されこれには車海老冷製、牛舌冷製、キチンカラニケル、野菜サラトを六人分一皿、冷菓八人盛一皿、ビスケット、菓果、バナナ、一人一個づゝサンドウイツチの盛物があり、その他に燒鳥、鯛、カマボコ等を詰た折と赤飯を詰た折を二重にしたもの及び記念木杯があることになつてゐて閉會は午後二時の豫定、政務總監發聲の萬歳三唱あることとまた同じ

朝鮮神宮前の 府民奉祝式
府當局から六日 更に各方面に勸誘

御即位禮當日（晴雨に拘らず）朝鮮神宮前廣場で擧行の京城府官民合同御大典奉祝式は參列者一日の住民なるを以て京城においては最も盛大に擧行し府民奉祝の熱誠を捧ぐべく擧て府内町洞總代および各種團體に多數參加方を希望照會中であつたが、いよく御大禮當日も目睫の間に迫り來たつたので六日更に各方面に對し同上參加方を照會中であり、此際希望者は至急府内務係迄申込む事になつてゐる

荷主と委員との 提携が大切
戸田鐵道局理事の肝煎りで 運合問題漸く好轉か

運送合同問題に關し戸田鐵道局理事は六日午後四時荷主側の戸島、齋藤、宮林三氏（三氏とも個人の資格）を、また運送合同準備委員の吉田、竹井、永井、李英煥の諸氏を鐵道局に招き、先づ荷主側に對し、運送合同は荷主側の意向を出來るだけ尊重し最も無理のない方法で實現せしむべきものである旨を說いて荷主側に諒解せしめ、次いで荷主側に合同準備委員を紹介し、なほ委員に荷主側の諒解を求めて後合理的に合同を進められたいと希望し同六時散會したが右につき戸田理事は左の如く語つた

運送合同を進める上に最も大切なことは合同準備委員が出來るだけ荷主側と相談して新社創立に荷主側の希望を織り込むことである、故に本日先づ兩者會合の機會を作つたものである、而して荷主側では、鐵道局が準備委員の御指名及び指名したことゝ準備委員がまた荷主側の諒解を求める手段を執つてゐないことに不滿を抱いてゐたが、鐵道當局及び準備委員が荷主側を無視した運送合同は決して永續するものではない、どこまでも公正に鐵道、荷主及び運送業者三者の共存共榮を旨として合同に進むべきものである先づ荷主及び準備委員が提携して最も合理的の合同方法を協議されたい、兩者の意見が合致せぬ際は何んか就から說明したところよく荷主側には諒解された、而して荷主側には商業會議所、各商工聯合、荷主協會など荷主側の利益も代表するものが多いが、荷主協會が最も組織立つて居り準備委員としては同協會を相談相手とすることが合同問題を纏める上にも最も便利であらうと思ふ、また鐵道としても同協會が益々發達して行き、永く鐵道及び運送業者との提攜が續くことを望むものであると

荷主側の態度 協議會の設置希望か

右の會合において戸田鐵道局理事は荷主、合同準備委員とより成る運送改善協議會設置案を持ち出さなかつたが、荷主側では八日午後三時より京城商業會議所に集合、對策を協議するはずで多分協議會設置を希望するに至る模樣である

絢爛の裝ひをこらし 御着輦を待つ大禮の都
掛けた棧敷が一間百圓の價値
辨當携帶で徹夜

【京都電報】陛下御着輦の日は來た、昭和現代を飾く御大典に全市隈なく絢爛の裝ひを凝らし御着輦を待ちわび待つた、京都市民は今や歡喜の絶頂に達してゐる、鹵簿の御沿道烏丸通りの各戸はすべて大戸を開き入道に面して高さ一尺ばかりの假作り棧敷を設けて入道に奉拜する奉拜席の後から御盛儀を拜せんとするものであるが、洛中市民に加へて日毎に入洛する地方民多數のため、この棧敷は一間百圓から五十圓の値が出てゐる、鳳輦御着當日は御着輦八時間に交通遮斷となるため熱心な奉拜者は前日六日午後からぼつ〳〵辨當飮食物携帶で烏丸通りの各所に位置を占めてゐる、御着輦まで、まる一日お待ちしようといふ熱心者には御警戒の警官たちも驚嘆してゐた、かくて御沿道の一般奉拜場所は六日夜十時ごろ殆ど立錐の余地なきに至つた

紺綬褒章下賜

十一月一日付左の三氏に對し紺綬褒章を下賜せらる

京畿道高陽郡崇仁面 金鎔鎬
京城府水下洞 平山政十
慶尚南道釜山府 金澤天

映畫の特別檢閲
御大典の謹寫に對しては 釜山に出張して

活動寫眞フイルムの檢閲は特別の場合を除くの外は原則として總督府において之を行ふ規定であるが御大禮に關する活動寫眞のフイルムは一刻も速かにこれを映寫し一般國民にその盛儀の御模樣を拜觀せしむることは最も時宜を得たることとなるによりこの際各新聞社その他において右映畫の檢閲申込がある場合は警務局においても出張檢閲を行ふは勿論一面釜山にも便宜をはかるため來る十一月六日より同十二日まで臨時に係官を釜山警察部に出張せしめ内地より移入の映畫檢閲に從事し一般の便宜をはかることゝなつた

朝鮮消防協會 陣容成る
政務總監を總裁に 來月二日發會式

朝鮮消防協會評議員會は五日本府第二會議室において開催、發會式の件、本年度豫算の件、本年の事業計畫並實施設定の件その他について協議した結果發會式は十二月二日本府大ホールに於て行ひ、當日は引續き秋季消防演習を擧行することに決定した、定款設定の件にあつては本會創立の趣旨たる全鮮消防相互の提攜連絡、災害豫防に關する科學的研究、消防關係者の表彰、弔慰、殉職者遺族の救濟等の推行を明かにし、特に殉職救濟に關しては左の如く決定した

一、職務上（演習中を含む以下同）死亡したるとき 金壹千圓以内
二、職務上傷痍を受け又は疾病に罹り退職の已むなき者と認むるとき 金五百圓以内
三、職務上傷痍を受け疾病に罹り休業十五日以上に達し救濟の要ありと認むるとき 金百圓以内
四、疾病其の他心身の故障に依り職に堪へず退職する者にして十年以上勤續したるとき 金五十圓以内
五、其の他會長に於て救濟慰藉の必要ありと認め理事の議決を經たるとき

本年度の事業としては用具救濟に全力を注ぐことを申合はせ會合を終つた、なほ役員は池上總監の總裁就任を始め警務局長以下左の通りである

本部役員
總裁 池上四郎
會長 淺利三朗
幹事 石川登盛 田中半四郎

評議員
京畿道 秋山賀次
同 大林宇三郎
同 金炳星
忠清北道 岡田七藏
同 高津新二
忠清南道 中岡傳吉
同 須々木龍次郎
全羅北道 松本昌市
同 大澤彌十郎
全羅南道 鹽井三作男
同 松井理三郎
慶尚北道 松本誠一
同 田中貫一
慶尚南道 小宮萬次郎
同 劍[illegible]
黄海道 萬代龍助
同 細坂秀一
平安南道 大畑恒職
同 河村[illegible]
平安北道 岡本[illegible]
同 小畑[illegible]
江原道 山中[illegible]
同 井出[illegible]
咸鏡南道 杉野多市
同 小藤榮夫
咸鏡北道 稻垣多四郎
同 平田太一郎

山本滿鐵社長 張學良氏と會見
吉長、長大線問題をはじめ 各種懸案を協議

【奉天五日發聯合】山本滿鐵社長は御大典參列のため東上の途五日來奉した氏は五日夜七時張學良氏を訪問懇談し目下交涉中の吉長長大線問題について張氏と直接意見の交換を行ふはずでその結果各方面から注目されてゐる

折衝頗る順調
山本社長日程を變更 更に六日夜も協議

【奉天六日發聯合】御大典參列のため東上の途來奉した山本滿鐵社長は五日夜七時より張學良氏を訪問し四時間にわたつて吉長問題などに就き意見を交へたが、話は順調に運んだもの如く山本社長は六日出發の豫定を變更して更に六日夜七時より總領事館に張學良氏をはじめ張作相、東三省交涉署長、支那側要人を招待し饗宴を共にすることとなつた、この會合にても商議は進むものとみられてゐる

早大勝つ 2A—0
第三位となる

【東京電報】今秋リーグ戰の第三位第四位を決定する早立野球戰は六日午後二時十分より神宮球場においてグレー（球）荒田（壘）兩氏審の下に立教先攻に開始、立教、辻、野田、早大多勢、伊丹のバッテリーで戰つたが結局二A對〇で早大勝ち第三位となる、閉戰三時四十分

人

◇松岡本社長 御大典參列の爲め六日夜出發京都へ

茶話

▲夫役に撤當を給するのゆゑにこれを人夫拔ひするは不可なる由は▲その昔の總監の御諭でありつた▲祕書者を目撃取とまちがへられてはたまらぬはずで▲當年の總監の敬命は秋霜のごとくあつたら▲が夫役につくの民百姓が人夫扱ひされるもされぬも▲もと夫役があるからのことといつそなかつたらこの煩はおこりはしない▲現總監こゝに鑑みるところありてこれが廢止的態度を脫いだは嬉し▲もとより夫役制度發生の本原に立ちかへり▲公儀のために報効のまことを盡くさんとの▲心からなる寄與はこの後とても依然不可なく▲むしろ良風美俗のためにこれを翼みたい▲ただ欲せざるを欲せずとなさしむるのみ▲先憂の政治を直に行ふた今の政治は萬古中心の破爛を拂拭する▲士取扱の百合その下を塔のやう。

經濟

十月對支貿易 出超
二千四百萬圓

【東京電報】大藏省主税局調査によれば十月における對支貿易額は（單位千圓）

輸出	四七一五四
輸入	二二五七七
計	六九七三一
出超	二四五七七

にして前年同期に比して輸出は四百九十五萬七千圓輸入は二百七十四萬三千圓をそれ〴〵增加し出超額において二百廿一萬四千圓の增加を示したなほ一月以降の累計は（單位千圓）

輸出	四五五六三六
輸入	三一二〇七三
計	七六七七〇九
出超	一四三五六三

となり前年同期よりも九百六十八萬七千圓の出超增加であるしかして十月分の貿易地方別は左の通りである

滿洲	輸出	七二六八
	輸入	一六六二八
北部支那	輸出	八五五四
	輸入	六二六三
中部支那	輸出	一八〇五五
	輸入	七七四六
南部支那	輸出	四三
	輸入	一八一七
計	輸出	三三九二〇
	輸入	一六四五四
關東州	輸出	一〇〇二六
	輸入	六一〇一
香港	輸出	三二〇八
	輸入	二二

東拓の 年内代行豫定

東拓土地改良部に於て本年度中代行豫定の水利組合は豫年内に契約豫定六組合九千三百三十町歩、越年早々契約豫定六組合四千五百三十町、合計十二組合一萬二千四百六十町歩であるが其の組合名契約面積は左の如し

（股…内契約豫定）

組合名	道別	契約面積
東海	咸北	五五〇町歩
黑橋	黄海	二〇〇
於之屯	同	二三〇
松長	平北	六、〇〇〇
南市	同	八〇〇
館山	全南	一、二〇〇
小計	六組合	九、三三〇
●越年早々契約豫定●		
翠山	黄海	三五〇町歩
臨山	慶南	一、五〇〇
林川	忠南	六七〇
鴻山	同	五五〇
世道	同	五〇〇
長揚	黄海	五六〇
小計	六組合	四、一三〇
合計	十二組合	一二、四六〇

穀物比較値段

京城穀物商組合調査、昭和二年十月中と三年十月中の穀物價格比較は左如し（▲印は低價）

	昭和二年十月中	昭和三年十月中	△は安
㊀三等	三〇、四〇	三六、八九	△三、四二
地搗上	三六、三八	三四、一三	△二、二五
一等白	三三、五五	三一、三五	△二、三〇
鮮白	三五、八〇	三三、〇四	△三、八〇
龍山大豆	一六、三〇	一六、九六	六六
鐵原黃	一二、三〇	一二、一六	八
龍山小豆	二九、六九	三四、〇〇	四、四〇
粉	一四、五五	一四、五〇	△五〇
大麥	八、七六	八、三六	△四〇
小麥	一六、六六	一六、三六	三〇

果物收穫豫想

總督府では豫て朝鮮果物同業聯合會に本年度各地果物收穫豫想につき照會中であるが、本年に入つて全般的の害蟲の被害多く甚しき地方では五割少い處で二割方の減收を見込まれて居る、而して組合別にみると左のことである

組合別	前年	本年
慶尚北道	二四五、六八八貫	二割增
三浪津	四〇、〇〇〇	半減
黄州組合	四九、〇〇〇	二割減

仁川期米各店倭合（單位百石）

	寄付	引値	高値	安値
十二月	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
一月	一一四	一一三	一一四	一一三
出來高	四四〇石			

仁川大豆本玉表

當限賣方 ㋑二二 ㋺一一七㋩一㋥三
同 買方 ㋺一一五〇㋩五〇
中限賣方 ㋑一〇〇〇㋩一〇〇㋥一〇〇
同 買方 ㋺五〇〇〇㋩二〇〇〇
同 買方 ㋑九二㋩四㋥一三㋥三
▲先限賣方 ナシ
▲同 買方 ナシ
▲根入値 當限一五二〇中限先限不申
▲取組高 當限一二〇〇石中限七〇〇石先限不申
▲出來高合計二〇〇石累計一五五〇石

大阪期米喰合せ

	取組高
當限	六八〇〇〇
中限	一三〇八〇〇
先限	一二九〇〇〇

◇市況◇

綿布保合

米棉四十五錢安材料に三品二圓方下押し米棉作柄收穫報に氣配軟弱市中現物は入荷模樣に相場小弱く保合成行であつた。

海外砂糖市況

二飛丁度
キューバ粗糖 十二月限
ジャワ糖十一、十二月限 二ギルダー六分の七
倫敦粗糖 同二〇志八片四分の一

▲京城聯合會三一二六八▲鶏龍二六〇▲金剛山二三八▲長菱二三八▲極管二〇六▲藥鐵二〇六▲花施一三六▲飛犬一六五▲世樂島一二一〇▲月雉一一八〇▲金瑚二一〇▲觀李園一、三〇▲椿一三八五▲竹八八▲鳳面二四八▲双女二二

大阪期米市況（後場）

妹尾岡米買り上田岩田買ひ十九錢と四錢高に始まり正米筋の賣りに十三錢四錢とダレ利喰に十九錢と戻し洞商内に十四錢と保合に引けた

各地期米後場止

▲下關二九、五六▲桑名十一番二七八三十二番六三▲名古屋作み▲金澤二八、〇九▲熊本二八、三五▲大阪最終額十四錢（不變）

鮮内延べ（六日後場）

釜山米穀市場

	寄付	引値	高値	安値
十一月	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
十二月	三五五	三五〇	三五〇	三五〇
一月	三六五	三六六	三六五	三六五
出來高	三〇〇石			

大邱米穀市場

	寄付	引値	高値	安値
十一月	—	—	—	—
十二月	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
一月	三六六	三六六	三六六	三六六
出來高	三〇〇石			

群山米穀市場

	寄付	引値	高値	安値
十一月	—	—	—	—
十二月	三〇一	三〇一	三〇一	三〇〇
一月	三六五	三六六	三六六	三六五
出來高	四〇〇石			

◇期米◇

◇株式◇

大株短期引跡

大新 八十七圓六（不變）
鐘新 百三十六圓八（十錢安）
久原 五十四圓五（不變）
東新 百七十一圓二（不變）

日銀帳況（五日）

發行高 一、三三三、三三〇 減三六、五〇
正貨準備 一、〇八三、一二六
限外發行 一〇〇、〇〇〇 減三六、〇〇〇
貸出高 五〇九、〇〇〇 減 九二

東京コール（六日）

翌日拂 九厘五毛乃至一錢一厘
無條件 九厘五毛乃至一錢一厘
普通 九厘五毛乃至一錢一厘

紐育 一、三三〇〇 二厘減
倫敦 一、三六〇、六八

民を愛せよ
夫役の弊害について

民のかまどから煙が上がつてゐるのを御覽ぜられて『朕富めり』と詔せ給ひける聖德をもお忘れになつて御喜びになつた仁德帝のこの御聖德こそ、わが日の本の政治の要諦を直截簡明に現されたものと拜察する。さればこそ時の爲政家は常に民を愛することを以て第一としてもろもろの施設をなしたものである。わが國の政治は布やかなる聖德の美を統べて人類最高の德を以てその基礎としてゐるのも、萬世にわたる一天子の動き大御心が光り輝いて租々たる王道を顯されてゐるからである。然るに近世以降はやゝもすれば、冷たき法律と命令とを第一として法令から規則へ、規則から法令へと循環して複雜極まりなき人生を法規の尺度に篏め込んですべてを律せんとするに至つた。これ決して王道の眞髓に則れるものではない、少くともわが國においては、たとへ法治國といへども、治國平天下の根基は『德治』にあることは歴代の御事蹟、近くは明治大帝の大御心を拜承すれば何人も疑惑してやまぬところである。

◇

民を愛することは即ち國を愛することである。民に菜色あれば、國また憂ひ。國富みて民貧しきは、眞に富國とはいへないのである。わが國では未だかつて、民に菜色あるにも拘らず國富めりとして非難した例がない。」

◇

然るに、若しも法規によるとはいへ、或ることのために民衆の利益と相反するを生ずるに至つたとせよ、それは決して政治の本道ではない、それは一種の虐政である。政治は生き物である。時に虐政を用ふることも許されぬことがないでもないが、特に民衆と直接する地方政治の局にあるものは、常に『民安かれ』と祈る心を忘失してはならぬ。今般本府から各道知事に示達した賦課的の寄附金募集の禁止並に今夏以來實施し來れる本府の二大方針の一つたる小作慣行の改善、金融組合の無盡類似貯金の根本精神は、民を愛する治政の根基から出た叡慮なる人類愛の發露に外ならないのである。然るに地方官吏は動もせば上述せる法規による或種の仕事、詳しくいへば道民に對する夫役の賦課は右の愛民の精神と相背馳するに至りはせぬか、識者はひとしくこれを憂いてゐたのであつた。」

◇

紙上既報（二日付）の如く以て夫役の弊害を確正する通牒を各道知事に發したのは誠に機宜の措置といはねばならぬ。道路、河川、砂防、森林等の事業に夫役を課するは法規地方の財政狀態のため必要であることは勿論である。また夫役については夫役規則によつて定められてあるのだからこれを行つたからとて決して違法ではない。しかし夫役による弊害は國家民人共に憂ふるところに夫役の研究があ

る。その位のことは地方官吏は知つてゐるであらうが、本府が態々めて以て通牒とするに至つたについては、地方官吏は今において已れがなしつゝあることが愛民の精神と合致してゐるかどうか、法規運用上遺憾の點はなかつたかどうかを考へねばならぬ。各地方に行はるゝ道路品評會の如きは、道路の修繕による産業開發上の利益は今更いふまでもなく認められるが、往々にして他道又は他郡と道路の品評を競はんとするが如き一種の虚榮心から驅いて急施を要せざる道路の修繕に夫役を賦するが如き嫌ひはないか。過ぎたるは猶及ばざるが如し、しかもかゝる程度以上に夫役を賦するが如きは地方民の經濟上から見ても斷然避けねばならぬ。夫役は人夫と違ふ。無報酬の國家社會奉仕である。然も勞働である。夫役に出た農民は、稲くもこれによつて生計に影響をおよぼすが如きことあつては、折角の勞力奉仕もかへつて怨嗟のもとゝなり不平となり怨嗟となるに充つるといふ狀態にならぬとも限らぬ。それは決して夫役の眞の目的ではない。又道路品評會に賞金を興ふることも、かへつて誤解を釀すものではあるまいか。それよりも寧ろその費用を以て夫役に出た人々にお茶なり何なり興へた方がよろしいと思ふ。或る地方では朝飯をとらぬ細民を夫役にひつ張り出した結果、賦役中空腹の爲卒倒したといふ說さへ傳はつてゐる。細民の生活狀態を考ふる時、強ち無稽の風說とのみ否定は出來ないやうだ。

◇

民を愛せよ、一般民衆の福利を增進せしむるために、地方官吏は夫役の弊害矯正に心せよ。由來朝鮮の細民の唯一の資本は勞力であり、その勞力を無報酬で徴發するといふことは、たとへ社會公共のためとはいへ、十二分に戒心すべきことである。民力の充實は地方發展の基礎である。民に菜色あつて地方は發展しない。法規にのみ囚はれずもう少し人間味によつて世間を見よ。そして夫役の弊害除去に努むべきである。」

御大禮（五）
庭燎の搖ぎ微か 神秘そのものゝ秘曲
御神樂の事ども

御大禮に際し締盟廿七ケ國の元首は、大使又は使節を特派して敬意を表する。特派大使および特派使節には現在本邦駐剳の大公使が大抵任命され、それは夫人同伴で來る者を合して外賓は約百名に上る。大禮使では宮內、外務、陸海軍から委員を任命してこの人々の接伴に當らしめる。これらの人々は即位式および大嘗祭にそれぞれ各國を代表して參列するが、大嘗祭には參列したいので大嘗までの間十一、十二、十三、十四、十五の五日間大禮使では種々の催しでその勞をねぎらふ。

◇

現在決定してゐるのは、修學院離宮における御茶の會、比叡に山登をつらねて登山、琵琶湖の周遊、奈良の古蹟巡遊等である。このプログラムは大體前記通りであるが比叡の山登登山は接伴委員の希望に出たものである。なほ天皇陛下におかせられては特派大使々節御饗宴の思召から舞樂および能樂をそれぞれ御陪覽遊ばされる由に洩れうけたまはる。」

◇

御即位式の翌十一日は午後二時頃から賢所大前において御神樂の儀が行はれる。この御儀の神代の昔天照大御神が岩戸に隱れ給ひ、天地暗冥となり、群臣が恐惶した時天鈿女命が佳曲を奏じて、神慮を啓き參らせた古事によるもので、近世中絶してゐたのを後櫻町御代に當たつてこれを復興遊ばされたものである。昔は神代の古態により笛と和琴に限られてゐたのを、清和天皇の時神樂歌を定めさせられてから御神樂と共にこれを神事に奏し、催馬大曲動して神樂曲を定められ歌曲を三十八曲とされ今に傳はれるものであると稱へる。

◇

まづ賢所御殿において賢かに御神樂を行ひ兩陛下の御拜があつて入御遊ばされゝば、神殿は全く夜の幕に包まれ、たゞ一ケ所の庭燎が微かな夜風にかすかにゆらぐ。この中に神樂笛、篳篥、和琴、笏拍子の音が神韻びて流れ、古風な衣裳の人長（御神樂の長）は白色の木綿をかけた榊葉をとつてゆるやかに舞ふ。この夜は歌曲の廿九曲で、空には月もない。澄み渡つた秘曲の庭の蔭に、秘中の御神樂の調べは翌十二日の午前一時頃まで行はれるのである。」

◇

神樂歌の一二の例を擧げて見る。

庭燎の曲

深山には霰ふるらし、外山なるまさきの葛色づきにけり

榊の曲

榊葉の香をかぐはしみとめ來れば八十氏人ぞまとゐせりける

神垣の三室の山の榊葉は神の御前に茂りあひけり

幣の曲

みてぐらはわがにはあらず天にます豐岡姫の宮のみてぐら

幣にならましものを皇神の御手にとられてなづさはるべく

劍の曲

白銀の目貫の太刀をさげ佩きて奈良の都をねるは誰が子ぞ

石上ふるや男の太刀もがな組の緒垂でて宮路通はむ

杖の曲

この杖は何處の杖ぞ天にます豐岡姫の宮のみほこぞ

四方山の人の守にする杖を神の御前にいはひつるかな

御神樂も終りに近づけば秘曲の一曲が奏される。秘曲は文字通り秘密の曲で古へは天皇陛下が親しく曲目を御選びになつて神樂人に下げ渡され、奏する時は奥深く仕へまつる樂人をも百歩の外に遠ざけられたもので、この御神樂の儀においても樂人等は席を立つて樂器を捧し、奏する人々だけが、神前に進んで奉仕するのである。秘曲の態とて今回は如何なる曲を奏するか、うかゞひ知ることは出來ないが、龍田大正天皇御大禮の時は

宮人の曲

宮人のおほよそ衣、ひざ通し、きのよろしもよおほよそ衣

ひざとほし、きのよろしきも、おほよそ衣

を大原雅則、持明院基哲子の兩氏が本方末方に分れて奏し、綾小路公爵が和琴をかなでた。神前に奏する秘曲、その音は如何に神秘なるものであらう、如何に莊嚴なるものであらうと論じも寄へるであらう。而がこの秘曲は『歌はざる曲』『奏でざる曲』即ちこれを奏する時は少しも音を發しないのである。何故か？この說明を豐時義氏は次ぎの如く說明してくれた。

◇

そこが秘曲たるゆゑんで、心身をこめて奏すれば聲を發せずとも音を出さずとも、神明幽玄なる妙音は皇祖の神靈に通ずるのである。これこそ管樂の極致ではあるまいか云々。

樂人□□□（上）（左）御神樂人長樂師多忠行（右）萬歳樂々師多久毎（下）太平樂々師豐時義諸氏

天龍川の恩人 金原明善
山田司海

十一、大命くだる

一緒に働いてゐた佐々木勘四郎兵衞も、何とかして明善の意見を實行させたいと思つた。その熱誠に感激したからであつた。

そこで京都に上つて民政局へいろいろと實情を訴へた。當局でも天龍川氾濫のため多數人民が困窮してゐる事情を知つてゐるから、捨てゝも置けず、協議の末、その年の八月中旬、會計官權判事岡本健三郎、當時司權判事高石和治の兩名を『天龍川水防御用掛』に任命した。」

岡本と高石の兩名は、佐々木と同道して濱松に來て、すぐ明善を呼び寄せた。折柄、まだ出水が退かないので明善は小舟に乘つてまかり出た。

佐々木は、明善の顔を見るなり『喜べあんたの志が通りさうになつた』と、慰めた。岡本、高石の兩名は

『今回、天龍川普請について、其方の申立を取りあげる事になつたよつて其方に堤防御用掛の資格を以て働いて貰ひたい。』

と、申渡した明善はこれを承はつた上で

『工事は、いかやうにでも出來ますが、工事費を御持參になられましたか。』

と、たづねた。すると兩名は顔をしかめて

『いや、その費用は持つて來ない其方の建策による借上金の方法によるの豫定である。よろしく取計らつて貰いたい。』

これをきいて、明善も聊か困惑した。自分が熱心に建策した時は取あげない。さうして何萬といふ人が見捨て置きながら、自分を離した今日、金を借り上げたり、自分を御用掛りにするとは、少々虫がよすぎると思つたから

『有難き、御言葉ではございますが、たゞ今父が大病、少しもそばを離れる事が出來ませんそれゆえ、今回のお役目は御免をこうむります。』

天龍川の工事を任せる人がない岡本、高石、佐々木の三名は協議の上、明善は孝心が深いから明善の父を說得して大丈夫承知をするであらうといふ事になつた。

そこで高石が、小舟にのつて二里ばかりもある明善の宅を訪れ、病中の父久右衛門に面會した。高石は丁寧に挨拶してから

『天龍川の工事をするには、是非とも明善が必要である。病中、御難儀であるが國家のためであるから、工事中だけ明善殿を貸していたゞきたい。』と、賴んだ。久右衛門は中氣で苦しんでゐたが、もとより誠忠の人物であるから

『大勢の人民のためになる事ならどうぞ御自由に働かせて頂きたい。私からも明善にシカと申聞けますでござります。』

と、喜んで承諾した。かうなると明善も、いやとはいへぬ。承諾と父命と同時に來たのである。大命を拜うけて、敢然として起つたのである。」

明善は、今日まで天龍川の工事に少からぬ金を出してゐるが、更に八百圓の現金をもつて濱松へ出かけた。當時の八百圓は今日の八萬圓にも相當するであらう。」

濱松藩では、『いよいよ借上金を實施しようといふので、藩の重役連が金をあつめて協議してゐた。そこへ明善が大枚八百圓を持參したのであるから大喜び。早速有効にこれを使ふことになつた。」

協議の結果は、藩の職員、寺院、素封家、大名、藩本などへ通知を發して、

『國內の騷擾は、國內で救助するより外に道がない。それゆえめいめい分の金を醵出して貰ひたい返濟方法も確である。』

と、嚴く交渉したところが、いづれも

『國のためなら出來るだけの事を致しませう。』

と、いふやうな譯で、たちまちの間に八萬圓といふ大金が集まつた。」

さア金が出來たので、早速工事にかゝつた。何百人といふ人夫を使つて、破壞した堤防を修復し、道路を直し、護岸を築けた。修繕した堤防は三千間にもおよんだが、二ヶ月程にわたつて、それを修築した。ひどい處は地下に三四間も穴が出來てゐた。そんな箇所には土砂を埋めて、地固をならした。

思ひ出すまゝ (49)
島の産業顧問となり 無住寺を贈らる
『江華島牧場開設に就て』

（二） 毛呂德衛氏談

牧場を開くべく貸下げになつた以上は、どうにかして工事に着手しなければならない。住民をおそれてゐた日にはいつまでたつても實現は望まれぬ。そこで最善の方法は住民を說服することである。私は內心大いに期するところあり明治卅九年九月七日、江華島に向つて出發した。」

◇

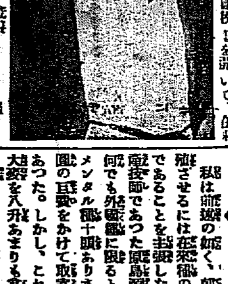
當時その島には頑強なる島民自の宣令を發して、擾亂の昏明を監視してゐたので、その監視人がどの港にも銃を持つて物々しい警戒をしてゐるために、容易に上陸が出來ない。私は漸くそれ等の監視の眼を潜つて、江華島內の耆老所にやつて來た。この耆老所といふのは島の老人をもつて組織した八、九十名の團體で、島內の重要の事柄を司つてゐた勢力であつた。私はこれ等の人々に對して諄々と說いた。即ち『自分等はこの地の牧場を貸下げになつたので牧畜の事業は起こすけれども、決して土地その他を持つて歸る者ではない、牧畜を盛んにすることは朝鮮島の富を增し、強いては國力を增進するゆえんではないか、どうか、この點をよく考へて誤解なきやう島民に傳へて貰ひたい』と說つたところ、老人等は非常に感激し、要求を快諾すると共に直に隣島各洞に知らせ各洞長を呼んで理解のゆくまで說き傳へしてくれたので、事業の方は間もなく進捗した。それはかりでなく、彼等は牧場の要所にある完□山城の監守・無住寺を直に贈與した。この寺は何時の年代に建立したか知らないが、代々の僧侶が住の費となつたので無住のまゝ荒れはてゝいはゞ捨てゝあつたのを私にくれたのであるが、私は兎も角修繕を施し、これを毛呂山德院寺と改名して、名ばかりの寺再興をしたこともあつた。その後私等は、政府の意向で耆老所の老人および、各洞の長を一夕招待して觀總の宴を設け、いよいよ光武十一年三月（明治四十年）荒井氏等と共に工事に着手し牧場を開いたのであるが光武十二年張安宗氏等入に寄附で、この牧場を贈與した。荒井氏は晩年この地の牧畜をやめ現在では栗林としてゐるので、今は昔の面影だになく一個の山林となつてゐる。」

◇

しかし、以上述べた如く、私等が朝鮮の牧畜牧場の調査をはじめ、この島の牧場を開いて、牛の改良に盡力したことは何といつても朝鮮畜牛改良上の基礎をなしたもので、その後私等はさらに金宗漢氏を會長に、趙重應氏を副會長に推して朝鮮畜産獎勵會を起こし、六十年頃まで飛躍的發展を爲さしめたなる牛を家畜改良に、國內には劣等牛のみを殘すに至つた朝鮮牛の改良を痛切にすべく、自由交配を禁じて優良種を各地に分配する等着々功績を擧げつゝあつたが統監當時、佛の獸疫猖獗に禍されて中絶したのは返すくも遺憾であつた。」

◇

私は前述の如く、朝鮮に牛を繁殖させるには在來種の改良が急務であることを主張したが、當時畜産技師であつた原島鐵之助氏等は何でも外國種に限るとて米國シンメンタル種十頭あまりを約十萬圓の巨費をかけて取寄せたことがあつた。しかし、これは一時的と大抵を入飛あまりも食ふので農家ひには斃死してしまつたといふことである。私は在來種の改良が次第に私等が主張して來たつた在來種改良に向ひつゝあるのを見てせめてもの慰みとしてゐる（寫眞は當時の畜産官□□之助氏）



價川鐵道株式會社

列車時刻表 昭和二年十一月一日改正

上り

驛		4	10	20	6	8
泉洞發		前 8.39	前 11.39		後 1.54	後 5.09
東鳳里發		8.54	11.54		2.09	5.24
价川着		9.03	後 12.03		2.18	5.33
价川發	前 8.00	9.20		後 1.00	3.20	6.25
新興里發	8.28	9.49		1.28	3.50	6.53
龍興里發	8.51	10.12		1.51	4.12	7.16
北松里發	9.00	10.29		2.03	4.30	7.33
安州着	9.24	10.44		2.23	4.45	7.48
安州發	9.25	10.46		2.25	4.47	7.49
新安州着	9.44	11.05		2.44	5.06	8.08
接續	安東行混 10.46 11.08	釜山行急 12.25		平壤行混 2.55 定州行混 3.56	奉天行急 5.47 平壤行混 6.47	定州行混 9.20 釜山行急 10.17

下り

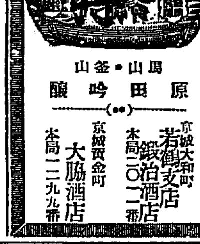
驛	11	1	3	5	21	7
接續		釜山ヨリ急 7.58 定州ヨリ混 3.24	平壤ヨリ混 10.00 10.36	奉天ヨリ急 12.22	安東ヨリ混 2.34 新義州ヨリ混 3.46	釜山ヨリ急 5.44
新安州發		前 8.30	前 11.15	後 12.50	後 3.50	後 6.15
安州着		8.49	11.34	1.09	4.09	6.34
安州發		8.51	11.35	1.11	4.13	6.35
北松里發		9.08	11.51	1.27	4.29	6.51
龍興里發		9.31	後 12.12	1.48	4.50	7.12
新興里發		9.50	12.30	2.07	5.08	7.30
价川着		10.17	12.57	2.34	5.35	7.57
价川發	前 8.05	11.00	1.15	4.30		
東鳳里發	8.15	11.10	1.25	4.40		
泉洞着	8.29	11.24	1.39	4.50		

頭痛にノーシン

豫約出版 支部募集

◎御大禮記念寫眞帖發行頒布費は壹圓五拾錢 [illegible]

優等清酒



馬山・釜山 原田吟醸

京城大和町 岩崎支店 鍛冶酒店 本局二〇二番

京城貢金町 大膳酒店 本局一二九九番

朝鮮銀行 總裁 加藤敬三郎

本店 京城

支店出張所

內地 東京、大阪、大阪西區、神戸

朝鮮 釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、新義州、會寧

滿洲 大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天西市場、鐵嶺、開原、四平街、長春、安東縣、哈爾濱、龍井村、吉林、傅家甸

支那 上海、青島、天津

露領 浦潮斯德

米國 紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外國要ノ地ニ銀行取引先有之候

驚クベキ特効薬 酸素丸

胃腸病、心臓病、神經衰弱、一般衰弱、貧血、血の道、子宮病、産後の諸病、ヒステリー、月經不調、月經時の疼痛、尿道狹窄、慢性淋病、慢性消渇、常習頭痛、肩の凝、糖尿病、胃病、淫萎、喘息、便秘、又ハ眩暈、バセードー氏病

南滿洲本溪湖 酸素丸製造元 中西亮 振替大連三四五三番

寫眞機械材料（目錄進呈）

釜山本町一丁目電車通 岩瀨寫眞機店

朝鮮及滿洲

十一月號（第二百五十二號 定價五十錢）

◉國體の基礎……文學博士 中村孝也
◉御即位式と大嘗會……京城大學教授 近藤時司
◉平和と國際政局の推移……セウルプレス社長 宮舘貞一
◉アイルランドの民族運動と其文藝復興……京城大學教授 藤井秋夫
◉赤旗の下に露國總領事と語る……東邦生
◉社會事業に就て……東洋大學教授 小島幸治
◉歐米に於ける殖林熱……總督府林産課長 後藤眞咲氏談
◉佛蘭西の養蠶業と生糸の需給狀況……中央試驗所技師 宝田武麟
◉即位の御大禮 日本の過去現在及び將來（編輯室より）……社長 釋尾東邦
◉獨逸印象記……京城大學醫學部教授醫學博士 伊藤正義
◉かまきりの一生……理學博士 横山桐郎
◉恩給制改正と官吏の地位安定……丸山幹治
◉社會相考察……かはせみ
◉毛文龍を中心として ―明末に於ける支那、滿洲、朝鮮の關係―……稻葉君山
◉泉石を眺めつゝ工藤ドクトルと語る……一記者
◉漢詩、俳句、自由詩
◉長壽と健康……小池醫學博士談
◉朝鮮人側の映畫……A・W・生
◉新支那の新都南京と其附近……東邦生
◉先帝即位御大禮參列記……文學博士 三上參次
◉鮮滿の富源と事業＝風聞駄語
◉在鮮民代表御大典參列者
◉創作 演奏會……丁陶希

發行所 京城蛤洞四十四番地 朝鮮及滿洲社 電話光化門一二〇八番 振替京城一三一一番

金剛山踏破記

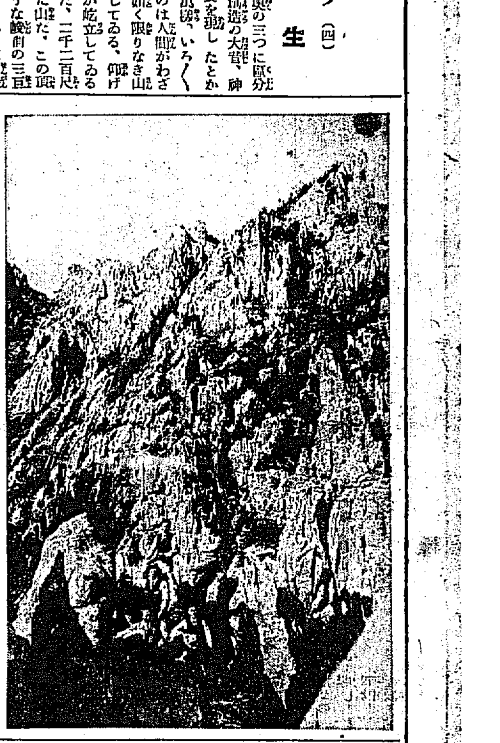
總監江原道めぐり(四)

和島生

內金剛から外金剛へ向ふには末輝里を經て溫井里まで自動車がある。長安寺から一時間の行程である。これからわれ等はいよ〳〵車を捨て山道を登る、一時間にして二千六百尺の溫井嶺の、峻險な嶺を越ゆれば外金剛の一の名所にして奇巖怪石、天下の珍とする萬物相に達する。總監は轎を下りた、記者の米田さんは足自慢とあつてははじめから草鞋脚絆に身をかためて先頭を承はる、正午漸く到着してホッと一息した、こゝは新萬物相の入口である

總監三仙巖へ

內金剛では萬瀑洞の溪流美、外金剛では萬物相の雄大を見てはじめて金剛山を語ることが出來る、萬物相は舊、新、奧の三つに區分されてゐる。天地創造の大昔、神さまが萬物の姿を現したとかで山々の形が千態萬状いろ〳〵な形になつてゐるのは人間がわざ〳〵作つたものゝ如く限りなき山岳美の組み合せ相をなしてゐる、仰げば牙のやうな奇岩が屹立してゐる、これが新萬物相だ、二千二百尺の岩をたゝみあげた山だ、この頂上に劍を立てたやうな峻削の三巨巖が聳立してゐる、これを三仙巖といふこゝに登るには鐵梯を攀りによぢ登らねばならぬ、一歩踏はづせば千仭の谷——危險である、だがわが池上總監はあの二十三貫の巨軀を運んで頂上を極めた、一行思はず萬歳を唱へるのであつた



(註、三仙巖上の總監の萬歳は當時撮影した通りである)

新萬物相征服

三仙巖から下りて奧院際で擬似を調べる、その時總監は『誰か新萬物相に行くものはないか、乃公も行きたいが甘蔗君が八釜しいので』と笑ひながらいひ出した、ソコで隨行の丸山君が旨を受けて登ることゝしそれに記者と本社の河野寫眞班長の三人が新萬物相の嶮を踏破することになつた、ところが田中通譯官と藤原新萬物相長も同行することゝなりこれに道廳から二人都合七名で出發した、われ等一行が休憩したところに九十二歲大倉翁夫妻と一緒して例の狂句を作つた登山記念の立札があつた、大倉男の登山は喜壽の慶事を內地から逆てきて堅て登山したのだからほんとうの金剛山登山とはいへない、然し九十歲の高齢で、この深山幽谷にお得意の狂歌をものしてゐる、元氣にはわれ等青年も敬服に堪へないところだ。大倉のぢいさんは矢張偉いなアと思つた、新萬物相へは舊萬物相から約九丁だが嶮險、石燈をよぢて登らねばならぬ、上衣もチヨッキも脱いだ、帽子も邪魔になる、ステッキも路傍に捨る、ソレ程險峻である、上からは登つたものゝ足跡が崩れて石ころが轉がつて來る、木の根につかまればアッと思ふ間にその根は拔けて手がかりがなくなる。四十五分を費して漸く天女峰の頂で金剛第一と稱する石門をくゞつて新萬物相の天仙臺に登り盡くしてホッとする、顧みれば同行の田中、藤原兩氏の姿が見えない、オーイと呼べば遙か下方で—と答へる

見下す日本海

新萬物相の頂上に起つた丸山、河野君と記者の三人は遙に見下す日本海、水か空か水天髣髴と見して碧一碧の彼方に向つて大日本帝國萬歳を三唱した、疲れはどこへだましてて彼方にもわれ等の聲ありや、三千尺の峻嶺にわれありと思へば、壯快といはうか、痛快といはうか、いはゆる天空海濶何ともいへず胸がひろ〴〵と晴れやかになつて來る、登りの苦痛などはケロリと忘れてしまつた、岩陰から脚をのぞくと幾千丈とも知れぬ岩壁が鋭く削立してゐる、眺めはすべてが雄大である、神秘靈麗などが吹ッ飛んでしまひさうだ、登山の興味は汗をながしながら登つたものでなければ判らぬ、新萬物相の雄大な景色も實地に登らねばわからぬ、三人が小憩中和歌山縣から登山團體を搬へて來た二名があつた

寒霞溪を下る

外金剛の連峰は狩野派の屏風か文人畫か更に角日本畫的の實を現出してゐるわれ等はこれ等の勝景に離興して下山せば、奧萬物相に行く岐路で田中、藤原兩氏にあつた、相攜へて溫井里へと二里の寒霞溪を下る、これはまた奇峰秀巒がた右にそびえて眼を樂ませ疲れを忘れるのであつた總監はすでに歸着してゐた、われ等三人はわらじのひもを踏み脫いて、田中藤原兩氏は溫で溫井里ホテルに宿いたのは四時半であつた總監はホテルに入る前溫井里の小學校(內鮮共學)を觀察し地元の人々から『金剛山を國立公園にして貰ひたい』といふ陳情を聞いた、ホテルの一夜は靜かであつた、內外金剛を踏破して、記者は愉快な一夜を過ごした(寫眞は新萬物相の頂上を極めんとする一行)

慶尚南道

南鮮麻雀競技

選手權は野方氏へ

興味と昂奮の裡に

南鮮麻雀大會終る

麻雀競技南鮮選手權大會は三日午後一時から釜山米穀市場の階上大廣間で開催された當日の競技に參加した選手は遠く京城、大邱方面から馳せ參じた名手もあり、本年度に九段の江頭氏をはじめとして各階級の同好の士を網羅したうへ支那領事館からも參加の申込があつて大會氣分は彌が上にも緊張し豫想以上の盛況でやむなく百名二十五卓子で滿員として打切つた程であつた、競技は高須賀大會長の挨拶について內野審判からルールの說明があり午後一時から開始、各選手は息もつかずに接戰を重ねて捲頭に躍るマアジヤン牌はさながら戰陣味そのもののやうなさわやかな音を立てながら、一瞬をも破するものなく息つまるやうな緊張さをもつて午後九時まで一名の棄權者もなく興味と昂奮の裡に競技は進み第四回戰となつて激しい競技にマアジヤン牌がてらし出されることとなるといよ〳〵大勝が決せんとして何れも優勝カップを目ざし、秘策を盡くして、全生命は殆ど競技に打込まれたるかの觀あり、かくて三回戰まで最高點者が惜くも四回戰で破れるなど番狂せ々、非常な接戰をもつて、最高五千百點、二等四千八百七十點三等四千四百七十點、四等四千四百六十點といふ稀な點數の相違から遂に優勝の榮冠は釜山府寶水町野方四郎氏の頭上に輝いた。かくて左の如く一等から三十等までの入賞者に對しそれ〴〵賞品の授與を行ひ午後九時半大盛會裡に第一回麻雀選手權競技會を終了した。因に同大會開催に當たつて京城麻雀聯盟長の淵上氏がわざ〳〵斯道獎勵のため來會し金勝賞として麻雀一組の寄贈があつた(釜山)

入賞者 ▲優勝釜山寶水町野方四郎氏▲二等釜山府立病院山本重夫氏▲三等釜山商業銀行三宅和子▲以下順位▲關山▲石原▲金鮮河▲飯盛▲西尾▲中村▲樋口▲宮川▲野村▲龍田▲中原▲土居▲竹中▲下川▲藤原▲內野夫人▲宮田▲清水▲中鶴拔▲越智▲檜山▲佐藤▲小田▲山下▲許姻甲▲森▲岡崎繩

南鮮麻雀選手權大會 下は向つて右より優勝者野方四郎氏、二等山本重夫氏、三等三宅和子孃

米作豫想

百九十三萬九千八百石

慶南道の稻作第二回收穫豫想は左の如く水稻は秋分後において一部に早冷のため稔實の成熟をやゝ不良ならしめた地方があり畑稻は概して作況不良を來したが收穫豫想は水稻一、九一五、七二六石畑稻二四、一二五石計一、九三九、八五一石で平年作一、九一七、三六五石に比すれば二二、四八六石一分一厘七毛の增收である

乾海苔業組合總會

南鮮ノリ取引業者を中心として設立した慶尚南道、和歌山方面の當業者を網羅する朝鮮乾ノリ業組合は三日午前十一時から釜山商議にて第三回定時總會を開催し決算報告および役員改選等を附議したが昨年來の問題である取引方法の改善に關して當局と全南ノリ漁業組合聯合會へ要望の件は同組合長西野鳥作氏から全南道當局へ對し聯合會の大阪直賣を乾海苔組合同業の取引方法をもつて取引されんことを要望したが單に考慮するとのみにて要領を得ず同問題については組合の決議をもつて新に實行委員を擧げて再陳されたしと希望し了解の組合員からも事實を指摘して論議する處あり結局三名の委員を選定し會議文を携へて全南當局の反省を促すことゝなつた(釜山)

南港埋築と

漁港の施設

釜山商議の提唱

釜山商業會議所の提唱になる南港埋築へ漁港施設を加味する計畫は先般農林省の樋英三郎技師の實地視察を乞ひ同技師に設計を依頼して南港埋築會社が本府へ出願設計を提出する前に會社へ漁港設置の交渉を行ふはずであつたが同設計が遲れたため本月二十日の竣工までに是非とも設計圖類を取纏めて釜山商議から南港埋築會社へ送致することになつた(釜山)

展覽會と

共進會

十一日から 釜山で開催

朝鮮水產會が中心となつて各道水產會聯合のもとに御大典記念として十一日から十日間釜山で開かれる船舶用漁撈機と水產用品の展覽共進會は出品點數も內外漁業の粹をあつめて五百餘點に達し釜山府主催のメートル展覽會と相まつて意義ふかい催しであるが共進會の餘興として

▲活動寫眞を映寫しフキルムは總督府、農林省、遞信省、大日本水產會、大日本相撲協會、等より借受を得て漁業智識の普及と慰安の興味をそゝる映寫を開期中每日午前午後の二回に行ひ

▲鮮海水產品の試食室を設けて各道から獲れる魚介、海藻等のあらゆる美味珍肴を供するほか菊花展覽會を開いて錦上花を添へる準備中である(釜山)

水產關係の會合

來る十一日から開催される船舶用漁撈機および水產用品の展覽共進會を期として全鮮各道から水產關係者が釜山へ集まつてくるので水產關係の會合が六日より二日間釜山水產會議所の二階で開かれる朝鮮產鮮魚組合聯合會を皮切りに左の如き日程で連日の如く會合がある(釜山)

▲六七日朝鮮水產會總會
▲十一日共進會開會式
▲十一日各道水產會打合會
▲十二日慶南水產會四十周年記念會

南鮮片々

◇釜山第一商業學校の御大典奉祝記念事業は記念植林と記念文庫設立

◇釜山組合銀行は十日十四日、十六日の三日間臨時休業

◇釜山水上署は五日拂曉港內碇泊の船舶に對して檢査を行ひ浮浪者狩りを行つた

◇釜山測候球シングル平山氏優勝

◇釜山中學校四五年生は五日朝大邱聯隊に赴き秋季演習のため三日兵營生活を體驗

◇釜山消防組の秋季演習は四日學行した

◇四日夜晉州郡文山面南谷里石原寅吉方へ一名の覆面した怪漢押入つたのを同人の妻シゲ(三二)が發見し騷をたてたので彼に居直り朝鮮食刀でシゲの左胸部その他數ケ所に重傷を負はせたが夫虎吉と大格鬪の末逮捕され晉州署へ突き出された加害者は全北錦安面竹山里住所不定鄭福南(三四)被害者シゲは生命危篤

◇釜山佐川町釜山ゴム靴製造工場の女工五十五名の內四十名は一日から賃金を引下げられたので罷業す

▲十三日全鮮漁業組合研究會
▲十四日全鮮水產會員大會
▲十八日十九日晉州府內農業組合總會

馬山から

◇會社新築 馬山金員郡では赤十字社、愛國婦人會々員の新規募集であるが、前者は十月末同時で四十五ヶ所、後者も同日まで四十四名の新入會者があつたと

◇購買入札 馬山府にては上水道工事用としてポートランド、セメントの購買入札を去る卅日執行したが共數量は二萬一千八百袋にして一袋一圓二十七錢にて京城三井物產に落札した

◇商店火事 馬山府扇町六十四番地馬山府廳金井渉氏方の物置にて小供がマッチを擦つたのが動機で種藁及び松葉を燒き家屋一棟を半燒した同家には糀及裝約二十萬石の貯藏あつた分は燒失したらしい

◇桑苗秋植 昌原郡に對本年秋植の桑苗は三十萬本、本年春植三十萬本、合計六十萬本の豫定であるが、來る十日頃より掘取りに着手し十五日頃配布の上大々的に植栽すると

◇井戸調査 馬山消防組は一日午前十時より三宅組頭を始とし小頭以上、馬山署より山本署長、馬山府よりは根垣府尹、岡賀府主任出動して新舊馬山の井戸調査を行つた、出火の際に於ける用水を根本的に調査する爲めである

慶尚北道

朝鮮山林會總會

來會者三百五十餘名 林業功勞者表彰

朝鮮山林會第二回總會は五日午前十時より大邱第一小學校講堂で開催したが來會者三百五十餘名盛況を極めたまづ總會として岡崎會長の式辭にはじまり岡崎總督府山林部長の告辭(中川太平氏代讀)林學博士の祝辭等あり次いで山林會表彰の功勞者を表彰し來賓祝辭あり同十時四十分閉會し、引續き山林會總會に移り議事を終り正午閉會した

歡迎午餐會

朝鮮山林會では朝鮮山林會總會に出席した會員三百餘名を正午より招待し慶北山林會長の挨拶に對し來賓の答辭があり五日正午より公會堂に於て歡迎午餐會を開き會員一同に記念品を贈呈し散會した

林業講習會

朝鮮山林會總會の當日同所で開催した林業講習會は非常の盛況で聽講者に對し多大の感動を與へ講演後に活動寫眞を映寫したが是も非常な盛況で豫想以上の效果を收めた

地方視察

朝鮮山林會總會に出席した會員の內地方視察に參加した四十余名は六日午後九時大邱驛發慶州郡の砂防工事等を視察し佛國寺ホテルに一泊七日石窟庵及び博物館等を觀察して同日午後歸邱し慶北物產陳列館を觀覽すると(大邱)

林業功勞者表彰

朝鮮山林會では五日大邱で開催された同會總會に於て左記四十七名を表彰した(大邱)

▲朝鮮山林會表彰者 咸鏡北道城津郡鶴城面洪幟佑、慶州郡陽南面任炯淳、同郡外東面周萬相、咸昌郡咸昌面鄭仁在、漆谷郡枝川面朴能俊、同郡仁同面柳太郎、同郡仁同面李宇基、同郡大城面道郡梅田面金明玉、金泉郡金泉面中川太平同郡甑山面金大鉉
▲森林組合聯合會表彰者慶山郡珍良面朴淳局、尙州郡化北面裵信健、同郡功城面金孜發、南鮮洲四平面茶屋藥次郎、咸昌郡龍興面郡供洛、英陽郡立岩面權與鉉、軍威郡召保面許東守、醴泉郡知保面朴東守、盈德郡南亭面李柄植、慶州郡江東面李錫海、星州郡月恒面李孫寄、漆谷郡北三面申宗均、善山郡舞山面石島勝助、榮州郡順興面安周淵、寧化郡明潮面擧萬琥、軍威郡古老面申鉉大、英陽郡立岩面金泉郡大德面文栽鉉、聞慶郡虎溪面金鏞哲、同郡山北面申相均

地方賜饌の

入選に比難

御大典の地方賜饌に列せらるべき有資格代表者に對してはそれ〴〵地方官廳において銓衡に選ばれてゐるはずなるに邇邑に於ける代表者選定に當たりその人選を誤りたりとて比較の聲が高い今これが賜饌を聞くに本郡の直接責任者たる郡守は新任なほ日淺く地方の一般事情等につき精通せず庶務主任をして取らしめたが選定の任に當たらしめたが補佐役たる主任は郡內十八面在住者中より公平に人物、閲歷、勳勞の顯著なる者又は地方功勞者或は公職者中より選定さるべきをたゞ單に郡守管分會の一幹部にはかりたるのみで多數の上選者あり現職校組合議員面議會議員或は郡廳在職十年の久しきに亙りこの間數多の公職を經來りたる者もあるにもかゝはらず之等を除外し在鄕軍人會長某氏を分會一般部だ私的を以て分會員中よりしかしも四人を有する某を薦擧したるを新に選定したるもの〻如く此手續一般の輿論は人選を誤つた

咸鏡南道

運賃低減と

特定驛指定申請

元山商業會議所から

大村鐵道局長へ

元山商業會議所は五日付大村鐵道局長にあて運賃低減特定驛に指定方につき左の如く申請(元山)

▲運賃低減特定驛に指定方に關する件

元山及其の附近に於て生產する燒酎麴子及改裝して發送せらる茛油、鰮油類は逐年增加の趨勢にして從來港より海路輸送せられしもの尠からざりしが誠鐵の開通と共に漸次鐵道を利用するもの多きを致し殊に重油輕油の如きは全鮮的配給してゐる右に對し特定運賃の御取扱を受けたく詳細を具し申請す

一、燒酎 元山の燒酎製造高は昭和二年中二千五百餘石に達し燐に元山燒酎として著名なり相當は平壤、仁川酒より高價なるも品質良好なるため生產高の約三分の二は他に移出せられ同時に約同數、平、仁、方面より移入せらる昨二年中平壤より二百八十噸(約三千石)仁川より百七十四噸(六百石)其の他三十二噸(百石)計一千七百石の移入あり、又元山よりの移出は咸興及咸南私鐵線沿線も多く其の他山、新北靑、永興、高原、前津、文川、往十里等に迄及ぶが故に左記驛宛に對し運賃低減方御認可を願ふ

發驛元山 著驛咸興、新上、平、咸興、咸南私鐵線咸南、前津、新浦、新北靑、汝海津、城津、吉州、明川拔補別小口扱

二、麴子 元山麴子は往昔より鮮內各地に需要ありて逐年其の製造高增加し今日に於ては有數なる製造地に至り昭和貳年中に元山に於て之が製造に從事するもの六十三軒を算し製造高壹萬三千五百石に達す而して移出は元山、以前にありては之が移出は汽船帆船に依るもの多かりしが漸次鐵道を使とするに至れるを以て本品に對し運賃特定方取計を願ふ

發驛元山、著驛咸興、定平、利原、城津、吉州、羅南、淸津、拔補別、小口扱

三、石油、輕油、重油及揮發油等元山港に於ける本品の輸移入は近年俄に增加し更に今後益々增加の傾向あるは最近一般生活程度の向上、各種大工業の勃興、或は水產業の發達等に起因するものなり尙ライジングサン石油會社は昨年末元山府外文坪に四千噸タンクの二基、二千五百噸タンク二基其の他之に附隨する小タンク及製罐工場等をも併設し鐵油運搬船にて大輸送をなし置き朝鮮各地に配給しつゝあり又スタンダード石油會社に於ては從來元山港內に一大石油倉庫を有し米國より輸入する額年々八、九十萬圓に及び北鮮一帶及咸島方面に迄逐し元山は朝鮮內に於て最も有力なる石油供給地となるに至れり、故に本品に對する特別運賃は左の通り御改定を願ふ

發驛、元山、文坪、葛麻海驛、著驛全部拔補別、車扱、及小口扱

減收

七十萬石

第二回米作 實收豫想高

慶北道の第二回米作豫想高は五日道農務課から發表したが水稻は百三十三萬百四十三石、陸稻三千四百六十八石、計百三十三萬三千六百十一石で前年實收二百四萬四千七百六石に比し七十一萬一千九十五石の減收でこれを第一回の豫想に比して十三萬四千九十八石の減收である要するにこの減收は旱害の結果とみなされてゐる(大邱)

は穀價の卵ないといはれてゐる

慶北雜俎

◇釜山中學校四五年生百八十名は軍事教官寺村少佐に引率され五日午後二時發列車で來邱大邱步兵第八十聯隊に入り一泊したが六日は午前一時から大邱中學校四五年生百五十名と對抗演習を行つた大中軍は教官林田大尉に引率され朝鮮銀行支店附近から斥候を放ち敵狀を偵察しつゝ東町に向ひ釜中軍は聯隊に位置し之れ又斥候を放して互に接近し中學校附近で遭遇戰を演じた、尙ほ釜中生は引つゞき夜は露營飯盒炊爨七日實彈射擊を終へ七日午後三時歸釜の豫定である

◇龍山工兵第二十大隊では軍事思想普及の爲め各地へ隊員を派遣し爆破演習を行ひつゝあるが四日將校以下三十二名永川郡より東海中部線鐵道で扶助驛下車同驛より浦項驛に至る間を發火演習を行ひつゝ午後四時着分會員の出迎へを受け午後五時より浦項南國川岸に於て水中爆破空中爆破の演習を數回行ひ午後五時三十分終了各兵卒は民家に分宿將校に對しては午後七時より喜樂に於て慰勞宴を開いた

◇大邱の府營バスは十二月十日から營業開始の筈であつた資料費集や器ての準備に暇取つて到底本年內に開始不可能となり勞々起債認可の問題もあるので昨年三四月の頃から開始する意響であるが大體に於て酷寒の頃に經營を開始するよりか拾月の花見時分に開始した方が利益も多からうと云ふにある

家畜品評會

元山、安邊、德源の一府二郡家畜品評會は四五の兩日德源郡廳で開催したが良品の出品多く五日午後一時より褒賞授與式を行つた

砂五分三橋拋八木(元)四十一米一千六百・リレー元中四分六秒五分一得點元中三三、五咸興三三、五籠球元中一八咸興八排球元中二一咸興

元商評議員會

元山商業會議所では六日午後一時より同所樓上において臨時評議員會を開き朝鮮商業會議所令改正に關する件につき協議する處あつた(元山)

元中對咸高

陸上競技大會

元山中學對咸興高普陸上競技大會は四日午前十時から元中グラウンドにおいて擧行陸上、籠球、排球共非常な白熱戰を演じた後元中優勝し左の成績の一等記錄は左の通(元山)

百米(黃(咸)十二秒五分二回盤八木(元)二八米六三千五百米江原(元)走田咸李(咸)五米入三匪九投富田(元)上一米〇六五四百米江原(元)二尺九秒五一走高跳香(元)八百米リレー咸興五千米李(咸)一九分二二

咸興橋起工式

長門組の請負にかゝる咸興西湖津街道瑞川に架る咸興橋工事起工式は三日午前十一時半から現場に各關係者を招待、嚴肅に執行された

咸興三州入會

三日夜料亭淀川に開催、出席人員四十余名例によつて國會議員丸山しの賑やかな會合であつた(咸興)

寺本氏逝く

咸興の草分けとして旅館業務運動その他公共事業に盡くす處少からず咸興今日の發展を見る前提たらしめた寺本幸太郎氏は兩親族、郡校組合管理者等在任中大正十五年腎病を得て一切の公職をやめ專心療養を重ね來つたが遂に四日夜逝去、五日咸興東本願寺で盛んな葬儀が執行された。享年五十八歲、懲士耶來の日を待つ者の多かつただけに痛惜の至りである(咸興)

地方集會

◇果物組合祝賀 慶北果物同業組合では畏くも御大典大嘗祭供御の栗柑代物萃果を御下命被仰付て調製中十月廿五日無事獻納の手續きを終つたので六日午後五時より三笠に於て慰勞々自祝を兼ね祝賀會を開催した(大邱)

◇安東消防慰勞宴 安東消防組では五日午後三時から消防組事務所に於て消防慰勞宴を催したが來賓栗野地方事務所長外多數あり盛會を極めて午後六時散會した(安東)

◇淺田氏披露宴 淺田新義州郵便局長は七日午後六時在住記者團を新義州料亭長門に招待して着任披露を兼ねて晩餐會を催した(新義州)

地方人事

▲西村治郎氏(釜山警察署長)二日夜今津同件旅館
▲高木啓治郎氏(釜山驛長)四日朝京城から歸任
▲小宮萬次郎氏(釜山消防組頭)四日京城へ
▲五島甚吉氏(釜山實業家)五日朝內地から歸來
▲長宗芳介氏(慶南衛生課長)地方巡視中の處七日歸任
▲深溝大郎氏(釜山府公長)六日京城へ
▲境同院檢事長 同上
▲小西同院書記長 同上
▲齋藤慶北知事 同上
▲渡邊十九師團長 六日大邱へ歸任
▲後藤敏敏氏(林學博士)五日大邱へ
▲韓忠北道知事 山本官房主事を從へ五日京都へ
▲池宣淑氏(大韓商事株式會社創立委員)▲李汝敏氏(同上)一週間の豫定で五日仁川發平安南北道へ
▲中野咸南知事 四日夜京都へ
▲金相勳氏(同上)
▲井上匪氏(咸南道廳)同上
▲和田咸鏡賴取 四日會寧宿五日間島へ
▲佐伯京畿道高等警務課長 四日會寧宿一泊
▲內村平壤慈惠院長 六日京都へ
▲柏木壽延嶽院醫長 同上隨行
▲寺南保安課長 四日京城より歸任
▲新藤寬三郎氏(新義州地方法院檢事正)新義州各地視察中の處七日歸任
▲國分平北地方課長(平北地方課長)五日龍川郡へ出張六日歸任
▲安山平北內務部長 病氣のため新義州道立醫院に入院中の處五日から出勤
▲田中安東守備隊長 大隊長會議のため四日大石橋へ七日歸安

下劑ラキサトール

ラキサトールの應用範圍
婦人、小兒、老人、病弱者、
其他一般の便秘、高血壓者
肥滿者、痔疾患者等

便秘の際は腸內の細菌が腐敗現象を起し其際發生する有害な物質が腸管壁から吸收されて健康を害するものなり。
故に便秘者は常にラキサトールを用ひて便通を調節すべし

種類 末粉及錠劑

大阪市東區道修町
發賣元 鹽野義商店
東京市日本橋區岩附町四

O. 102

應時代要求 薄利多賣(時計創業明治二十八年)(低價提供)

時計 西瑞

クローム腕十型石入アンクル 八圓五十錢
同 九圓八十錢
同十型十五石入 十一圓六十錢
同 十二圓八十錢
八金 十四圓八十錢
同十型十五石入何レモ鑑定書付 十九圓五十錢
同 二十六圓八十錢
以上ノ外各種定價表御申越次第無代進呈

時計商 京城本町二丁目(電話本局一〇二五番)
振替口座京城七八二番
(K) 喜多金光堂 通信販賣部

京城府壽町三十三番地(京劇前向)
碇屋旅館
長電話本局二四四五番
(自動車乘入自由)
御親切叮嚀ニ大勉強を以て御客樣方の御便宜相計り申候

府立 仁川病院
內科 外科 產婦人科 小兒科 內科物療科
院長 醫學博士 岩井勝三郎
副院長 醫學士 西野入眞澄
新任 長崎醫學士 青木俊一

黄海道

沙里院電氣 賣買行惱みの由來

某電氣會社も飛出し 形勢俄に一變す

久しきに亘る沙里院電氣買收問題がやうやく此頃に至りて双方の希望條件も一致し將さに契約締結されんとする場合に至り妙な事から面協議員の態度がぐらつき出し遂に最後の決定を爲すべき五日の面協議會が、流會となつたのみか尚現在の狀勢から推測して本問題が向後如何に展開するか容易に判斷が出來ない形勢にある

由來 黄州の四郡を配電區域とする西鮮電氣會社が昨年創立さるゝと同時に同社は沙里院面電氣一切の經營權を讓り受けたいとの交渉が開始されて丸一年沙里院市民間では賣却派、不賣却派の二派に分かれ双方とも、ありつたけの研究を仕盡くした上、やつと最近に至り大體賣却論に傾きその賣買條件が定まるに當たり面協議會では權利金として現在の面債金五萬三千圓と外に六萬五千圓および從業員退職手當て三千圓、合計十二萬千圓を出しなほ電氣料金十燭光器具損料を含して九十錢、かつ

本店 を沙里院に置き現在從業員全部を引受くるならばといふ事を西電に要求する段取となり面は直にこの旨公文を以て照會したが西電の方では權利金を十一萬圓とし内三萬圓は期限に渡し殘り八萬圓は[illegible]よりの送電工事が完成し一切の權利授受の時に至りて支拂ふ事とし料金は當局の指令をまつ事、從業員の引つぎは半數にし本店は當分のところ[illegible]に保留し近き將來沙里院に移轉するといふ位の所でこの邊で折合つてほしいと要望したものである、それで面は協議員會にかけて諮つた所が議員の多數は西電にして面の要求全部を容認せないようであつたら

斷然 本問題の交渉を打切りとしこの旨直に相手方に公文をもつて通告すべしとの説が有力であつたが宇佐見面長は、折角こゝまで進んできた問題をたゞ一回の先方の申出でのみを聞いて直に交渉打切りとするといふ事は穏當を失する嫌ひもあるから、先づこれに關する交渉委員を定め更に期日を定めて相手方と親しく會見しもつて意見を交換して見るが適當の手段であらうといふ事に決したのであるが一方西電側でも案外面の態度が強硬でとても

前記 の如き條件では讓り受けが出來ないと見たものか重役會議を開催して更に條件の通りの條件で引受けませうと申出したのは、つひ數日前の事である。然も時も時これと殆ど相前後して西電との交渉が打切られたと見てとつた或る電氣會社から此方に讓り渡してほしいと申出があり又いよいよこれに應ずるならば無論西電より以上有利の條件を附すであらうとの噂説が、さかんに流布さるゝに至りそれが爲に五日の協議會も遂にお流れとなつたものと觀測されこの結果は最も興味多き問題として注目されてゐる

平安南道

七七の演習行軍

國防思想の宣傳を兼ね

御大典奉祝國防思想宣傳の平壤歩兵七十七聯隊演習行軍の一部約二百名は七日朝平壤驛發一部隊は定州へ下車、一部隊は古邑驛へ下車し各同地で演習の上定州へ宿泊、八日朝定州驛發龍川驛に下車、龍川附近において演習の上安州に宿泊、九日安州附近で演習の上歸隊のはず又同部二隊二百名は四日平壤驛發列車で出發、一部隊は龍川驛に下車、一部隊は龍渕浦驛下車、同地で演習の上龍渕浦宿營、五日は[illegible]へ行軍、同地宿營、六日三和を經て龍池浦より乘車歸隊した

奉祝の準備成る

平壤府内における各町里の御大典奉祝計畫は着々として進み鍾閣附近横斷繩通りの大奉祝門をはじめ大同門の大奉祝門その他もそれぞれ工事に着手され又平壤府廳舍の屋根には中央に國旗を交叉し兩側へ「大典奉祝」の四文字を電飾し本町大和町の大通りでは軒から軒へとひく奉祝電燈工事を急ぎ紅白の段幕をはる準備もまた全市にわたつて急がれ更に屋臺、曳し物提燈行列等思ひ思ひの催しはそれぞれ決定して來る奉祝日の賑ひこそ期待されてゐる（平壤）

道警察部の非常召集

道警察部では五日午前零時三十分道内各警察署へ非常召集を命じ旅館、料亭その他の臨檢捜査を行はしめた平壤署では受命後一時間にして集合終了、石本警察部長總指揮、警察部高等警察課員にあたり警部補以上は各分隊長としてそれぞれ一隊を指揮し同二時より府内の旅館、料亭、飲食店、空家、神社佛閣の境内および大同江々岸に至る迄の警戒等の臨檢捜査を行ひ同五時終了、本署に同行された者は不逞者一名、主義者二名、密輸者二名、浮浪乞食八名、その他三名計十六名で臨檢取締者三十六、浮浪乞食二十五、その他四十二、計百三、街頭取締者二百二十七、浮浪乞食百二十一、その他百二十一、計四百九十九、總計六百十八件であつた（平壤）

加藤精米所鎭南浦支店

加藤精米所の目覺しい活躍

米穀界に雄飛する 加藤平太郎氏の事業

米の鎭南浦で最も目ざましい活動を續けてゐるのは何といつても合資會社加藤精米所鎭南浦支店である。彼の旭町に面し數町にわたる工場二百尺の大煙突、轟々と響く機關と精米の騷音、それに接しただけでも加藤精米所の偉大なる事業を知悉することが出來よう。加藤精米所は人も知る仁川加藤平太郎氏の經營で仁川に本店を有し仁川においては米穀業者間に雄飛するばかりでなく鎭南浦支店の事業も鎭南浦米穀業者間にあつて一頭地をぬいてゐるのである、元より加藤氏は[illegible]氏としては多大の努力を拂はねばならぬ立場にある、しかして鎭南浦の支店は決してこの繁華の地を飾るに恥かしいものでなく何人も加藤氏の偉大な成功を賞讃せぬものはないといふ有様である、鎭南浦工場は工場使用總坪數四千坪に達し、工場は二階建三百八十五坪、倉庫八百五十坪、乾燥場千五百坪、動力蒸氣機關英國ヒックス會社製三百十五馬力と獨逸ドルク會社製百十六馬力、精米機はエンゲルミ式三十臺を備へ一晝夜一等白米千二百石、合格石拔玄米四百石の精米能力を有してゐる、工場使用人員は男女工各三百二十人で加藤氏は常に新しい意味の勞資協調主義の下に工場を經營してゐるので三百二十名の勞働者も毎日滿足なやすらかな氣分の下に孜々と勵いてゐる。精選された白米は阪神地方を主とし關東、名古屋、中國、四國、九州地方各地に販路を有し加藤の米といへば信用の代名詞とされてゐる位である

加藤平太郎氏

加藤平太郎氏の面ぼうを見ると精悍の氣が眉宇の間にあふれ叡智的智識が兩眸に光つてゐる、向ふ意氣の強い意思の人であるが時勢と共に推移する頭腦を有し先年二百五十萬圓を鎭南浦府の公共資金に投げ出すなどの離れ業を演じ一般世人と肌合の違つた所がある、かつて仁川米穀取引所の會頭に擬せられたことがあるがやればやるだけの實力を充分に持つて居る鮮米業界の成功者でその前途は更に矚目するに足るものがある

合財袋

◇……平壤飛行六聯隊の男著故百武大尉、故[illegible]中尉の使用飛行機五百九十六號機の[illegible]は釜山[illegible]に保管中であつたが來る廿七日[illegible]に[illegible]公立普通學校[illegible]として寄贈[illegible]

京畿道

奉祝の行進歌

葛西仁川高女教諭の作

御大典に際して仁川府内において行はれる旗行列および提灯行列に參加する學校生徒および府職員は仁川高女教諭葛西國一氏作歌作曲にかゝるため御大典奉祝行進歌をうたふことになつた（仁川）

御大禮奉祝行進歌

一、空いや高く弥香る
輝きよき日大君は
大御位につき給ふ
萬歲〳〵萬々歲

二、ゆたけき御代のにひよねを
捧げまつりでかしこくも
御代の始めの大みのり
萬歲〳〵萬々歲

三、出で入る千船百船の
御代の御榮え限りなし
萬歲〳〵萬々歲

◇……五日午前三時廿八分平壤驛着南行列車が西浦驛發車後五分同驛から約一哩半の地點を平壤へ向け進行中左側から同列車に投石食堂車の窓硝子を破壞したものがある同車には乘客なくボーイ二名がゐたのみで負傷者は無かつた犯人は不明

◇……關西體育會主催第一回西鮮卓球大會は四日平壤師範學校で參加選手廿六名で擧行大接戰の結果光成の鄭仰洙君が優勝した

◇……平壤府内の現在腸チフス患者は十五名

附近を附近居住者に拂ひ下げられた同地に於ける兩氏の殉職記念碑建設計畫は着々と進められてゐる

平安北道

新義州の麻雀大會

出場者百九十二名 空前の盛況

鴨江日報社主催新義州麻雀會後援の新義州麻雀大會は三日午後二時から新義州本町[illegible]において開催した出場者は新義州本町[illegible]安東等より出場者百九十二名といふ多數に上り四十八テーブルを並べ四回戰で競技を行つたが近來にない盛會を極め同夜午前零時半に至つて漸く終了したが優勝者は次ぎの通りである

一等（安東）楊本金雄（七九四〇）二等（安東）阪本清（七七二〇）三等（新義州）吉武昇（五三四〇）四等（義州）李容[illegible]九（五一九〇）五等金秉[illegible]（四九七〇）以下略

なほ[illegible]を得たもの[illegible]一[illegible]三等の三名であつた（新義州）

楚山へ　（五）

平田生

◇そしてこれからがあの險も牛車も通はなかつた上下約六里高さ海拔八百メートルといふ國境唯一の難峠である。[illegible]等が職務を放棄して引返した峠の名で知られてゐるといふ[illegible]峠である、それが今日は自動車で渓から山谷の風景を賞しながら一時間か一時間半でこせるのだと思へば實に隔世の感がある

◇峠を下りたときはくれ易い秋の日はとつぷりくれて自動車はヘッドライトで前路を照明し、警笛を鳴らしつゝ楚山の邑内に入つた、時に午後七時、住民が如何に今日を待つてゐたか、狂喜の如き歡迎の盛況を私は今こゝで見た、沿道の住民は自動車を追ひかけ邑民は喊聲を擧げて出迎へた

◇新義州から六十四里陸路一週間水路二週間、牛車さへも珍しいといはれた楚山に車をつらねてしかも僅か十時間で到着したのであるから、その驚異も當然であらう私等はそこで金郡守伊藤警察署長民間有力者佐々木氏等在住官民に取圍まれて羅岡旅館にはいつた

◇翌廿九日は午前十一時から普通學校における開通祝賀式に列席した邑内はアーチ門を建て國旗提灯をかゝげて熱狂的祝賀祭を行つたが折惡く當日は雨で相撲、假裝行列は取やめになつたといふ事であつたが邑内どこを見ても眞にお祭り氣分で賑つてゐる

◇その翌卅九日午前九時楚山にひたつてゐる楚山におさらばをつげて郡守さん署長さん以下多數官民に送られて鴨緑江の道路を自動車で二里江岸の新島に出でそこから輸船公司差むけのプロペラ船に乘りこんだ、ゆきの元氣に引換へ歸りは數氣に襲はれて一行は毛布にくるまり火鉢を抱いて語るものもなく默々として佳景も眺めるものなく江岸の下航午後六時五十分碧潼に着いた、」

◇今回の道路開通は單に楚山と交通に一新紀元を劃したにには過ぎないが二十五萬人の人夫の出役した民のこれに從事したものだゝの一人もなかつたといふ事は[illegible]を物語るものであらうが將來に於いて[illegible]た火入れの火田民と共に[illegible]の[illegible]を[illegible]する[illegible]ではあるまいか（完）

病氣豫防に肝油　虛弱保健に肝油

眼鏡印 滋養強壯 肝油

主効
生長促進　結核　腺病　トラホーム　夜盲性　眼乾燥　セムシ　骨病　脚氣　貧血防止　結膜炎

ヴイタミンA及Dの含有量第一

眼鏡印肝油を二ケ月、三ケ月と續けて居らるゝ御愛用家は其の眞價の絕大なると殊に最も經濟的なる滋養强壯劑である事を賞讃され益々好評を博して居ります

發賣元　大阪道修町　伊藤千太郞商會

經濟的滋養强壯藥として一日分の營養素が僅か金參錢で得られます（全國藥店にて販賣す）

皮膚科　泌尿科　淋疾　黴毒　生殖器障害
鹽井醫院
京城明治町一丁目（浪花館東）電話本局二〇九〇

吉事 凶事用
造花問屋 東京 もち花や商店
神田區塗師町七番地 電話神田(25)三三〇三番
本郷區切通坂町八番地 小石川(85)二〇〇三番

宮內省御用達
酒界の權威
菊正宗
發賣元 株式會社 本嘉納商店

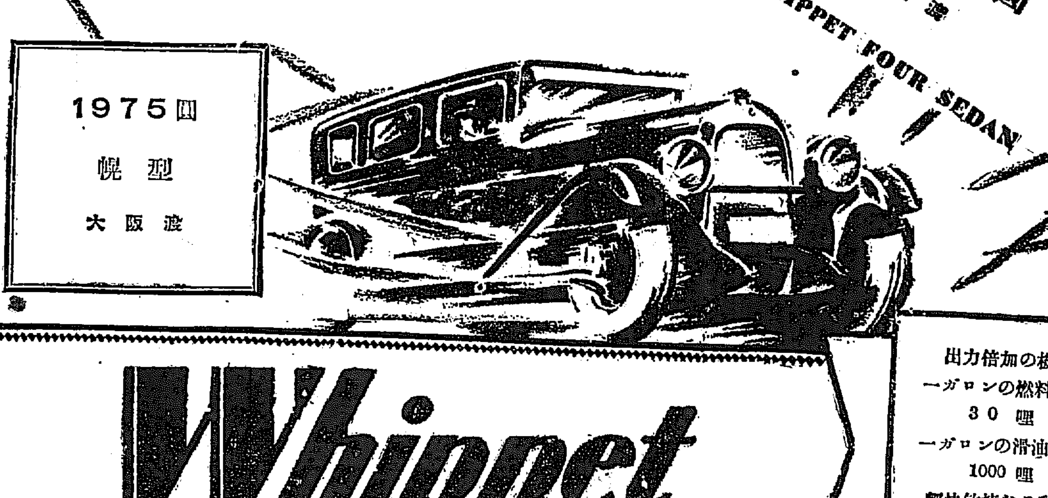
藥種賣藥卸專業
月刊時價表及定規掛圖表進呈
釜山辨天町一丁目
合資會社 大黑南海堂

ホイペット自動車

2600圓 大阪渡

WHIPPET FOUR SEDAN

1975圓 幌型 大阪渡



Whippet FOURS AND SIXES

出力倍加の機關
一ガロンの燃料にて 30 哩
一ガロンの滑油にて 1000 哩
輕快敏捷なる動作

朝鮮中部特約販賣店
朝鮮日新自動車商會
京城府廳前

（大阪 日新自動車株式會社 曾根崎）

朝のノーシン 一服は終日の心地を良くす

バタコのみの
カモス齒磨

桃栗三年
柿八年
御齒之美化々々
三四日

化粧品雜貨店 定價十五錢

235

院長 醫學士 村上龍藏
村上 內科 小兒科 病院
京城府永樂町一丁目（寶塚劇前）電話本局 三五六 一六七 三六二番

非鐵鋼。鐵骨。船舶用品
土木建築材料
パイプ。機械。工業用付屬品

釜山府幸町二丁目
角野商店
電話長 [illegible]
振替口座 釜山 [illegible]

孝の德五藏に及ぶ 伊藤仁齋の孝德

伊藤仁齋は京都の大學者で常に三千人の門弟があつた。仁齋は孝心深く、父母に孝養を盡した人である。仁齋は一切人手を借らず看護に當つた。曰く

「予の今日あるは父母の賜である。殊に母の如きは予が生れてから、夜の目も碌々寢ずに大小便の世話は申すまでもなく、風邪を引かぬやう病氣に罹らぬやうにと、我身を忘れて愛撫を盡めた恩愛を受けたのである。その御恩は山よりも高く、海よりも深い。母の病氣に際し、他人に看護せしめるが如きは予たる者の道でない」と深く介抱したのである。

從て細川侯は仁齋の名を聞き、祿を厚うし、大藩を以て招かれたが、仁齋は母に孝養が出來ないとて斷つたのである。母は病癒へ、死に臨んで兩手を合せて仁齋の孝心を感謝したといふことである。

母が死して喪に服して居ると(喪は三年の定めであつた)その翌年父の長勝も逝去したので、前後通じて四年間喪に服し、孝子の情を盡せた。喪が明けて、喪服を脫ぎ改めた時に詠んだ歌は、

三年とて定めしほどの服りあれば
けふぬぎすつるふぢ衣かな

仁齋には五人の男子があつたが父に見習うて五人共揃うて學者で世に伊藤の五藏といつたのは、五人共皆、藏といふ名を下に附けて居つたからである。長男は原藏、伊藤東涯といふ大學者で家學を嗣いだ。二男は重藏、梅宇と號し、福山阿部侯に仕へた。三男は正藏、介亭と號し、高槻の永井侯に仕へた。四男は平藏、竹里と號し、久留米の有馬侯に仕へた。五男は才藏、蘭嵎と號し、紀伊侯に仕へた。

第二篇 教育美談 有田音松

お寺の始と尼さんの始 善信尼の信念

佛敎の渡來前までは、我が日本は神國として神を崇めて居つたので、佛さんといふものは無かつたのであるが、欽明帝の御代に佛敎が渡來して、蘇我稻目(文官)之れを信じ、その邸内に佛像を安置し、向原寺と稱したのが日本最初の佛寺である。

然るに物部尾輿(武官)は國禁に反するものであると奏上し、寺を燒き佛像を難波の堀江に投じたのである。稻目の子、馬子の代になつて百濟から再び佛像を得、佛殿を造つて之を安置したが僧さんが無いので不便といふ人を得いて訓ることとなつた。

そこで司馬達等の女、島女といふのが出家して尼僧となり善信尼といふ。之れが我が國に於ける尼さんの始めである。

此の時、物部守屋(尾輿の子)一派は、馬子の建てた佛殿を燒き、善信尼外二名の尼僧を獄中に禁錮し、日々責め出しては、佛敎を捨へなければ嚴罰を加へると、種々な嚴責を與へたのである。善信尼等は「佛に捧げた命なれば」と頑として節を屈せず。善く、善信尼等の堅固な意志と純潔な信念とによつて、佛敎の基礎を築す礎をなしたのである。

尚、善信尼は我が國女子留學生の最初の記錄を作つた人で、百濟に留まること三年、佛敎の奧義を研究したのである。又、印度及支那の文明を傳へたことについても大なる功勞者である。

即ち、堅信の僧侶にして、善信尼の如き純潔なる信念のある僧侶は幾人あらうか。翻天の星の如くで佛敎の盛衰するのも故あるかなである。

善信尼が尼さんの始めでその兄多須奈は、用明天皇の崩御あらせられた時、天皇のために出家し、德齋と稱し、僧となつた。之れが日本に於ける男僧の始めである。

一番安全なる肺病ろくまくの療法

有田音松

「盧を見る者は山を見ず」といふ諺があるが、今の日本の醫學界にその弊はないであらうか。

現に歐米の學者にいはせると、日本の醫界は獨逸醫學のみが發達して、治療醫學は、まるで成つて居ない。モルモツトだ、鬼だと云ふ位に試驗や理論的方面に突進し、肝腎の治療方面をお留守にするからだといふて居る。これは嘘言ではあるまいか。

歐米では現に、肺病は死病でなく百人中、九十三人までは全快するといふ統計が立派に發表せられてゐるのである。その結果、年々死亡率が減じつゝあるのである。

然るに、我が日本では年々増々死亡率が増加するのである。これは何に原因するかと云ふに、歐米の學者の批評するが如く、獨逸醫學にのみ心醉して、治療醫學をはつとけぼりにする結果ではあるまいか。

內務省においても、この點に氣附き、「國民と結核」と題する小冊子を發行して、「國民にのみ頼る勿れ」と戒めてゐるのである。かやうな事は醫界の不備であるそれから目下流行のやうに種々の注射藥が發見せられるが、現代では注射のみによつて肺病を全治せしめるといふ事は不可能である。

そんな事で醫界も政府も苦心して居る肺病が、皮肉にも商會の製藥で治療して全快者續出し、五年間で全國の新聞に全快者を發表した事は、天下周知の事である。その全快者を見ると、肺病最惡の重態患者は無くして、病院や醫者等にかゝつて全快せなかつた人が、商會の製藥によつて治療したといふ全快文になつてをるのである。

そこで之れは不思議だ、そんな馬鹿な事があるものかと八方から疑惑する者があつて遂に官憲は捨て置き難く、一年中の日子を費し、各府縣の警察部に嚴命して嚴査せられたのである。

第一、全快者でないものを、住所を入れて全快まで取上げてあつたら嚴罰すべく全快者本人を調べずとも近所近傍で聞合すれば、病氣で困つて居つたか、全快したか位は直ぐ判る事である。

然るに各警察部においては、一々嚴密なる調査をせられたものである。處が更に輪へ事でもなく、其實驚嘆たる有様である。

商會製藥の試驗は、モルモツトや兎の試驗と異つて、病人患者が服んで全快した證據がある。博士の證明などを擬驗して發表する實驗もあるが、商會の製藥は一ケ年中も官憲が嚴密なる調査をせられた全快者によつて、立派に證明立てられた效である。

これ丈けも信ぜざれば、國を擧ぐるもの更になし。

その發表の結果、一日でも早く全快する事に依り、當局は安心して居られるが、商會の實驗製藥を服用して出來たものが、今回販出す所の「別製治肺劑」である。

迷ふことなく本劑に從つて全快せられたし、但、養生法は專賣所に就いて熟と御聽き取り下さい。

注意 人體には肺や心臟は一つより無いが、肺は右肺と左肺と二個あるのだから、一方の肺が全部無くなつても死するものではない。現に一つの肺になつて生存して居る人が澤山あるのである。肺病は絶對に死病でないから確信を以て服藥せられんことを希望する次第である。

現に商會の製藥で、全快して再發せず、益々全に活動して居られるのが何よりの證據である。

「氷は雪をうけず」といふ諺がある如く、正義に打ち克つものはないのである。

京都大學病院の診斷で肺病と決定 有田式合理療法で見事に全快

肺尖加答兒

昨が疾を附け、實權が宇宙を包んだ夏の中頃で御座いました。私は、數度の風邪で床に引込み、全身に疲勞を覺ゆ、どうもいつもの風邪と異ふ樣に思はれるので、醫師の診察を受けたところ、また世間れぬ私に余りにも大きなショツクを與へました。それは病名が肺尖と決定したからです。嗚呼、肺尖カタール、それは肺病の初期であり、肺病は不治の病と云ひ、殊に氣の弱い私は死の宣告を受けたのと同じでした。引つ切りなしに次々と起る煩悶は絶へず不安と恐怖の度を増して行くのみでした。

昨日までは人並に愉い希望と樂しい夢の幻想を抱いて道を歩んで居た私が、忽ち數千丈の谷底に突き落された樣な氣がして、云ひ知れぬ孤獨の淋しさと、人間の仲間から除外された樣な、ある恐ろしい感覺を感ぜずには居られませんでした。以來

京都大學病院

の博士や近隣の醫師數名に診斷を受けて見ましたが、皆同樣肺尖加答兒との事でありました。診斷日より二三個月と云ふものは、醫師の治療に全力を注ぎましたが、醫師の親切なる療治も効果を認めず、ありとあらゆる名藥やすべての滋養物も、手厚い父母の看護も甲斐なく、日々重病になるばかりでした。發熱も日毎に三度より一度、二度より一度と減じ、夜は盜汗と咳の爲に充分の睡眠も出來ず、食慾も減退して行き、ただ暗い病床で日增に衰弱して行き、今は死を待つのみでありましたが、諦められない生の執着が、ひしくと私の胸に迫つて參りました。かうした

私を中心に

家族は言はずもがな、近親の者に至るまで暗い憂慮の日が續きました。この時に當り私は、全く不安と煩悶の日が續きました。この時に當り私は、思はぬ一道の光明を認めました。それは新聞紙上で久ケ間しい問題を起し一般世人の注目の的となつて居た有田ドラツグの藥の事を想ひ出したのであります。これがそもそも更生への第一步で、醫部新町有田ドラツグ專賣所を訪れたのはそれから間もないことでした。さうして喚び得たものは親切なる養生法と詳細なる說明と有田特製治肺劑と有田特製藥、有田血液素とでありました。何こゝで專賣所主任様の說明を大要申上げます。

弱身につけ込

むのが結核菌である。肺病は十四五の年になれば、身體の發育が著しく、從つて體の形が變るので其の時百人中九十九人までが、結核菌に侵されるのである。丈夫な人達は知らぬ間に結核菌に打勝つて、全治してゐるのであつて、それは專門の醫學者が肺病以外の病氣で死亡した澤山の人を解剖した結果、何れも一度は結核に侵されて全治して居る痕跡があるので不治でない事が判明したのである。だから肺病に罹つたからとて決して悲觀したものでないとて

澤山の全快者

が掲載されてゐる、新聞廣告を出して、商會の藥を服用して、この通り澤山の全快者がある、然もこの全快者を新聞廣告に掲載されるのは、全快者五十人につき、一人位のものである。甚だ五六年間に全快した人々はこの全快者の約五十倍に近い全快者を出してゐるのであるが、かうした全快者の多くが、殆どあつちの病院、こつちの博士と、隨分長い間かゝつて治らないのが殆後に商會に來て商會の藥を服用して、全快してゐるのである。

何も商會では手品や、まじなひをしてゐるのではなく、商會の製藥

肺病に卓効ある

は世界各國で といはれる藥は殆ど配合してあるのみならず、その内には商會獨特の秘密藥が配合してあるので、難治の病氣が輕快するのも知れて、肺は止まり、食慾が進んで夜は樂々と安眠が出來るので、益々快方に向ひ遂には多數の全快者が出來るのである。それに商會では昔から「一に養生二に藥」といふことを治病のモツトーにしてゐるので、藥よりもよい藥を服用せねばならぬけれども、藥よりも病人自ら守る養生が肝要であるとて一々養生法を說き、殊に最近歐米で盛んに行はれて、多數の全快者を出しつゝある

サナトリアーム式

を我が國の風土、民族に合せて、誰れにも容易に出來る樣に指導してゐるものである。

それに商會獨特の高貴藥を服用せられるので、養生と相俟つて病魔に効果が顯はれ、短時日で全快するに至るのである。とて有田ドラツグ藥が他の藥と異なる點を話され、病理や生理を始めとして、合理的自宅で療養の方法等を詳細にお話し下さいました。なる程自分も今日まで澤山のお醫者さんはもとより、大學病院や博士等にまで診て貰ひましたが

專門の博士等

未だ曾つて今日有田ドラツグ專賣所で承はつた樣な詳しいお話を承はつたことはありません。それもその筈、大學病院やでは、澤山の患者が次から次へと押しかけてゐるのですから、何一つ病氣の事に就いて質問する餘裕もなく、診察が濟んだら逃げる樣に出なければならぬし、地方のお醫者さんも唯自分が一人吞み込んでおられるのみで、患者としては貰つた藥を服用する以外には、どんな養生法をすればよいのやら、實に取りなく困つて居りました。今日迄うして親身も及ばぬ懇切な

飛行機上より撮影したる 大阪府 七階建 本浄町 有田ドラッグ商會本店全景

大阪每日新聞社飛行機撮影

肺病ろくまく 請合藥

特製治肺劑 八日分 十五圓 / 十六日分 二十八圓 / 二十日分 十九圓(ママ)

別製治肺劑

本劑の服用に依り咳を鎮め、痰を去り、盜汗を防ぎ、熱を解り、食欲を進め安眠せしめ、日に見へて輕快に向ふ。殊に別製治肺劑は今回新に最有効の高貴藥を配劑し一日も全快を早める甚大なる良劑にして、その効能大なり。

警告

紛はしき 一七藥 を賣る者あり

御買取の際左の如く箱に此の文字あるもの必ずお取り調べのこと

本舖 大阪内本町二
發賣元 大阪心齋橋南詰 東京日本橋通四
『有田ドラッグ』
『有田音松監製』

有田ドラッグ商會主 有田音松

妻子のある身で難病の胸の病に

人間は健康

時に於てこそ、何の彼のと慾を言つて居りますが、一たび病を得て行末などを考へます時、身體の壯健な事ほど世に幸福なことはないと痛切に感じます。

私は曾て病氣をした事がなく、心豐かに健康を誇つて居りました。九月の初め山に茸を刈りに行くと何となく身體がだるく、背筋がゾクゾクして惡寒を感じ、どうも變だと思ひましたが、その日は山でぶらぶら

して歸りましたが、その翌日は昨日にも增して具合が惡く、

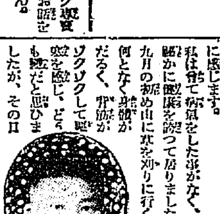
胸から背へ

かけて痛苦しい痛みを感じ、呼吸をする時大變苦しいので心配になり、高知市の病院で診て貰ひますと「急性肋膜炎だから、大事に養生せねばならぬ」と言はれましたので、非常に驚きました。殊に兩親は年老てゐますし、妻は二兒を抱へて自分に若しもの事があつたら、家の將來はどんなになるであらう等と

と、人知れず熱い涙が頰に傳ふのでした。それからは一生懸命養生しましたが、どうも段々惡くなるばかりなので、遂に入院する事になりました。近所の人や親類の者に來て貰つて、俄仕立の乘り物に乘つて妻や妹の附添ひで入院しました。入院後

氷も一回取

りましたが、どうも捗々しく快方に向ひません。運命の神はどこまでも自分を苦痛の中より救ひ出しては呉れないのです。餘り容體でない私は、何時までも入院して居る事も出來ないものですから、再び山奥にゆられて住居に歸りましたそして隣方の有效だといふ藥は色々取寄せて服んでみましたが、一寸も効がなく困つて居りました ところが或る日隣の人が見舞に來て「隣村の人が、有田ドラッグの藥で重い肋膜炎が苦もなく治つたと云つて喜んで居るから、是非服用してみては」と勸めて呉れま



松崎慶太郎君

した。入院して呉れましたので、兎に角私も早速人を雇うて高知市縁町の有田ドラッグ專賣所へ行つて、有田音松様監製の治肋劑と血液素を買つて來て服ひました。その時主任の方から

病理や養生

法等親切に說明して頂きましたので、それを嚴格に守つて服用しましたが、二三月經つと、さしも頑固であつた熱も下り、呼吸も漸次に仕易くなり、又色々惱めになる胸の痛み物も段々に輕快して來て呉れましたし、切に服用して來ましたので、非常に嬉しく相續き二週間の服用で、熱も平溫になり、胸の痛みもなく、食慾が進むにつれて、身體が日に見えて丈夫になりましたので、家内の者は申すまでもなく、親族の者までが大變喜んで呉れました。その後引續き服藥の結果、自分も何んだか

氣分が晴々

しくなり、見るもの聞くものが、樂しくなり、氏神や其の他の神社へお禮詣りにも平氣で行ける樣になりました。餘念の爲め醫師に診察して貰ひましたが、立派に全快して居るとの事に、益々更生の思ひがいたしました。これも偏に有田音松様監製のお藥と家內一同喜び合つて居ります。

それ以來風邪を引いたことはありますが、再發することもなく、身體は以前にも增して壯健になり、今では三人の親となりました。

あまりの嬉しさに御禮の一筆と、且つは世間の同病の方々に、この喜びをお知らせしたいものと、全快證明書を呈出する次第であります。

高知 縣土佐郡鏡村字梅の又 全快者 松崎慶太郎

難病中の難病 ろくまく炎を征服

風邪は

万病の基と申しますが、暫くして元氣なものは、風邪位が何んだと油斷をするのでつい取返しのつかぬ病氣になり勝であります。私は元來壯健體であり、自分は獨立で身を立てたいもので、水力電氣會社に勤務して居りました。その間急を要する仕事で出張し、雨天に雨に濡れつゝ從事いたしましたところ、何時となく頭痛がする樣になりましたが何この位のことはと、續けて居りましたところ、微に惡寒がして、とうとう床に臥してしまひました。それから

氷で冷

すやら、醫者にかゝるやら、色々しましたが、次第に惡くなるばかりなので、郷里に打電しました。家族の者は非常に心配して早速連れに來て呉れ、人力車に乘せられて八里の山道を歸りました。我が家に歸つた嬉しさと、氣の緩みと、車にゆられて疲つた疲れとで、一層病は重つて了ひました。それに父親のない私は、一人きりの母親に心配かける事と思へば、自分の苦しみより一層身を切られる思ひがしました。幸い里もある處から、お醫者さんに往診して貰つたら、肋膜炎といふことでありましたので、醫者はもとより、色々と手を盡くしましたが、なかなか快方には向はず、どうなることかと、今はたゞ神佛にお縋りするより外ありませんでした。その内に

知人が

見舞に來て、肋膜炎なら有田ドラッグ藥に限る。北山田の誰さんも治つた。誰さんも有田藥で治つたと教へて呉れましたので、早速縁町二番町の有田ドラッグ專賣所に參りまして、今までの容態をお話しいたしますと、專賣所主任のお說明には、肋膜炎だからとて安心してはならぬ。必ず肺病と同樣に心得て萬全を期して行かなければならぬと、養生も萬全を期して行かなければならぬと、懇々と肋膜炎の病理に付お話し下されましたので、有田音松樣監製の有田特製治肋劑と有田血液素を求めまして、教へられた養生法を守りつゝ服藥いたしました。四五日頃より食慾は進む樣になるし、一番苦しんでゐた胸の痛みも薄紙を剝ぐ樣に治りましたので、早速人を雇うて高知市縁町の有田ドラッグ專賣所へ行つて、有田音松様監製の治肋劑と血液素を買つて來て貰ひました。その時主任の方から

病理と養生法の說明を承はつて、初めて眼が覺めた氣持がいたします。さうして教へられた有田式養生法により、服藥すると日一日と健康狀態に近づき、血液素によつて

血色をよくし

胃腸を丈夫にして下痢を防ぎ、治肋劑にて病患を治癒しつゝ服藥して居りましたので、寶に十週間余、體重も增し漸く體重を恢復したと喜んで居りました。念のため平岡醫院で診て貰ひましたら、全快と診斷されたので御座います。其の後肺る體重にて從前通り信用組合に勤めて居ります。

世の中の多數の同病者が、自分と同じ樣に病苦と戰つて煩悶苦惱して居らるゝのを見るにつけ、私の全快實驗談を發表して參考に供する次第であります。

京都府船井郡世木村大字天若小字下庄瀬十六番地 全快者 吉田弘

病膏盲に入

つて治し難し、小敵たりとも侮るなかれ、永樂 山場曙

肋膜炎は肺病ではないが肺病は肋膜炎から肺病となるのが多いのである。

兄弟も同樣

のもので、それから醫者にしても患者に肺病だと云ふと大いに心配して失望するから「君の病氣はろくまくだ」と氣休めをいふ場合が多いのである。その醫者のかけ引を知らず、患者は「ヤレ安心だ。自分は肺病ではないのだ」といふ樣な氣になり、其內に實際肺炎で今充分養生すれば全快するのを、肋膜位と輕んじて不養生をしたり、治療をするものだから、遂には幾分である筈の肋膜炎がいつの間にか兄分の肺病になつて、とり返しのつかぬ事になるのである

て、四週間目頃には、あんなに苦しかつた病苦を忘れてしまひましたが、尚念の爲めに一週間分服用して、すつかり病前の健康體となりました。醫師も立派に全快して居ると申されました。これ偏に神佛の惠みと有田ドラッグ藥の賜と心から感謝して居ります。誠に感謝するこの嬉しさと、かく迄有田藥の效のあるを知つた以上、世間には私よりも一層苦しんで居る方が澤山ありませう。有田藥と同時に、懇篤なる養生法も實行されて一日も早く快癒なさいます樣に希望いたします。

大分 縣北海部郡佐賀關町 全快者 永樂山場曙(ママ)

百匁服めば四百匁の血が出來る

有田血液素

一名オーソール 定價四圓

(一)病後、産後の人は直に顏色に血色を顯はす事
(二)體重を增加する事
(三)血液を增加するを以て精力を增す事

右の(一)(二)(三)は有田血液素を服めば、左の如き病氣(著しき効力を顯はすのである。

是等の品は無機鐵製物には淸血劑として第一に挙げられるものは牛乳、卵、鷄、玉子、ソップ等である。

是等の品は無機鐵製物には遊ひないが何れも胃腸の消化作用によらざれば血液とはならないのである。所で病弱者や老病者の胃腸は消化作用が弱くなつてゐるから是等の滋養物を攝取すれば、反て消化不良を來すことが少からぬ。

故に大阪病院に於ても、入院患者に鐵劑を以て治療する事があるが、病弱の者には服用せしめ、消化器と云ふ鑛物質に對し、鐵劑では腸胃の消化作用を受けずに服めば、直に胃中に於て溶解しそれが血となり全身の血液の文字に變化するのである。

効能

大阪市東區內本町二丁目五番地 製造者 有田音松

一オーソール 定價四圓

ヘモグロビンノ定量 右ノ各品ヲ前ニ宣明スル化學的ニ分析ヲ遂グルニ本品百分中ニ含有セル(ヘモグロビン)ノ含量ハ左ノ如シ ヘモグロビン(酸化ヘモグロビン)八五・五

大正二年四月二十九日 內務省大阪衛生試驗所 所長衛生試驗技師 不山松治郎 主任衛生試驗所技師 淺岡

本品の特色は如何なる胃腸の弱い人でも、胃腸の消化作用を受けずに服めば直に胃中に於て溶解しそれが血となり全身に循環する。

(四)冷性の人は身體に溫味を增す事
(五)その他病後、產後の一般衰弱者、貧血症、萎黃病、不足、心臟病、腦病、肋膜等の病後の衰弱者には有田血液素を服用すべし。

尚二七藥を賣る者があります から有田音松監製の文字に御注意下さい

有田音松監製 有效 責任 藥製

慢性胃腸病 請合藥 五圓
心臟病 請合藥 四圓
腦病 請合藥 五圓
ぜんそく 請合藥 五圓

左記所在地の有田ドラッグ專賣所にて御買取あれ

◎朝鮮

京城 南大門三 / 黃金町 / 練兵町
釜山 辨天町 / 仁川 宮町二 / 大田 春日町一 / 群山 東榮町 / 全州 高砂町 / 木浦 榮町 / 麗水 港町 / 大邱 水 / 金泉 / 浦項 / 馬山 京町 / 光州 本町 / 兼二浦 本町 / 鎮南浦 三和町 / 平壤 局前 / 新義州 常盤町 / 元山 本町二 / 咸興 本町二 / 羅南 生駒町

(注: 各地の町名配列は右上段に準ず)

◎滿州

大連 磐城町 / 旅順 敦賀町 / 鞍山 赤城町 / 遼陽 東洋町 / 奉天 紅梅町 / 撫順 東六條 / 鐵嶺 敷島町 / 開原 新市街 / 四平 平街 / 長春 祝町二 / 營口 永世街 / 哈爾賓 傳家甸

◎民國

北京 前門外 / 天津 北旭街 / 上海 鴨綠路 / 漢口 日本租界 / 香港 仔利東街 / 汕頭 怡安街

大不夜城の底に沸きかへる帝都
鳳輦を送り奉りて　夜を徹しての賑ひ

【東京電話】鳳輦を御見送り申し上げたその夜の帝都、それは歓喜と感激に沸き立つ大きな渦であつた丸の内宮城前を中心として全市に漲る悦びのどよめきは大内山を搖ひ盡くさんばかり、見上げる大空に清らかに輝く星は銀砂の様に高層な建物や街頭に眞晝の如く輝く

イルミネーションは 目に眩ゆく照り映へて眩に光りと色の世界を現出して果しも賑やかな賑ひであつた、お濠端から去りやらぬ赤子の群はあてもなく光の波に誘はれて何時果てるとも見えず、夜と共に群り來る人波は更に後から〳〵と打返して奉祝塔の電飾輝く邊りから宮城前廣場は人波にどよめき物凄い程であつた、この人混みの中に押し返される若き子に手をひかれた老母の姿、家族連の人達を見うけられるのも抑へ切れぬ感激の溢れと思はれた、交通整理に警官は汗ダクとなり數隊處の活躍、どれもこれもが

慶びの動きであつた 行幸通路馬場先門、櫻田門方面から刻々に増加する人波はいづれも二重橋へと押寄せて人々はひたすら兩陛下の御安泰を祈念した、夜更くるも人出は減へず、帝都の上空には間斷なく煙火が打揚げられ、お目出度き火の玉、火の箭は絶え間なく喜びの音を立てゝ歓呼の聲は全市に滿ち〳〵た、平常は淋しい丸の内一帯も人の往來繁しく、東京驛から日本橋神田須田町上野の邊にかけても素晴らしい人の波は日比谷公園も菊花大會と相まつて未曾有の人出、電燈明るき銀座街もこの夜は全く身動きもならず装飾の飾りつけさ光彩を競ふ各大商店のウインドの前は殊にはげしい雑沓であつた、歌舞伎座、新橋演舞場、明治座の各劇場も目出たいだしものに何れも素晴らしい入り、淺草六區の活動街もレコード破りの大雑沓であつた省線電車から

市内電車、圓太郎青バス の各乘合、地下鐵から各郊外電車、圓タク等どれもこれも滿員鈴なりの盛況およろこびに動く人波を右から左へ縦横に運んでその賑やぎは何時果つとも見えず、實に昭和新政の史上を飾る空前の人出であつた

奉祝歌高らかに長蛇の提灯行列
喜びに光り輝やく　その夜の名古屋市

【名古屋電話】敬祝のその夜中京名古屋の市内は沸れ返るばかりの騒ぎであつた、限りなき喜びのざわめきに日は暮れて町々の灯美しき夜となれば人出は益々加はるばかり

廣小路から本町通り の松坂屋呉服店、東陽ビルその他大小建物をはじめ大路小路の軒上は五彩と輝くイルミネーションが點ぜられ、納涼を競ふ花電車の美しき裝ひ姿には三河、尾張名物の煙花が間斷なく打あげられ夜空をいろどり西北の空にはまばゆき電光飾にあざやかな姿を浮かべた離宮が金鯱の輝りも一際燦然とそゝり立つ市上鐵塔の傍にある名古屋新聞社の屋上から放つ探照燈の光も燦然空に曲に光りにつゝまれた全市は將に一大不夜城を現出した、市内各大商店は若き店員店主下の御眞影を奉掲して照崎の紙類を請はざ參拜する行人の足を止めた

離宮附近は一般に 交通を禁止されたが遙拜の群衆は後から後からと續きその流れは廣小路から大須觀音その他各盛場へと押し出して市内は未曾有の賑ひを呈し午後七時からは市青年團主催の大提灯行列が行はれ三萬余の若人は何れも揃ひの團服姿で鶴舞公園を出發長蛇の列は府内大通りを音樂隊を先頭に奉祝歌を高唱しつゝ行進沿道の群衆と萬歳を交しつゝ離宮前に至り萬歳を三唱して解散したが市内は夜ふくるまで非常な人出に雑踏した

かれる事に面白いのは結婚式が今月に入つてから激増した事であり十月に式を擧行するはずの人々もこれをのばし御大禮日に入るを待ち三々九度の盃を酌み交し昨年の今月は

五日まで 一回の式をあげた京城神社では今年はすでに六回といふ數を示しており朝鮮神宮も一日數組の式を擧げたこともある。從つて結婚式調度品の注文が殺到し各呉服店とも例年の約三倍といはれ全部の注文に應じきれぬといふ珍な現象を呈してゐる、又美術品もために非常な多忙、各ホテルはその披露宴のため大繁昌といつた調子すべてが目出たく喜びと惠みの色をはつきりあらはしてゐるのは御大典前の赤子のまごころを示してゐる一端として喜ばしいものである

めでたき御大禮月に神前結婚が大繁昌
各郵便局では大多忙を極める　記念貯金のすゝめ

讚仰の御大典を永久に記念するため各方面では各種の記念事業が施されてゐるが各家庭でも何れ儀式な記念が計畫され實行されてゐる記念なるものをあぐれば來る十二日、十三日、十五日の三日間金庫のれ今から準備されてゐるからこの三日間の各郵便局の繁忙は非常なものとされてゐる、又御大典を慶祝するために權威ある方面から出される御大典記念郵便の家庭貯金へ付である、例をあぐれば

郵便局が 一齊に取扱ふ御大典記念貯金である、これはその郵便局に與へた記念スタンプを押印され記念にこれを受くもので各地郵便局でも非常に勧誘され最は子供のために第一歩のためにそれぞ

造幣局が 三銭を新して全國民から勧誘を求めた各郵便局の記念貯金でこれは郵局の記念になるもので、その申込みも當初豫想外に殆く盛會を極めかした程である。郵便局でも此を他た申込があり

に至るもなほ全部をくばりおはせない程で如何に國民のすべてがこの御大典を祝してゐるかがうかゞ

漁夫十六名行方不明となる
鎮南浦徳島附近で

【平壌特電】鎮南浦府外徳島附近で一日夜の暴風雨のため漁船より出漁したその漁夫十六名とともに行方不明となつたとの報ありその筋で搜索中である

南大門通の電車軌道中央に敷設替へ
商議交通部の要望

京城商業會議所交通部では都筑佐三氏は外觀氏と共に過般交通部長を訪問して府民多年の要望である電車軌道中央施設に關して意見を述ぶる所があつたが交通部において可及的便宜をはかることになつたので、會議所では二日午前十時より交通部會を開き左の如き請願を可決した、この可決案は九日午前十時より開催される臨時役員會に付附し、更に同日午後一時より開會する議員總會に提案、その可決をまつて知行委員を擧げ請願をなすと共に京城府總會社に對しても意見を開陳し實行を期する段取となつてゐる

請願

南大門通一丁目より京城驛前に至る區間の電車軌道を明年期に頭現以々期迄に軌道の中央に敷設替せしむる事を要望す

理由

從來當所に於ける電車軌道を片側人道に接して敷設せられたるは其の理由の奈邊に存するや想察する能はざるもこれを車道の中央に設くるに比し兩者の利害得否は多年の實驗上議論の餘地なく現に我國に於ける大都市の實例に徴し明なる所にして試みに現在の不利不便なる二、三の例を擧ぐれば

一、電車側に於ける商店は砂塵のため商店及装飾を汚損し且貨物の出入に支障あること

二、片側に偏せる爲め車道に於ける人馬の交通を頻雜ならしめ交通整理に支障を與へ延ひて交通事故を多からしむること

三、電車側に於ける人道は砂塵飛散の爲め行人に不快の念を與へ延ひて兩側通行に於ける交通の均整を失すること

四、右の結果として沿道區域の繁榮を阻碍するもの甚大なること

五、排水其他衞生的其他に於て缺陷あること

六、近代都市として美觀を損すること

七、電車線路施設側の店舗並に住宅は震動甚しく店員及家族は日常不快を感ずること

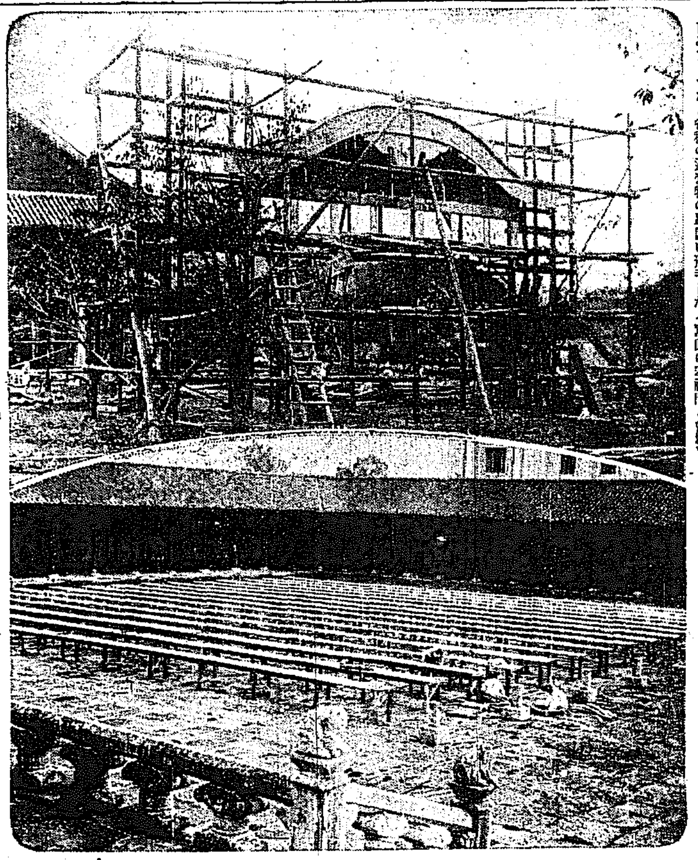
以上の外これに伴ふ幾多の不便不利はすくなからず殊に我が大門通りは京城府の表玄關たる京城驛より市街の中央を貫く主要の幹線道路なると、府内交通運の首位を占むる中樞商業地區として各般の施設年を逐ふてその面目を一新しつゝあるに拘らず獨り電車軌道のみ舊態依然とする所にしてこれが施設は府民の進展と本地區の交通現情に鑑み必然的にこれが急設の必要に迫られつゝあると、恰も來秋は朝鮮博覽會の開催せられつゝありて内外多數の觀覽客を招致せんとするに當たり特に一日の急を痛感せらるゝにより速かに施設に著手せられ朝鮮博覽會々期前に是非共竣工せしめられんことを切望するものなり

靜養のために東萊に行つた
須々木靜惠孃から　事情を明けた便り

半島が生んだ女子庭球界の花形として、かつては明治神宮競技會に出場して、わが朝鮮スポーツ界のために萬丈の氣を吐いてくれた太田の須々木靜惠孃が、若き情人と手を攜へて、東萊の湯の里に姿をひそめてゐた——といふ飛報は、庭球がひたすらスポーツに關連してゐるだけに、一般は少からず衝動をうけた。彼女を知る多くのファンは、かの女の將來のために、その名のために、どれだけその無分別を悪んだことだらう。然るに、かねて眠を知る某[illegible]最近から左のやうな告白の手紙が届いた

（前文略）先日來母の健康がすぐれませず母が温泉にでも行つて靜養して來いつて申すますので、東萊に參つて居りました大變に健康も快復いたし迎への者が參りましたので歸田致しますべく、友人の家に挨拶かたがた別れに參りましたのを迎への者が參じまして色々の方面にたづねましたとか、私は友人の家で一日ゆつくり遊びまして迎への者の所に歸りまして一緒に歸田いたしました（原文のまゝ以下略）

としるされてある。これは本人の告白であるから間違ひはなからうが、迎への人に居所も徹底させず友の家に行つて泊つたりすることは若い娘の身空としてつゝしむべきことだ。とかの女を知る多くの人々は語つてゐた



地方賜饌の會場

【京城】における地方賜饌は十六日午前十時から、本府前廣場で行はれ引續き午後零時から醍醐で、山縣總督主催の奉祝賀宴が開催されるがこの二つの會場は五日から多數の人夫が入つて宴會場の興場をはじめアーチなど各種の造營物の建設に着手した（寫眞は奉祝門と會場）

北漢山から牛耳洞へ
新道路をつくる　京城營林署の計畫

京城營林署では御大典記念事業として北漢山に何等かの施設をなしたいと考慮中であつたが、京城人士の登山を便にせんと北漢山中の秀峰白雲臺には昨年來設置を考慮中であつたが、最近元地取締和出一郎氏等が登山道を開けたので京城營林署では白雲臺から牛耳洞に下る道路を開鑿すべく設定その他について計畫中で林野山林部でこれが承認を得工事に着手する計畫であるから來年度中に完成すれば北漢山を經由で行く途中に面白いコースを取れる事になる

儀裝馬車御料馬等京都へ輸送
汐留驛から貨車で

【東京六日發電】今朝宮城東京驛間鹵簿に御使用の天皇陛下の御料鳳輦御料馬車その他宮内大臣、内大臣、侍從長等使用の儀裝馬車御料馬および御料品は昨陛下京都驛御着の際御所までの御鹵簿に使用するため汐留驛より四十四輛よりなる貨物列車に積込み京都に向つて發車した

金司鏞は懲役二年
判決言渡さる

平安南道義州郡北觀里二百四番地生れ當時上海佛租界路錫仁里四二號地居東中山大學生金司鏞(二七)にかゝる治安維持法違反事件は六日京城地方法院第四號法廷において末廣裁判長の下に懲役二年の判決言渡された 被告は大正十一年支那に遊學し二年六月廣東中山大學に入學し同年九月同學生の金奎實とともに朝鮮獨立を示み留學韓國革命同志會の結社に加入したものである

日本一の　日本生命　基礎磐石

開城の火事　六戸全燒
損害凡そ一萬五千圓

【開城電話】五日午後十時頃開城府南本町三十九岡本益藏方より發火し六戸を全燒して同十一時三十分鎮火したが損害約一萬五千圓、原因は目下取調べ中である

若い看守が自殺す
病氣を苦にして

【新義州特電】新義州常盤町三丁目常盤旅館止宿新義州刑務所看守小木戸七郎(二三)は五日午後五時四十分頃自分の部屋で剃刀をもつて頸動脈を切り自殺を遂げた、原因は數日前來眼尖カタルに罹りこれを苦に病んだ結果の厭世らしく死體は刑務所に引取られた

捨て兒

五日午後十時頃京城府紅把洞一六一金明淑方門前に生後三ヶ月位の女兒が捨ててあつたが拾はれ、搜査中

宮澤助教授結婚
▽……鈴木秋吉氏令孃と

【東京電話】東京帝國大學法學部助教授宮澤俊義氏は朝鮮殖産銀行頭取有賀光豐氏夫妻の媒酌で朝鮮殖産銀行理事鈴木秋吉氏長女たかよさんと婚約整ひこの五日午後六時上野精養軒で結婚式を擧げ鮮銀總裁、大阪毎日重役、五郎氏その他各方面の名士を招待披露宴をはつた、新郎は大正十二年東大法學部政治學科出身の青年學者で今年卅二歳、新婦は女學校出身の才媛十九歳である

伊藤氏結婚披露

遞信局勤務伊藤信雄氏は今回竹森吾久馬氏夫妻の媒酌に依り本町二丁目洋服店花木兵一氏令孃梅永松子孃と婚約相整ひ京城神社にて四日擧式、同日午後六時より京城ホテルにて盛大なる披露宴を催した、新郎は遞信官吏養成所出身の青年技師で、新婦は三田尻高女卒業後岩星女學院在學中の才媛である

京城府拜賀式
萬歳は朝鮮神宮前に於て

十一月十日御卽位禮御當日午後三時三十分京城府においては府民一同府廳正廳に參集拜賀式を擧行し、なほ當日田中總理大臣が紫宸殿の儀において萬歳三唱の時刻（午後三時）には朝鮮神宮廣場に祭行の奉祝式に一同參列萬歳を奉唱することゝなつた

栗と林檎で大宣傳
平南の特産　卽賣展

有望なる特產品として眞價に非常な人氣を呼んでゐる平南特產品販賣會は、いよ〳〵七日を以て閉會するが、平南道當局はこれが開館と奉仕を兼ねて最終日の七日には特に『リンゴデー』『平壤栗デー』を開催、一般の人氣をあふる計畫である、リンゴは一箱四圓、三圓、四圓、三圓卅錢で、生栗特品は一升五十五錢、一等品で四十錢、燒き栗一升七十錢ていつたやうにいづれも市價の三割引の廉價提供をなし、更に地方送りの注文にも應ずるといふが季節向き贈答品だけに多大の歡迎を受けるだらう

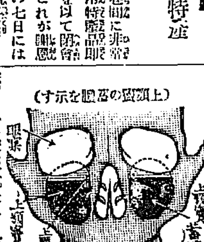
凝結した熔岩流
一息ついた附近の住民

【カタニア（シシリー）五日發】エトナ山大噴火で厚さ二十尺の熔岩をなし猛烈な破壞力を示して村落に迫つてゐた熔岩流は、あと二百メートルといふ近いところで漸く凝結し住民はホツト一息ついた、損害甚大と見らる。

懸賞募集　健腦丸本舗丹平商會は、感冒季節に際し、最も有効なる子供専門カゼ藥『ベオイン』タンセキ藥『呼吸器散』普及の爲め、誰にも出來る平易な大懸賞募集をやつてゐる、何分子供にも解答出來る位であるので非常な人氣を集中してゐるから應募するのも一興であらう、詳細は本紙廣告欄を參照すべし

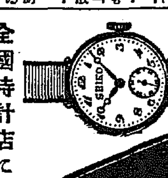
印度哲理に根據し世界的易法と高名を博す　天地眼師の　運命大鑑定
日限　自七日至十六日　毎日午前九時より午後八時まで　鑑定料普通一代三圓特別五圓
場所　南大門上　笑福旅館内

人間を不具や白痴にする　鼻病の難症　慢性蓄膿症と肥厚性鼻炎を切らずに治す藥療法
來れ　治療をしても再發した人　種々藥を飲んでも治らぬ人　鼻病の爲め成績の悪い學生



發賣元　確報堂藥品部　東京市芝區南佐久間町二ノ十八

國產セイコー腕時計
御大禮記念　抽籤附特賣（空籤なし）
壹百圓　五本
五拾圓　十本
拾圓　百本
五圓　二百本
等外　置時計　五百本
景品總額　¥113,000.00
全國時計店にて發賣中
主催　精工舍



年數御相談　恩給金融　誠實一貫　親切第一　仁川府　宮町九拾　森田耕

京城電機學校　京城府古市町　電話本局二三二一番

京日案内　給仕　地籍　女ボーイ　看護　貸家　金融　女中　賣地　恩給　黒燒　恩給　毛皮　恩給　肺炎

株金拂込公告

中西テント商會　天幕雨覆日覆製造販賣　京城驛前　電話本局二八〇八番　振替京城一二〇七六番

全乳　東亞牧場

專賣特許　金牌受領　りん病根治法　世界的大發明　新富堂

天帝一揆 (4)

佐藤惣之助作　多田穀三畫

▲大勢は自然中心をつくる▲

健康の經典の働勞を經つて、終時期が來たので、連立つて各自の住みへ歸るべく、戰線の中から少し出ぬけた時に、玄札は老人故宗に起つ迎い薬宗悠を顧みて、

『だがこの騒動騒ぎもいつまで續きませうな』とたづねた。

『神心の機嫌がいづるまで――』

宗意の口吻は人を嘲るやうでもあつた。彼は次ぎの國難の鍵物山非同部の場に妖術を附へたといはれた人物で、島にかくれて多くは雄兵衛や玄札の世話になりながらいつも天下の風雲のみ待へてゐる老人であつた。

『それまで持ち續きますか、霧雨の役人共の耳へももう達したでせうな。』

『どうも運命は得てさういふ形になり易いと存じます。』

『否、それについてわれ〳〵は、大矢野、千々輪、赤星殿とも一應内談せずばなりますまいな。』

玄札は思慮深い眼の瞳をのぞくやうにしてたづねた。

『いやこの島の中だけの形なら、益田は與職の甥御の甚兵衛殿の掌中にあることです』

『そのことなら彼とも度々話してゐるのです。彼はたゞ役所の御意向を伺ひたいと常に申してをります』

『それなら大矢野、千々輪兩氏の持役でせう。拙者はまづその殿りといふところです』

蓑塚は平常と少しも變らぬ沈着な態度で答へたばかりであつた。

『では近く面々をあつめて内談すると致したい』

玄札は熱心にそれを望んでゐた。

『むや蓑塚殿、あの宗意はちと早く役所の耳へひびく方がよろしい。』

『そこで?』

『それからは、わしの持ち役ではない。』

宗意は玄札に傍に連立つた蓑塚君衛門を顧でしやくつて見せた。

『さう、それからは蓑非天の御心でせう。』

玄札は宗意を師と感じてゐるだけに、強いく自分の着へをいはず自然にまかせる口吻で獨言にしてしまつた。

『蓑塚殿、ここまではまづ私の持役ぢやよ。あとは御役殿に……』

『いやお蔭樣で始み入りますこれでまづ何事か起こらなければ濟みますまい。』

『それも皆われ〳〵の談議のやうに見えますな。』

『努ひさうなたらうと思はれます。』

『ぢや蓑塚殿、あとは何か變ほく〳〵と癒しさうに咲いた』

『その蓑ひにお加擔なさりますかな。』

『蓑殿がさうおつしやるなら御道理はない』

宗意は何か變ほく〳〵と癒しさうに咲いた

『では文明日お眼にかゝろう。』

『ではこの提灯をお持ち下さい』

玄札は、宗意を自分で送つてゆくので、提灯を蓑塚に渡した。

『いや結構。蓑塚殿の赤い花はお手持すぎました。この提灯も士民には火の玉に見えはしませんかな』

蓑塚は冗談のやうにいつて別れた。

『いやはや、御歩みに中國の人から賢ふた櫻花の種が、とんだ所へ飛んで行つて生へたにはわしの惑術もまだ〳〵馬鹿にはならんて』

宗意は玄札を顧みて、何となく長閑であつた。

『出來そこないましたな。』

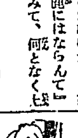
『野山に白旗をなびけん――といふ文句ですか』

『左様。あすこまで運が運びますかな』

『まづ天女ではさういふ話が出ることになるでせう』

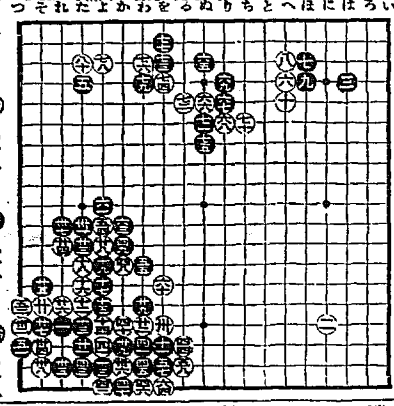
時間を計る　八村木　モ村木　本局四七一番へ

パンのお辨當　濱邊でひらきや　白いかもめが來てのぞく　明治町　木村　登



圍碁新局 (四)

中押　先　二先　向井　一男　(四段)
　　　　　　　　　田川　孝子　(初段)



(碁譜の着手表)

新らしい出版物

▼伽藍西文學 (十一月號) 西土氏編輯、現代佛關西詩風の推移、吉田氏(東京府井荻町上荻窪四三七番)郊社三十錢

▼詩集 (十一月) 井上康文氏主宰、創刊來滿一年を迎かに步み續けた本誌は、十一月號を特輯號とし、形も小さく四六とした。いつもながら氣持のいゝ雜誌である(東京市外野方上沼袋七三三其社五十錢)

▼女人藝術 (十一月) 長谷川時雨女史等の雜誌、本號は『男性訪問』、記事を特輯記事としてある、大井さち子の黒見淳、今井邦子の三上於莵吉、がそれである。表紙繪の『花冠』は今秋二科に入選の深澤紅子女史の作(東京市牛込區在田町三一其社四十錢)

○川柳きやり (十一月) 東京市四谷區寺町六川柳きやり吟社

▼朝鮮と建築 (十號) 京城貫金町日本生命ビル朝鮮建築會七十五錢▲朝鮮消防新報(五十號) 京城南米倉町二八四京城消防會十五錢

▼寶鏡之日本 (十一月) 名古屋市南區瑞町其社三十錢▲印刷雜誌(十月) 東京市牛込矢來町三一其社四十五錢▲職業紹介公報(五九號) 中央職業紹介事務局非賣品▲大阪遞信局公報 (二七六號) 大阪市西區北堀江上通四の四其社十錢

▼發夜稲信 (特別號) 日刊發夜通信四四二七號の附錄、稻村露二郎氏主幹、白日下に曝された東京市衆議の疑獄事件新派クラブは何う働く等(東京市京橋區築地町一其社六十錢)

讀者らん

▲目下當院物の郵便料金ですが私共はじめ消費物品郵便一丁三匁五十錢以上にて主婦連のこぼしをるのを耳にしますがセメント空樽なれば追々三十錢位にて買求めらるゝ由右は潮水被害等加工しても衛生上有害なるや專門家の御比較を聞きたし(養物商)▲乳幼兒審査會の優良賞狀を淑山寮子審査會が落しました御拾得の方は左記まで御通知下さい(本町四丁目。高山電本二七六四番)▲ツアイオリンをお持ちの方で初步より夜散へて下さる方はありませんか(習ひ度き者)▲何方か感謝者の方で室氣吸の機構法若しくは熊説御存知りの方がありましたら御教へ下さいませんか是非本欄まで御通ひします(カジ坊)▲岡山の文獻といふ醫療研究雜誌を發行する文獻研究行の町名番地を御存じの方は御手數ながらお敎示下さい(一學生)▲どなたか小野次郎さんの和文の簡譯(昭和二年度)安價に讓り下さる方はありませんか(困りおる生)▲どなたでも私達の家事を手傳つて下さる方はありませんでせうか、家族は四人殺しの男ばかりです。三十以上の内地婦人を出來るだけ希望します。住み込んでいたゞきたい事二つ。忠南在住の人でありたい事二つ。ありましたら一寸お知らせ下さいませんでせうか?(姓名在社)▲六人の子供をのこして家內に死なれ困つてゐるものです母親らしく愛情に富む四十歳前後の婦人で二三ケ月衣服の整理に來て下さる方はありませんか末子が六歳で他は皆學事中につき子供の世話は別に入りません(困つてゐる親)

けふの新刊 (五日)(警務局圖書課調べ)

邦文の部▲道報(第一九一號)京畿道▲同(第九七號)忠清北道▲道報(第八二三號)成鏡北道▲同(號外)同▲月報(第一五四號)▲會報(第七一號)朝鮮鰤業會▲月報(第四六號)會寧商工會▲湖南支部報(第八一號)帝國在郷軍人會▲平北國境時報(十一月號)其社▲朝鮮之衛生(第二四號)平北金融組合▲會報(第八號)其社▲同(第一〇號)慶南▲拓殖(第六六號)東拓木浦支店▲農民(第一〇號)南鮮農事協會▲恒星(十一月號)其社▲かりたご(第九號)共親會▲仁坂商報(第一八〇號)其社▲朝鮮要報(第一二四號)仁友會▲朝鮮遞報(第一二七號)商業興信京城支所▲群山商報(第一二九八號)其設行會▲朝鮮內報(第一〇〇七號)帝國興信京城支所▲有價證券現物相場表(第六三號)京城證券株式會社▲皆家案內(第五號)其社▲國家的御大典に際して會寧郵便局長▲朝鮮社會事業研究釜山勞働共濟會▲雄辯の非情▲朝鮮殖産銀行十年志　守屋德夫

諺文の部▲湖南月報(第二三號)全羅南道▲濟生月報(第一二六號)其社▲朝鮮詩壇(臨時號)其社▲新朝新話　李希武

演藝案内

大正館

七日より封切 御大禮特別大興行 太陽の熱き一流朝鮮の紅雲の結晶發揮 更生の快作 第三の秋を飾る名畫 女子スポーツ界の花形 瞬ボオ・ミスタンゾ映畫 入社第一回作品 滑稽喜劇 女の親子と 殿方 岡田吉 男女 五卷 日活 新時代劇 鐵血の 人氣者 島 邦畫レヴユウとして 歌舞伎座上演 五所平之助監督 昭和の女 入卷 松井千枝子 佐々木清野 岡田静子主演

京龍館

京龍館の 流行を 相撲の(日本映畫)より大提供 贊のパライシュー作コメディ 二卷

大時代劇 嵐寬久太郎 市川百々之助 岡島艶子 濁流 全七卷 マキノ映畫 押切寛の男女間に 愛人の 二人の女 全八卷 佐久間妙子 丘見 川 あそ 人 の女性と、愛すること で、二人の男が捨て去り、恐しき死を得るとした

斷魔閃刄 全七卷 嵐寬壽郎主演 日活 映畫 古澤 主演

中央館

マキノ社 十一月六日七日の二日間短期特別 御許行として封切三大映畫を一時に公開 マキノプロダクション現代劇部特作 三上良二監督作品 兄 貴 全六卷 秋田伸一 都賀靜子 水谷園子 主演 現代劇 パラマウント映畫會社特作品 パーシー・マーモント氏 メリー・ブライアン嬢 主演 或る乞食の話 全八卷 三人の他に 人の生活を、やさしく描いた人情劇 忘れられた女の父と子の物語 愛情の 一大悲劇

マキノプロダクション時代劇特作映畫 嵐寬壽郎 押切 男女子 嵐之助 大太郎の子息子 入社第一回主演映畫 海賊 ピエトロ 九卷 ウーファ社映畫 ユニバーサル映畫 滑稽 二卷 時事 週報 一卷

喜樂館

推薦の新京籍興行 五日より六日七日の三日間限り 實行者 皆龍 土演 日活特作品 鹽原太助 十卷 小泉信一 市川 三鬼 日活 東洋武俠團 前後十二篇 撮影所 ▲東亜キネマ 雲井龍雄 前篇十二卷 大名士 ▲ 東亞倶樂部 丸橋忠彌 九卷

蜂ブドー酒

近藤利兵衛商店

御土産 御見舞ニモ
鑛泉應用ノ銘菓
朝鮮名産 深山の雪
蜂蜜松の花入
各地菓子食料品店ニテ御求メ下サイ

● 頭痛は！ノーシン……一服で充分です

株式會社 山口銀行京城支店
資本金 五千萬圓
本店 大阪市

醇良清酒
キクマツ
品質本位
松岡酒造場
京城出張所
電話本局二四五五番

防腐殺菌劑 クームヒン
退治百害 Aクームヒン
腸胃薬 バイタジン
京城 クームヒン株式會社

大阪商船株式會社

神戸大阪行(群山木浦經由)
基隆 丸　十一月九日
…… 丸　十一月十二日
… 丸　十一月十六日
… 丸　十一月二十日
… 丸　十一月二十日
△名古屋、清水、東京行
△四川 丸　十一月十七日
大連行 …… 丸 十一月十八日前十時
長崎、鹿兒島、三角行 … 丸 十一月廿四日
元山出帆 清津、雄基行 … 丸 十一月十日
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 … 丸 十一月十一日

内地各港出帆主要航路

大阪商船株式會社仁川支店 電話一〇七、一五九七番
●歐洲行每月一回 ●南米行每月一回 ●濠洲行每月一回 ●北米行每月一回 ●孟買行每月二回 ●南洋行每月一回

京城代理店 國際運送株式會社

仁川出帆

山下汽船 仁川汽船
神戸、大阪　十一月十日
糸崎、神戸、大阪 … 十一月十二日
名古屋 … 十一月十三日
三陸、大阪、若松 … 十一月十六日

協同海運會社

電話八二〇番

森信汽船仁川出帆

▲江華島行 每日出帆
▲延安行 隔日出帆
▲龍山、江華行 每日出帆
▲海州行 隔日出帆
▲牙山行 月六回出帆
各沿岸行帆船積荷取扱
貨物へ三本社陸送部取扱
仁川府山手町(電話一六三番)
森信汽船株式會社

朝鮮郵船

定期出帆 博多航路
●慶州丸 十一月三〇日 鎭南浦・西海各港經由博多行
●清津丸 十一月二日 雄基・城津・北鮮各港經由博多行

○仁川出帆(代理店内國通運支店)
東京行　金剛山丸 十一月一〇日
大阪行　慶州丸 十一月九日
長崎三角鹿兒島行　… 十一月一五日
木浦行　… 十一月一日
海州行 甕津 … 十一月…日
鎭南浦行　… 十一月九日
大連青島行　… 十一月…日
釜山上海行　平安丸 十一月…日
鎭南浦大連行　… 十一月九日

○木浦出帆(代理店山野回漕店)
東京行　金剛山丸 十一月一二日
大阪行　慶州丸 十一月一一日
濟州島行　… 十一月一日
多島海行　… 十一月九日
仁川行　昌原丸 十一月一六日
釜山上海行　平安丸 十一月八日

○釜山出帆(取扱店大池回漕部)
東京西鮮行　佐賀丸 十一月三日
東京北鮮行　長白山丸 十一月三日
大阪西鮮行　… 十一月八日
大阪北鮮行　… 十一月一日
長崎三角鹿兒島行　… 十一月一八日
大阪(釜山經由)行　… 十一月一日
北鮮行　… 十一月一〇日
上海行　平安丸 十一月一二日
慶尚南道行　… 十一月一一日
江原道行　… 十一月一八日
濟州島行　… 十一月一八日
宇品大阪行　… 十一月一三日
清津元山行　立神丸 十二月一日

○元山出帆(代理店國際通運支店)
東京行　長白山丸 十一月一日
大阪行　釜山丸 十一月一五日
浦鹽行　榮江丸 十一月一日
江原道行　… 十一月八日
舞鶴敦賀行　白頭山丸 十一月一〇日
雄基行　… 十一月一三日
神戸行　… 十一月四日
宇品大阪行　… 十一月一六日
清津直行　立神丸 十一月九日

▲右之外各地共臨時臨船ヲ配船致シ候間ノ潤澤ヲ仮目ヒ居候

○日本郵船出帆
歐洲行　榛名丸 十一月九日
桑港行　これや丸 十一月…日
濠洲行　三島丸 十一月…日

朝鮮汽船出帆廣告
●釜山出帆(扱店釜山回漕店)
麗水行(急行) 每日前十一時
麗水行 各港寄港 每日後一時
統營行 各港寄港 隔日後一時
木浦行 各港寄港 隔日後一時
馬山行(急行) 每日夜半
●木浦發 各港寄港 隔日後十一時
萬頃行 各港寄港 每日前十時
釜山行 各港寄港 隔日後二時
本局四一一九五番 電話四一九六番
釜山支店 大倉町 電長一八四番
元山支店 … 電長一三四番
仁川出張所 海岸町 電長三五一番
京城代理店 内國通運 本一七九、三一〇
京城南大門通り 朝鮮郵船株式會社

仁川汽船各沿岸出帆廣告

●海州行 江華、甲串、彌智島經由 隔日出帆
●延安行 草芝、甲串、鐵山、甲串經由 隔日出帆
●仙岩行 澳津、富里、椒島經由 隔日出帆
●德積島行 … 毎月十回以上出帆
●唐津行 … 毎月九回以上出帆
●海州行 … 隔日出帆
●石浦行 (江華島、喬桐島、水營、永宗島、外北經由) 隔日出帆
●牙山行 (永宗島、大阜島經由) 隔日出帆
各沿岸行帆船積荷取扱 仁川府港町(築港前)
仁川汽船株式會社
海岸町事務所(電話六一、四〇番)(電話一〇八五番)